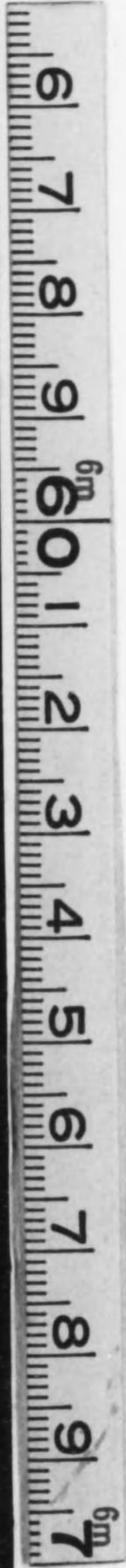


85-55□

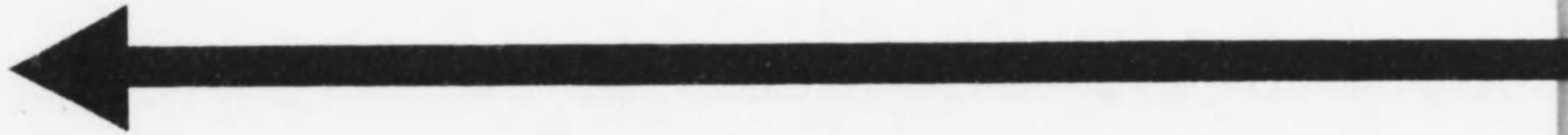


1200501328873

85
50



始



85
3
53

基本戰術摘要解義 上卷
第三編 第四編

第三篇 局地戦及ヒ特別枝隊ノ小戦

●局地戦ニ關スル一般ノ總説

凡ソ戰術ノ要旨ハ孰レノ時機孰レノ地形ニ於テモ異ナルナシ然レトモ凡ソ戰鬪ハ局地即チ地上ノ物體村落、農厦、森林、高地、隘路等ニ因テ多少ノ變象ヲ呈ス此變象ニ應スル戰法ヲ稱シテ局地戰ト謂フ

前世紀ニ於テ專ラ整列戰ノミヲ以テ勝敗ヲ決セル時代ニハ局地ノ効用殆ント無シト云フモ敢テ過言ニアラス如何トナレハ局地ハ整列戰ノ成立スヘキ處ニアラサレハナリ然ルニ輓近ノ戰鬪ハ廣ク土地ノ利用ヲ要スルヲ以テ戰鬪上局地ノ効用至大ナルニ至リ從ツテ戰鬪ノ經過鞏強ニシテ又昔日ノ如ク瞬時ニ勝敗ヲ決スル能ハス之レニ因リ指



揮官ノ致意益周到ナルヲ要シ獨斷專行ノ要益大ナルニ至レリ
 局地ハ方今ノ戰鬪ニ於テ守者ノ爲メニハ掩蔽及ヒ據點トナリ攻者ノ
 爲メニハ障礙トナル故ニ局地ハ小部隊ノ防禦點トナルノミナラス曠
 野ニ於ケル大戰ニ在テモ戰鬪ノ主點トナルモノナリ然ルニ我日本ノ
 地形ハ其趣キ歐洲大陸ト大ニ異ル所アリテ大陸ニ於ケル戰鬪原則ヲ
 悉ク適用スル能ハス蓋シ本邦ノ戰鬪ハ到ル處局地戰タルヲ免レス曠
 野ノ戰鬪ハ殆ント見ル能ハスト云フモ過言ニアラサレハナリ
 局地戰ニ於ケル各兵種一般ノ任務概テ左ノ如シ
 歩兵ハ局地ノ如何ヲ問ハス始終戰鬪ニ從事シ得ヘキ唯一ノ兵種ナリ
 騎兵ハ通常局地外ニ在ル所ノ敵ニ應スルヲ以テ直接局地戰ニ關與ス
 ル者ニアラス然レトモ戰鬪ノ前後及ヒ戰鬪間側翼ニ於ケル動作ニ至
 ヲテハ一般ノ戰鬪ニ於ケルト異ナルナシ

砲兵ハ掩蔽物及ヒ障礙ヲ破壊シ敵兵ヲシテ據點ヲ保ツ能ハサラシメ
 且ツ擾亂ヲ提起セシムルノ能力ヲ有ス故ニ局地ノ攻撃ニハ殊ニ必要
 ノ兵種タリ
 工兵ハ防禦ニ在ツテハ障礙物及ヒ掩蔽物ヲ設置スル爲メ他兵種ヲ誘
 導シ且ツ之レカ工事ヲ援助ス攻撃ニ在ツテハ他兵種ト共ニ進ミ時ト
 シテハ之レニ先タチ當路ノ障礙物ヲ除去ス
 局地戰ニ係ル通則ハ其類ニ依テ之ヲ區別スト雖モ各種ノ戰鬪ハ彼此
 互ニ相類似ス以下隘路、森林、住民地、河川、高地等ニ就キ逐次說叙スレト
 モ固ヨリ局地ノ地形ハ千狀万態ニシテ之レニ應スル細說ヲ逐一ナス
 モ無益ナリ故ニ此篇ニ於テハ主トシテ各局地戰鬪ノ原則大要ヲ掲ク
 ルニ留メ下卷應用ヲ述フルニ至リ各地形ニ就テ研究スル所アラント
 ス

●隘路戰

其一 隘路ノ性質効用

隘路トハ障害物ヲ貫通シ或ハ之レヲ超越スル所ノ狹窄ナル通路ニシテ軍隊其正面ヲ滅殺スルニアラサレハ通過スヘカラサル道路ヲ云フ例ヘハ橋梁、山徑等ノ如シ

隘路ハ別チテ二種トナス短隘路、長隘路是ナリ

短隘路ハ障碍物ヲ隔テ、彼我互ニ射撃ヲ交換シ得ルモノヲ云フ橋梁淺瀬ノ如シ

長隘路ハ障害物ヲ越ヘテ火力ヲ彼我互ニ交換シ能ハサルモノヲ云フ山路又ハ大水田中ヲ通スル道路ノ如シ

本邦ニ於テハ到ル處隘路ヲ成形ス是レ本邦國土ノ性質ノ由ツテ然ラ

シムル所ニシテ本邦ノ地勢タルヤ細長ニシテ且ツ連綿タル一大山脈其中央ヲ縱斷シ此山脈ヨリ左右海岸ニ向ツテ無數ノ支脈ヲ分派セリ此ヲ以テ主ナル道路ハ山脈ノ左右ニ於テ長方ニ從ツテ創設セラレ又水路ハ長方ニ從ツテ流ル、モノ甚タ稀ナリ多クハ支脈ト支脈トノ中間ニ流ル、モノニシテ本邦交通路ハ概テ是等ノ支川及ヒ支脈ト交叉シ又短方ニ從フ道路ハ險峻ナル中央大山脈ヲ越エサルヘカラス特ニ水田ハ我國ノ特有物ニシテ谷底ハ悉ク水田ヲ以テ充タスト云フモ不可ナキナリ此水田ハ概テ通過困難ニシテ唯タ之レヲ貫通スル道路ノミ通過シ得ヘク至ル所隘路ヲ成形ス

地形此クノ如シ本邦ノ特有物ハ隘路ナリト云フノ已ムヲ得サル所以ナリ

隘路ヲ戰鬪ニ利用スルハ我作戰ノ目的ニ從ツテ異ナリ即チ敵ノ軍隊

カ狭少ナル正面ヲ以テ通過スルヲ要スルカ或ハ我カ軍隊カ狭少ナル
正面ヲ以テ通過スルヲ要スルカニアリ換言スレハ隘路ハ敵ニ障害ヲ
與フルカ或ハ我ニ障害ヲ與フルカニヨリテ異ナルナリ故ニ隘路ノ防
禦ハ敵ノ通過ヲ困難ナラシムルト我軍隊ノ通過ヲ容易ナラシムルト
ノ二種ニ歸スルナリ而シテ又其防禦方法ハ我目的ニ從ヒ或ハ隘路ノ
前方ニ於テスルカ或ハ隘路ノ後方ニ於テスルカ或ハ又隘路ノ景況ニ
ヨリテハ隘路ノ内部ニ於テ防禦スルノ必要起ルナリ

乃チ作戰ノ目的ニ從ツテ隘路ノ占領差異ハ概テ次ノ如シ

- 一 我兵ノ隘路進出或ハ退却ヲ掩護スル爲メニハ隘路ノ前方ニ於
テ防禦ス

- 二 敵兵ノ隘路ヨリ進出スルヲ妨クル爲メニハ隘路ノ後方ニ於テ
防禦ス

- 三 敵兵ノ隘路通過ヲ妨ケ絶對的ニ隘路ヲ閉塞セントスル場合ニ
於テ且ツ此隘路カ長隘路ナルトキハ隘路内部ニ於テ防禦ス
以下將ニ此ノ各種ノ場合ヲ説叙セントス

其二 隘路前方ノ防禦

隘路前方ニ於テスル防禦ハ左ノ不利ヲ有ス

- 一 守兵ノ退却困難ニシテ守兵ハ唯タ一條ノ退路ヲ失ハサランコ
トヲ恐レ大ニ軍隊ノ自由ヲ牽束ス
- 二 退却ニ當リ隘路ヲ通過スル爲メニ廣キ正面ヨリ縱長ノ隊形ニ
轉スルノ已ムヲ得サルヲ以テ大ニ時間ヲ費シ爲メニ敵兵此機
ニ乘シ劇シク攻撃ヲ爲ストキハ殲滅ニ陥ル患アリ
- 三 退却ノ際各自先キヲ爭フテ隘路ヲ通過セントスル爲メニ直チ

ニ隘路ヲ閉塞スル患アリ

以上ノ不利アルヲ以テ隘路前方ノ防禦ハ成ルヘク是ヲ避クヘキモノトス然レトモ作戰ノ目的上已ムヲ得ス此防禦ヲナスニ當リ其陣地占領法ニ

甲 前進ノ目的ヲ有スル我軍隊ノ隘路進出ヲ掩護スル場合ニハ我軍

隊隘路通過後ノ動作ヲ自由ナラシムルヲ以テ主眼トスルヲ以テ其陣地占領ニ就キ左ノ顧慮ヲ要ス

一 隘路出口ノ領有ヲ確實ニスルコト

二 敵兵ヲ成ルヘク遠距離ニ止阻シ以テ敵火ノ爲メ進出スル我軍隊ヲ損傷スルコト勿カラシムルコト

三 進出スル我軍隊ノ戰鬪展開ヲ爲スヘキ餘地ヲ存シテ陣地ヲ占領スルコト

以上ノ三件ヲ充足スル爲メニハ隘路口前少クトモ二千米突ニ於テ防禦線ヲ設クヘシ然レトモ此距離ハ地形ト展開スヘキ軍隊ノ多少トニ由ツテ變化スルハ勿論ナリ

防禦線ノ兩翼ハ天然若シクハ人造ノ障碍物ニ委托シ側面ヨリ敵ノ脅威ヲ受ケサル如クスヘシ又隘路口ヲ瞰制スヘキ高處ハ我ヨリ之ヲ占領シ敵ノ占領ニ歸セシメサルヲ必要トス

乙 退却ノ目的ヲ有スル我軍隊ノ隘路通過ヲ掩護スル場合ニ於テハ

我軍隊ノ通過間之レヲ防禦スレハ足レリ故ニ其防禦ノ方法大體ニ於テハ甲ノ場合ニ於ケル要領ニ從フト雖トモ攻勢前進ノ考慮ナキヲ以テ戰鬪展開ノ餘地ヲ存スル如キ必要ハ無ク殆ント專守防禦ニテ足レリ故ニ退却ニ當リテハ隘路口若クハ隘路内ニ一點若クハ數點ニ於テ迅速ニ設置スヘキ障礙阻絶物ノ準備ヲナシ敵

軍ノ追跡ヲ防止スルノ用ニ供スヘシ

砲兵ハ地形之レヲ許セハ成ルヘク隘路前方ニ出ツルコトナク隘路後
方橋梁淺瀬等ノ如キ隘路ニシテ後方ヨリ前方ヲ展望シ得ルトキニ陣
地ヲ占領スルヲ以テ最モ良トス

騎兵ハ何レノ場合ニ於テモ左右側ノ搜索警戒ニ任シ敵ノ迂回ヲ監視
ス

凡ソ隘路前方ニ於ケル戰闘中止ハ最モ困難ナル動作ナリ此場合ニ在
リテハ敵ノ切迫最モ激烈ナル點ニ於テ最モ久シク抵抗シ砲兵ハ最初
ニ退却シ騎兵之レニ續キ而シテ步兵ハ梯隊トナリ最終ニ退却スルモ
ハトス
退却危殆ナルトキハ一時猛烈ナル逆襲ヲ行フニ由テ時間ノ餘裕ヲ得
ル外又他策アルコトナシ

其三 隘路前方ニ於ケル守兵ニ對スル攻撃

攻者ノ主眼トスル所ハ其兵力ヲ團結シ以テ分離セル守兵ノ一點ヲ猛
烈果敢ニ攻撃突破スルニアリ
攻者ハ敗走スル所ノ敵兵ニ尾シテ隘路ヲ通過シ得ルトキハ被害少ク
好都合ナルモノトス
此外攻撃動作トシテハ一般ノ原則ニ從フ

其四 隘路後方ノ防禦

隘路後方ノ防禦ハ最モ防者ニ於テ有利ナルモノトス今其利害ノ大要
ヲ示ス左ノ如シ
隘路後方防禦ノ利トスル所左ノ如シ

- 一 攻者ハ狹正面ヲ以テスルニアラサレハ戦闘スル能ハス之レニ反シテ防者ハ廣大ナル正面ヲ以テ之レニ當ルヲ得即チ防者ハ最大ノ射撃力ヲ彼レニ與フルコトヲ得
 - 二 攻者假令隘路ヲ進出シ得ルモ尙ホ一條ノ退却路ヲ背ニシテ戰フノ不利アリ
 - 三 攻者ヲシテ隨意ニ攻撃點ヲ撰ハシメス
- 以上ノ理ニ反シ其不利トスル所左ノ如シ
- 一 守者カ攻撃ニ轉シテ前進スルトキ攻者ト同様ノ不利ヲ擔ハサルヘカラス
 - 二 防禦効ヲ奏スルモ追撃困難ナリ
- 要スルニ隘路後方ノ防禦ハ敵ノ自由ヲ束縛シ我カ全力ヲ發揚シ之レニ對スルヲ得故ニ敵ハ衆多ノ兵ヲ有スルト雖トモ隘路口ニ於テハ唯

タ其縱隊ノ先頭ヲ以テ我ニ對スルヲ得ルニ過キササルヲ以テ防者ハ比較的少數ノ兵ヲ以テ多數ノ敵ニ對スルヲ得ルモノトス

隘路後方ノ防禦ニ於テ若シ短隘路ナルトキハ直接隘路ノ入口ニ接近シテ陣地ヲ占領スルハ不可ナリ何トナレハ我ハ隘路口ニ射撃ヲ集注シ難シ之ニ反シ敵ハ前岸ヨリ障害物ヲ超ヘテ我ニ火力ヲ逞シクスルヲ得ルヲ以テ即チ敵ハ準備火戰ヲ恣ニスルヲ得レハナリ故ニ防者ハ對岸ニ展開スル敵ノ火線ニ射撃ヲ與フルヨリハ寧ロ後退ノ陣地ヲ占メ敵カ隘路ヲ通過スルヲ待ツテ之ニ射撃ヲ與フル如クスルヲ可トス之レ即チ前陳隘路後方防禦ノ利益中第一項ノ利益ヲ十分ニ應用スルモノナリ殊ニ勝利ヲ期スル攻勢防禦ニアリテハ成ルヘク後退シテ陣地ヲ占メ敵ヲシテ半ハ隘路口ヲ出テシメ其半渡ニ乘シ我カ全力ヲ以テ攻勢ニ轉シ敵ヲ隘路中ニ壓迫スルヲ以テ有利トス

陣地ノ配備ハ專ラ隘路口ニ射撃ヲ集注シ得ル如クスルヲ要ス然ルト
キハ其戰線自然隘路口ニ對シ内灣セル半圓形ヲナシ其翼ヲ敵方ニ出
スニ至ル故ニ此場合ニ於テ敵ヨリ我カ翼ヲ縱射セラル、コトナキヲ
注意セサルヘカラス

砲兵ハ敵ノ砲兵ト隘路ヲ隔テ、砲戰スルハ全然利益アリト云ヲ得ス
故ニ敵ノ砲兵我ヨリ劣勢ナル時ニアラサレハ隘路ヲ隔テ、砲戰セス
唯タ隘路ヲ縱射スルカ或ハ隘路ノ出口若クハ隘路ヲ敵カ通過スルニ
當リ之レニ火力ヲ輻輳セシムル如ク陣地ヲ占領スヘシ又我砲兵優勢
ナリト思考スルトキト雖トモ其位置カ隘路ニ對シ十分ニ火力ヲ逞スル
能ハサル場合ニハ若干門ヲ以テ隘路ヲ縱射シ得ヘキ位置ニ蔭蔽シ置
キ愈、敵カ隘路ヲ通過スルトキ是ヲ縱射スルニ供シ其他ノ砲ハ後方ニ
於テ陣地ヲ占メ敵ノ隘路前ニ出ツルニ際シ我攻勢運動ヲナス用ニ供

スヘシ

騎兵ノ使用ハ隘路前方ノ防禦ニ於ケルト異ナルコトナシ但シ敵兵隘
路ヲ出ツルニ當リ側面ヨリ之レヲ襲撃シ得ルニ適當ナル位置アレハ
騎兵ノ爲メ以テ有利ナルモノトス

短隘路ニシテ之レニ直接シテ防禦配備ヲナスハ特別ノ場合即チ夜間
或ハ濃霧ノ時ニ於テ奇襲ヲ防ク爲メ之レヲ守備スルカ或ハ寡少ノ兵
ヲ以テ隘路ニ固着シテ防禦スルカ如キトキ等ナリ

本邦ニ於テ水田中ヲ通スル隘路ハ其幅通常河川ニ比シテ大ナリ且ツ
兩岸ノ地形多クハ樹木蔭蔽シテ展望ヲ妨ケ後退ノ陣地ヲ占領シテ有
効ニ隘路中ヲ射撃シ得ルコト稀ナリ故ニ勢ヒ直接防禦ヲナスヲ要ス
ルコトアレトモ若シ戰鬪ノ目的決戦ヲ要スル場合ニ於テハ必ラス逆
襲ニ轉シ得ル如キ後退ノ陣地ヲ占領セサル可カラス此場合ニ於テ敵

ハ假令ヒ隘路兩岸ノ蔭蔽物ヲ利用セテ我岸ニ進出スルモ隘路後方防禦ノ利益ヲ全ク失フコトナク敵ヲシテ只タ一條ノ退路ヲ背ニシテ戰ノ不決ヲ感セシムルハ同一ナリ

其五 隘路後方ノ守兵ニ對スル攻撃

守兵完全ニ隘路後方ニ於テ防禦スルトキハ是レヲ強奪スルコト甚タ難シ故ニ攻者ハ迂回策ニ出ツルカ或ハ夜間奇襲ニ依ルノ外策ナキニ至ルコト多シ若シ強テ正面ヨリ攻撃ヲ舉行セントセハ只タ射撃ノ威力ヲ以テ敵ヲ壓縮スルノ一術アルノミ故ニ砲兵ハ此ノ攻撃ニ於テ特ニ異大ノ効力ヲ有スルモノナリ
準備火戰已ニ成リ攻撃ヲ實施スル爲メニハ攻撃兵ハ隘路ノ附近ノ地形ニ應シ成シ得ル限リ廣キ正面ヲ以テ隘路ヲ突貫シ射撃部隊ハ全力

ヲ竭シテ此ノ攻撃ヲ援助スルモノトス此ノ戰鬪ニ於テ最モ危險ナルハ隘路ノ出口ニ攻撃隊ノ達シタルトキ敵ノ逆襲ヲ受クルニアリ特ニ隘路出口ニ於ケル戰鬪ハ其期概ネ短カクシテ且ツ頗ル激戰タルコト常ナリ攻者一旦其地ヲ略取シ後續ノ兵隊來援スルニ從ヒ益々其占領地域ヲ擴張シ遂ニ奮進突撃以テ敵線ヲ突貫スヘシ

其六 隘路内部ニ於ケル攻防

隘路内部ニ於ケル攻防ハ長隘路上ニ於テナスモノナリ其利害ハ隘路前後方ニ於ケルモノヲ併有ス
單ニ敵ノ隘路通過ヲ扼止スル專守防禦ニアリテハ隘路内部ニ於テスルヲ利アリトシ隘路内部ノ戰鬪ハ概ネ持久戰ニ適スルモノトス
要スルニ隘路内部ニ於ケル戰鬪ハ彼我同等ノ利害ヲ有シ兵力ノ優勢

ナルモノ最後ニハ其勝利ヲ得ルモノト云ハサルヲ得ス殊ニ本邦ノ如キ島國山地ニ於テハ到ル處山間ヲ通スル長隘路ヲ現存スルアリテ此種ノ戦闘ヲナスコト蓋シ屢ナラン即チ此ノ山路狹隘ニ於ケル戦闘ハ後章山戦トシテ述フル所ノモノヲ適用ス

● 森林及ヒ住民地戦

森林及ヒ住民地ハ其戦術上ノ性能殆ント相類ス故ニ兩者ヲ通シテ同要領ノ件ハ同時ニ説叙シ其兩者中各別ニ異ル點ノミヲ各別ニ説述セントス

其一 森林及ヒ住民地ノ利害

防禦上ニ及ホス利左ノ如シ

- 一 我部隊ヲ掩蔽スルヲ得
 - 二 周邊並ニ内部ニ於テ障害物ヲ設ケ攻者ノ進入ヲ妨クルヲ得且ツ此等ノ工事ハ迅速容易ニ之ヲ構造スルヲ得
 - 三 砲彈ノ破片及ヒ小銃彈ニ對シ掩體トナル
 - 四 歩兵ハ委托射撃ヲ爲スノ便利アリ
- 防禦上ニ及ホス害左ノ如シ

- 一 通視ヲ妨ケ指揮困難モ動スレハ兵力ヲ分離シ且ツ運動困難ナリ
- 二 森林及ヒ住民地内ニアリテハ多クノ掩蔽物ハ前進攻撃ノ障害タリ爲メニ局處ノ威力衰へ且ツ敵ノ迂回ニ應スルコト難ク之レカ爲メ更ニ守兵ヲ外部ニ配置シ以テ逆襲ヲ行フニ供シ且ツ

敵ノ迂回ニ備ヘサル可カラス

三

攻者一タヒ森林内ニ進入スルトキハ攻者守者ノ別ナク一様ニ紛亂スルニ至ル故ニ爰ニ至リテハ守者ノ利殆ント消滅ニ歸スルノミナラス多クノ場合ニ於テ其勝利ハ志氣ノ優勢ナル者ニ歸ス而シテ志氣ハ反ツテ攻者ヲ以テ盛ナリトス

四

森林ハ銃砲聲林内ニ反響スルト樹枝ニ觸レル砲彈ノ破裂及ヒ之レカ爲メニ裂折セル樹木ノ落下ノ爲メ志氣ヲ沮喪シ且ツ危害ヲ増加ス

住民地ハ砲彈ノ破裂ニ由テ瓦礫ヲ飛ハシ其害森林ニ異ナラス且ツ火災ノ危険アリ

以上第一第二項ノ害ハ掩蔽物ノ大ナルニ從ツテ益々増加スルヲ以テ廣大ナル森林及ヒ住民地良好ノ陣地トナスヲ得ス

其二 森林及ヒ住民地ニ於ケル防禦諸兵ノ用法

歩兵ハ防禦ノ主務ヲ擔當ス騎兵ハ前面ニ在テ搜索ヲナスコト能ハサルニ至テハ陣地ヲ翼側ニ退却シテ警戒搜索ニ任シ襲撃ノ好期アレハ是レニ投ス又戰鬥利アルトキハ敗兵ヲ追撃シ若シ否ラサルトキハ追撃兵ヲ拒止ス

砲兵ハ攻撃砲兵ヲ壓倒スルカ然ラサルモ敵ノ砲撃ヲ森林又ハ住民地外ニ誘致シ然ル後其全力ヲ擧ケテ歩兵ニ當ルヘシ

砲兵ノ位置ハ森林又ハ住民地ノ側方ヲ可トス其後方ニ位置スルハ所要ノ場合ニシテ且ツ陣地大ニ隆起スル時ノミトス又此ヲ前方ニ位置セシムルハ宜シク避クヘシ蓋シ我歩兵ノ射撃ヲ妨害シ且ツ早ク其位置ヲ退却スヘキニ至ルカ否ラサレハ歩兵線中ニ混入シ其他敵ノ砲兵

火ヲ森林又ハ住民地外ニ誘致セスシテ却テ之レヲ占領地ニ向ハシムルノ害アリ殊ニ其戦ヒ不利ナルニ當ツテハ最モ危殆ナルモノナルヲ以テナリ

森林(住民地)ノ防禦ハ防禦圏區ニ分チ各圏區ニ成ルヘク建制部隊ヲ備ヘ各區毎ニ之レヲ防禦シ得ル如クス而シテ此圏區ノ境界ニハ凸角、道路、其他緊要ナル防禦點ノ現存セサルヲ要ス是レ此クノ如キ緊要點ハ多シハ敵ノ攻撃點トナルヲ以テ是等ノ守備ハ擔任ヲ明ニシ決シテ兩圏區ニ跨リ防禦ノ責任ヲ減少スルコトナキヲ要スレハナリ
森林(住民地)ノ守兵ハ之レヲ左ノ如ク區分ス

防禦軍隊	内部守兵	圏區守兵	線端直接守兵
	外部豫備隊	内部豫備隊	援隊

内部守兵ハ森林ニ在ツテハ一米ニ一人乃至二人ノ比ヲ以テ算ス但シ單ニ障碍物ニ利用スル森林ニ在ツテハ二米ニ一人ト算ス又住民地ニ在ツテハ一米ニ二人乃至三人ノ比ヲ以テ算シ殊ニ緊要ナル住民地ハ一米ニ四人乃至五人ト算ス
右ノ比ハ固ヨリ大體ニ過キス情況、地形、防禦、編制ノ方法如何等ニ從ツテ差異アルハ勿論ナリ
内部守兵ノ三分一乃至四分一ヲ以テ内部豫備隊トシ殘餘ヲ以テ圏區守兵トス
圏區守兵ハ其二分一ヲ以テ線端直接守兵ニ充テ殘餘ヲ援隊トス
外部豫備隊ハ成ルヘク多キヲ可トス少クモ防禦全軍隊ノ四分一乃至三分一ヲ以テ之レニ充ツルヲ要ス



外部豫備隊

内部豫備隊ハ左ノ目的ニヨリ使用ス

- 一 敵ノ本攻點ヲ察知スルトキ線端ノ守兵ヲ増加ス
- 二 敵若シ森林(住民地)内ニ進入スルトキハ逆襲ヲ以テ之レヲ驅逐ス
- 三 地障若クハ林空(住民地)ニアリテハ複部ニヨリテ線端守兵ノ退却ヲ收容ス

外部豫備隊ハ左ノ任務ニ使用セラレ

- 一 森林(住民地)外ニ於テ攻勢ヲ取り決戦ノ局ヲ結フ
- 二 敵ノ迂回ヲ防止シ凡ヘテ森林(住民地)外ヨリスル敵ノ動作ニ對抗ス
- 三 特ニ必要ナルトキハ森林(住民地)内ノ守兵ヲ増加ス
- 四 一旦線端ヲ失フタルトキニ於テ回復攻撃ヲナス

五 戰鬪勝ヲ得タルトキ追撃ニ任ス
六 敗戦ニアリテハ守兵ノ退却ヲ掩護ス

其三 森林及ヒ住民地攻撃諸兵ノ用法

歩兵ハ本來ノ戰鬪ヲ負擔ス

騎兵ハ搜索警戒ノ外尙ホ攻撃砲兵ノ側面ヲ掩護シ敵ノ外部諸兵ヲ脅威スルコトヲ勉ム

砲兵ハ戰鬪中最大ノ効用ヲ致スモノナリ蓋シ砲兵ハ先ツ守者ノ砲火ヲ壓倒シ外縁殊ニ攻撃點ニ向テ集注射撃ヲ行フヘキナリ又森林若クハ住民地ノ周圍ニ設置セラレタル防禦工事ヲ破壊スルハ殊ニ此ノ砲兵ノ任トス

其四 森林ノ特性

森林ハ各邦土ニヨリテ其性質ヲ異ニスルヲ以テ一様ニ之ヲ論スル能ハス歐洲ノ森林ハ概ネ人工ヲ以テ培養セラレタルモノナレトモ我國ノ森林ハ多クハ天然ニ繁殖シタルモノニシテ人工培育ニナルモノ稀ナリ故ニ其形狀不規則ニシテ歐洲兵家ノ所謂凸角、凹角ヲ整然編制スルモノナシ歐洲ノ森林ニアリテハ篠木林ハ屢通過ス可カラサルモ喬木林ハ隊勢ヲ調ヘテ通過スルコト容易ニシテ散開戦ニ支障アルコトナシト云フ之レニ反シ本邦ノ森林ニアリテハ斯ノ如キモノハ殆ント見出スヲ得ス只タ一小部隊ノ通過シ得ルハ大ナル松林、杉林ノミニシテ菓物畑及ヒ檜林ノ如キハ樹木ノ大ナルモノノミ歩兵ノ通過ヲ免ルヘシ其外ハ僅ニ單獨ノ歩兵ヲ通過セシムルニ過キス森林ノ性質夫レ斯ノ如シ即チ我邦ノ森林ニ在ツテハ前(其一)ニ述ヘシ森林ノ利益ハ大

ニ減少シ只々障碍物ニ利用シ得ルト我軍隊ノ運動ヲ蔭蔽シ得ルトニ過キス防禦線ノ支撐點ヲナスニモ足ラス且ツ又大ナル部隊ヲ容ルハ我國ノ森林ニ於テハ殊ニ避ケサルヘカラス歐洲ノ如キ森林ニ於テスラ森林ハ兵ヲ吞ムト諺ニ傳ヘ大兵ヲ森林内ニ入ルコトヲ忌ムナリ況ンヤ我國ノモノ、如キ交通路全クナク又林内殆ント交通ノ出來サルモノニ在ツテハ若シ多兵ヲ之レニ入レシメハ全ク之ヲ失フト同一ナリ譬ヒ交通路ヲ設ケ運動ヲ容易ナラシメント欲スルモ其作業大ニシテ且ツ困難ナリ從ツテ時間ヲ費スコト多ク時機之レヲ許サ、ルコト通常ナリ故ニ我邦ノ如キ森林カ防禦線上ニ森林ノ存在スルトキハ其林縁ニ障碍物ヲ作り茲ニ敵兵ノ進入スルヲ妨ケ且ツ該處ニ其障碍物ヲ掩護シ得ル丈ケノ兵ヲ配置セハ足レリ其他ノ兵隊ハ森林ノ側方又ハ後方ニ置テ遊動防禦ニ任セシムルヲ可トス

其五 森林ノ防禦

決戦ヲ目的トスルトキニアリテハ森林ハ攻撃ニ轉スルコト難ク唯タ林縁ニ據ル所ノ守兵ヲ以テ戰鬪ヲ支柱シ援隊豫備隊等ハ戦ノ初期ハ森林ニヨリテ掩蔽シ敵ノ接近スルニ當リ之レヲ林外ヨリ使用シテ決戦ヲナスヲ良トス故ニ森林ハ一ノ補助物タルニ過キス之シニ反シテ專守防禦ニアツテハ森林ヲ利トシテ採用スヘキモノナリ
森林甚タ廣大ニシテ林外ノ運動ヲ免サ、ルトキハ宜シク森林ノ前方ニ出テ、陣地ヲ占領シ森林ハ唯タ援隊豫備隊ヲ蔭蔽スルノ用ニ供ス可シ若シ廣大ナル林縁ニヨリテ防禦セントスルトキハ左ノ如キ不利起ラサルヲ得ス

- 一 砲兵ハ歩兵ト同一線ニ置カサルヲ得ス
- 二 此ノ如ク配置スル砲兵ハ一度其位置ヲ失スルトキハ他ノ陣地

ヲ取ル能ハス果シテ然ラハ林線爭奪ノ最終期ニ於テハ砲兵ノ用ヲ全ク失スルニ至ル

森林戰鬪線ノ前方ニアリシ場合ニ於テハ我レ攻撃ニ轉シテ前進スルヲ豫期スルトキノ外ハ占領ス可カラス若シ之レヲ占領スルトキハ其全部ヲ吾有トナシテ堅固ニ是ヲ防守スルニアラサレハ却テ前進哨ノ不利ヲ招クニ至ルヘシ若シ又是ヲ占領セサルトキハ敵兵之レニ依リテ攻撃ヲ秘匿スルコトヲ得且ツ其兵力ヲ掩蔽スルヲ得ルカ故ニ森林ノ利ハ變シテ却テ守者ノ危險物トナルヘシ即チ此クノ如ク戰鬪線前ニアル森林ニシテ當時ノ情況之レヲ占領スルヲ不可トスル場合ニ於テハ防禦線ヲ轉換セサルヘカラス

森林ノ後方ニ退テ防禦線ヲ取ルトキハ其後方砲兵ノ射距離迄ハ少ナクトモ退カサルヲ得ス斯クスルモ尙ホ未タ完全ナリト云フ能ハス故

ニ防禦線ノ前方ニ森林ヲ控ユルニ代ヘ此ノ森林ノ前方ニ出テ、防禦スルヲ却テ得策トスルコトアリ其孰レニシテ可ナルヤハ林外一般ノ地形ニ依リテ決定セラル、モノトス

防禦線上或防禦線ノ後方ニアル森林ハ常ニ是ヲ占領シ置クヲ可トス是レ或ハ戰鬪線ノ支撐點トナリ或ハ軍隊ノ運動ヲ庇蔭スルノ利アレハナリ其防禦線上ニアルモノハ其林線ヲ悉ク我有ニ歸セサル可カラズ但シ甚シク前方ニ突出シテ突角ヲ成形シ己カ爲メニ不利ナル部分ハ全ク笹木掃除スルカ或ハ相當ノ防禦工事ヲ設クヘシ又其後方ニアツテ大森林ナレハ交通ヲ妨ケサル爲メニ通路ヲ設ケサルヘカラス又防禦線ノ側面ニ森林ヲ控ユルモノハ往々側面ノ良好ナル支撐點トナルモノアレトモ之レヲ占領スルコト能ハサルトキハ却テ大ニ危險物トナルナリ何ントナレハ敵ハ之レニ遮蔽シテ吾背後ニ進出スルコト

ヲ得レハナリ

森林ニハ成ルヘク少数ノ兵ヲ入レテ防禦スルヲ可トス多兵ヲ入ルハ混雜ノ基ナルノミナラス防禦編制ヲ施シタル森林ヲ守備スルニハ多兵ヲ要セサルナリ即チ森林内ノ守兵ハ成ルヘク之レヲ減シ其節約シタル兵數ヲ以テ外部豫備隊ヲ増スヲ可トス必竟スルニ外部豫備隊ヲ多クシテ活氣アル遊動防禦ヲナスハ森林防禦ノ必要タリ

森林ノ直接防禦ニ任スル守兵ハ攻撃兵漸次近クニ從ヒ其受持ノ圈區ニ趣キ其攻撃點愈明了トナリタルトキ初メテ援隊ハ其點ニ赴援シ豫備隊ハ是レニ近接ス敵兵林端ニ入ルトキハ守者ハ力ヲ竭クシテ之レト林縁與奪ヲ爭フモノニシテ此ノ際尤モ激戰ノ起ルモノナリ守者ハ唯タ猛烈果敢其後方ニ豫備ヲ以テ突進之レニ衝突スル外他ノ手段ナシ換言スレハ成ヘク團結シタル兵ヲ以テ突擊スルノ外ナキナリ此ノ時

其六 森林ノ攻撃

ニ於テ假令攻撃兵カ林外ニ驅逐セラルトモ森林直接防禦ノ兵ハ之レニ附隨シテ猥リニ追接スヘカラス若シ森林ヲ離レ尾撃シテ敵ノ返突ニ遭遇セハ攻者ハ防者ニ尾シ共ニ林内ニ進入シ來リ直チニ森林ヲ強フニ至ルヘシ即チ敵兵退却スルトキ追擊ニ任スルハ外部豫備隊ノ任ナリ森林直接ノ守兵ハ只々射撃以テ追擊ヲ應援セハ足レリ

此攻撃法ハ後ニ述フル村落ノ攻撃法ト其要領ニ於テハ同一ナルモノニシテ先ツ第一ニ攻撃點ヲ偵察スルヲ要ス其要件左ノ如シ

- 一 森林近傍ノ地形
- 二 森林周邊ノ景況防禦設備ノ種類
- 三 周邊ノ弱點

四 突角ノ位置

五 森林ヲ迂回シ或ハ貫通スル道路ノ有無
 右ノ偵察ヲ終リタル後攻撃方法ヲ決ス元來森林内ノ侵入ハ亂戰トナルモノナルヲ以テ成ルヘク森林内ニ侵入スルニ至ラスシテ砲撃或ハ迂回包圍等ニ由テ既ニ敵兵ハ森林ヲ棄テ退却スルノ餘義ナキニ至ル如クスルヲ可トス即チ通常其方法ハ正面ヨリ迫ルノミナラス迂回又ハ包圍ヲ以テ之レヲ陷ルヲ通則トス迂回ヲ爲ス時ハ其正面ニ當ル必要ノ兵ヲ之レニ殘シ置クノミニテ主ナル戰鬪ハ林外ニ於テナスモノナリ即チ守者ヲシテ森林ノ利益ヲ充分利用スル能ハサラシムルコトヲ計ルニアリ之レニ依テ之レヲ見ルモ前ニ述ヘシ如ク防者ハ多兵ヲ林内ニ入ルハ利益ニアラサルナリ然リト雖モ時トシテハ森林ハ防禦線ノ一部トナリ必ラス其正面ヨリ攻撃セサルヘカラサルコトアリ

此時ニ當リテハ先ツ砲兵ヲ以テ準備火戰ヲ行フヲ必要トス此砲兵ハ成ルヘク攻撃點タル林縁ヲ縱射シ得ヘキ點ニ位置シテ以テ此攻撃點ニ彈丸ヲ雨注シ守兵ヲ掃ヒ且ツ障碍物ヲ破毀シ尙ホ守兵ノ砲兵ヲ沈黙セシムルコトヲ勉ム若シ此準備火戰充分ナラサルニ先タチ攻撃ヲ施ス時ハ假令攻撃其功ヲ奏スルモ大ナル損害ヲ受ケ或ハ不確實ニシテ全ク失敗ヲ來スコトアリ
 砲兵ノ準備成ル後始メテ歩兵ハ攻撃ヲ始メ林内ニ近ツクニ至レハ躊躇スルコトナク直チニ銃槍突入ヲナシ一旦林内ニ進入セハ成ルヘク守兵ニ尾附シテ森林ノ後端ニ達スルコトヲ勉ムヘシ此時ニ當リテハ指揮區々ニシテ唯々勇敢ナル者其目的ヲ遂クルナリ攻撃若シ守兵ニ尾附シテ進ム能ハサルトキハ成ルヘク集團シ得ル丈ケノ兵ヲ掌握シ前方ニ斥候ヲ放ツテ進ムヲ要ス否ラサレハ林内ニ於テ密集隊ノ突撃

ニ遭遇スルニ當リ之レニ抵抗スル能ハサルナリ
 攻者林内ヲ占領シタル後ハ林内ニ多兵ヲ入ル、ノ不利ハ守者ニ於ケ
 ルト同シク即チ豫備隊ハ之レニ續行セスシテ林外ニ進ミ林外ニ於テ
 勝ヲ制スルコトヲ勉ムヘシ此ノ豫備隊ノ戦闘ハ以テ全般ノ局ヲ結フ
 モノトス攻者勝ヲ制シテ追撃スルトキハ守者ニ於ケルト同シク林縁
 ヲ占領セル者ハ紊リニ進出スルコトナク豫備隊ヲシテ追撃ニ任セシ
 ムヘキナリ

其七 住民地ノ特性

歐洲ニ於テハ常ニ村落ハ支撐點ノ用ヲナスモノナルヲ以テ戰場ニ村
 落アレハ必ス之レヲ占領シ防禦上大ニ利益アルモノトス即チ其部落
 ヲ占領スル所ノ守兵及ヒ其後方ニアル守兵ノ數ヲ識別スルコト能ハサ
 ラシメ又防禦者ハ之レニヨリテ攻者ノ彈丸ヲ遮蔽スルノ利ヲ得猛烈

ノ戦闘ヲ以テ一時ニ其部落ヲ陥レラル、コト少ナク持久ノ戦闘ヲナ
 スニ適ス然レトモ吾邦ノ家屋ハ木造ニシテ且ツ屋壁ハ土製ニシテ薄
 ク戸扉ハ紙若クハ薄板ヨリナリ屋蓋ハ多クハ草葺ニシテ歐洲各國ニ
 於ケル練瓦若クハ石造ヨリナルモノト大ニ其趣ヲ異ニス從ツテ住民
 地ノ戦術上ニ及ホス影響ノ差違甚シキモノト云フ可シ故ニ歐洲ノ住
 民地戦トシテ唱導スル原則ハ本邦ニ於テハ全ク採用スルヲ得ス今日
 本邦ノ住民地ニ於ケル戦術ノ原則トシテハ概テ左ノ標準ニ從フモノ
 トス

一 住民地ハ戦闘上掩蔽物トシテ使用スルヲ得ルモ防禦陣地トシ
 テハ不適當ナリ

二 住民地ヲ掩護シ或ハ之レヲ防禦點トシテ用ヒントスルトキハ
 是ヨリ離隔シテ陣地ヲ占メ住民地其者ハ單ニ諸部隊ヲ蔭蔽ス

ルノ用ニ供スルニ過キス

三 砲兵ハ成ルヘク住民地ヲ離レテ陣地ヲ占領スルヲ要ス

住民地ハ歐洲ニ於テハ村落、部落、市街等各其ノ種類ヲ分ツテ戰術ノ影響ヲ研究スルノ必要アレトモ本邦ニ於テハ元來家屋ノ構造及ヒ成立前陳ノ如ク各別ニ區別シテ深ク研究スルノ必要ナシ

其八 村落ノ防禦

村落ハ通視困難交通不便ナリトス故ニ軍隊ノ指揮困難ニシテ之レヲ防禦センニハ各部隊ヲシテ各防禦區ヲ定メ各部毎ニ是ヲ防禦スルコト亦森林ト同要領ナリ而シテ其兵力分配ノ方法モ亦既ニ説キシカ如シ
凡ソ村落防禦ノ軍隊ハ第一ニ其諸部隊ヲシテ其守備スヘキ點及ヒ之

レニ達スル交通路ヲ好ク了解セシメ而シテ敵ノ砲戰間即チ敵ノ砲兵カ遠距離ニアル間ハ守兵ハ村落外ニアリテ其身ヲ蔽シ只タ村落内ニハ防禦線ノ監視ニ任スルモノト防禦設備ニ從事スルモノト歩哨ノ任務ニ服スルモノ丈ケヲ留メ置クナリ但シ其奇襲ヲ受クルノ恐アルトキハ是レニ應スル兵ヲ入レ置クナリ而シテ是等村落内ニ居ル部隊中其必要ナル場所ニ於テ目下差當リ用事ナキモノハ敵砲ノ放列ノ方向ニ反對セサル面壁ニ添フテ掩蔽シアルモノトス蓋シ此ノ方法ハ砲彈ノ爲メ屋上ヨリ飛來スル瓦礫ニ對シ危險少ナケレハナリ而シテ敵カ近接スルニ及ヒ初メテ各部隊ハ受持ノ圈區ニ就クナリ内部豫備隊ハ敵ノ攻撃點ヲ察知シテ其點ニ向ツテ増加ス即チ敵ノ砲兵カ開キタル破墻孔ハ通常攻撃點トナルモノナリ故ニ此部ニ向ツテ増加スルヲ通常トス又敵カ村落内ニ入リシトキハ是ニ向ツテ逆襲ヲ行フ敵若シ退

却セハ之レヲ追撃セサルコトハ森林ニ於ケルト同シ
 外部豫備隊ハ森林ニ於ケルト同様其防禦ニ於テハ極メテ必要ナルモ
 ノナリ故ニ其兵員ハ勉メテ大ナルヲ要ス決戦ノ目的ヲ存スルカ或ハ
 戦闘線中極メテ必要ノ支障點トナル村落ニハ少クモ内部守兵ト同等
 ナル外部豫備隊ヲ備フルヲ要ス併シ村落或ハ防禦戦中ノ一部分ニテ
 極メテ小ナルトキハ特別ニ外部豫備隊ヲ備ヘス此時ハ防禦線ノ一般
 豫備ヨリ此隊外部豫備隊ノ任務ヲ兼スルナリ
 砲兵ハ敵ノ砲兵ト交戦スルトキハ早晚撲滅セラル、ヲ考慮シ成ルヘ
 ク砲戦ヲ交ユサルヲ得策トス此時ニハ砲兵ハ特種ナル任務ヲ有スル
 モノニシテ村落ノ前方ヲ側防シ攻撃隊ノ接近セシトキ之レヲ撃退ス
 ルニアリ然シ我砲兵ハ堅固ナル掩蔽物ニヨリ攻者ノ砲兵カ暴露スル
 トキハ我カ砲數少ナシト雖トモ時トシテハ敵ト砲戦ヲ試ムルヲ利ト

スルコトアリ故ヲ以テ最初ヨリ敵ト砲戦ヲ試ム可キカ又ハ前陳ノ如
 キ特種ノ任務ニ服スヘキカヲ判決スルハ時ノ狀況ニ從フモノトス
 砲兵ハ如何ナルトキニ於テモ村落内ニ置クヘカラス若シ村落内ニ入
 ルトキハ敵兵ヲ展望スルコト充分ナラスシテ射界狭マリ又家屋ニ觸
 レタル彈丸ノ破烈ニ由リテ瓦礫ノ破片ヲ飛ハシ殊ニ火災ノ媒介トナ
 リ村落内ニアル彈藥ハ非常ニ危険ナリ
 又砲兵ヲ村落ノ前方ニ置クノ不利ナルハ森林ニ於ケルト同シ
 故ニ砲兵ハ村落ノ側方ニ於テ村落ヲ側防セシムル如クスルヲ可トス
 若シ村落ノ後方ニ高地アリテ良ク前方ヲ展望スルコトヲ得レハ此ノ
 所ニ砲兵ヲ置クヲ可トス

其九 村落ノ攻撃

村落ノ攻撃ハ前陳其六森林ノ者ト同要領ニシテ之レヲ攻撃スルニ偵察スヘキ點ハ次ノ如シ

- 一 村落近傍ノ地形ノ状態
- 二 村落周邊ノ結構
- 三 其周邊ノ弱點ナル點
- 四 突角ノ位置
- 五 村落ヲ迂回シ或ハ貫通スル道路ノ有無

以上偵察ノ結果ニ依リテ攻撃點ノ攻撃法ヲ定ム
此攻撃ノ方法ヲ定ムルニハ第一ニ次ノコトヲ監査セサルヘカラス村落攻撃中ニ於テ家屋攻撃ノ如キハ最モ殘忍ノ激戰ヲ生スルモノナリ故ニ爲シ得レハ只其外縁ヲ占領シタルノミニテ戰鬪ノ結局ヲ告クル如クスルヲ良シトス是レカ爲メニハ迂回シテ之レヲ陥シ入ル、ヲ

得レハ最良ナリ或ハ地形ニ由リテ包圍スルコト能ハサレハ猛烈ノ砲撃ヲ行フテ之レヲ燒キ拂フコトヲ計ルヘシ或ハ砲撃ノミニテ守兵ヲシテ村落内ニ留マルコト能ハサラシムルコトヲ務ムヘシ
村落ヲ攻撃スルニ決定セハ歩兵ヲ以テ攻撃スル以前ニ先ツ砲兵ヲ以テ充分ニ猛烈ナル準備火戰ヲナサ、ルヘカラス其目的ハ村落ノ外圍ト村落最前ノ家屋ニ向ツテ砲撃シ以テ守兵ヲ村縁ヨリ驅逐シ特ニ攻撃點ニ破牆孔ヲ作ルニアリ且ツ村落内ニ火災ヲ起サシムルコトヲ計ル此等ノ砲兵ノ準備火戰ハ極メテ必要ニシテ之レヲ放擲シテ攻撃スル時ハ非常ナル損害ヲ受クルノミナラス其結果全敗ニ陥ルコトアリ前ニモ述ヘシ如ク尤モ望ム所ノモノハ村落ヲ包圍シテ其側面ヲ攻撃スルニアリ村落ニシテ側面ヲ脅カサレタル時ハ守兵ハ非常ニ危險ナリトノ感念ヲ懷キ爲メニ屢々堅固ニ守ル村落ヲ棄テ、退却スルコトアリ

村落ニ侵入スルトキハ工兵ヲ引率シテ借ニ至リ以テ砲兵ノ作リシ破
塔孔ヲ充分ニ開大シ攻撃兵ハ成ルヘク同時ニ村落内ニ侵入スルヲ可
トス

村縁ニ侵入シタル時ハ猛烈ニ追撃シテ尙ホ前進シ守兵ヲシテ更ニ後
方家屋ニ據ルノ猶豫ナカラシムヘシ此時ニ當リテハ指揮ハ區々トナ
リ只タ各人ノ勇敢ト將校等ノ率先トニ依頼スルノ外ナシ即チ勇敢ナ
ルモノ勝ヲ制スルナリ

村落ノ攻撃ニ於テモ豫備隊ハ攻撃本隊ノ側面ヲ掩護スルコトハ勿論
攻撃本隊村縁ニ達セハ速カニ村落ノ側方ニ進ミ村落ヲ迂回シテ其後
方ニ出ツルコトヲ計ラサルヘカラス此ノ迂回ハ村落ノ内ニ止マル殘
部ノ守兵ノ志氣ヲ阻喪セシメテ其村落ヲ放棄セシムルニ大ナル効力
アルナリ日本ノ村落ハ防禦ニ適セサル故村落ノミヲ防禦スルコトハ

アラス只タ防禦線上ニ横ハル村落カ防禦セラレ、ノミナリ此ノ時ニ
於テ村落ハ防禦線中ノ弱點ナレトモ之レヲ攻撃スルニ其村落ニ據ル
所ノ守兵ト戦フモノニアラス只タ其村落外ニ在ル守兵ヲ適當トス村
落外ノ守兵ニ勝ヲ制スレハ村落内ノ守兵ハ自然ニ退却スルニ至ルヘ
シ歐洲村落ニテモ迂回或ハ包圍ヲ行フ時ニハ斜射ノ効力カ其村落ヲ
保守スル能ハサルニ至ラシムルナリ況ンヤ日本ノ如キハ只タ障礙力
ノミナル故迂回スル時ハ忽チ陷ルモノナリ即チ日本ノ村落ハ防禦線
上ニ在ツテモ之レニ向ツテ攻撃スルコトハ全ク稀ナルモノナリ

其十 延長ナル住民地及ヒ森林ノ出口ニ於ケル戦闘

森林及住民地ノ出口ハ騎兵及砲兵ノ爲メニハ通常隘路トシテ考ヘラ
ル故ニ有効ノ火力ヲ以テ出口ニ注射シ得ヘキ地ニ位置スルモノハ次

ノ利ヲ有ス

一 攻者即チ隘路ヲ進出スル所ノモノハ初メ只タ歩兵ノミヲ展開シ得ルノミ故ニ砲撃ヲ以テ準備戦ヲナス能ハス砲兵及騎兵ハ危険ヲ冒カシテ兵力ヲ分割シ射程外ヲ迂回セサルヲ得ス

二 攻者ハ住民地森林内ニ兵隊ヲ敷置シテ戦闘セサルヲ得スシテ動モスレハ隊次ヲ混亂シ且ツ命令ノ誤解ヲ免カレサルヘシ

上文ニ反シ攻者ハ住民地森林地内ニ於テ蔭兵ノ利ヲ有シ又不意ニ側方ニ現出スルヲ得

其十一 市街戦

大都府ノ内部ニ於ケル戦闘ハ甚タ混亂ヲ起コスモノナリ防者ハ市街ノ家屋並ニ街衢ニ防禦工事ヲ施コシ之レヲ守備セシヲ以テ是レヲ攻

撃スルハ家屋及ヒ庭園ヲ破壊シテ市街ノ一側ヲ貫通シ以テ敵カ某點ニ於テ施セル阻絶或ハ其他防禦工事ニ達スルカ或ハ直チニ威力ヲ以テ道路上ヨリ阻絶或ハ防禦工事ニ向ツテ突進スルカニアリ

市街内ニ於テハ砲兵ノ使用殆ントナシ概ネ之レヲ使用スルハ道路上ニ一二門ヲ備ヘ道路ヲ縦射シ若クハ防禦工事ニ對シテ砲撃スルニ過キス要スルニ市街内部ノ戦闘ニ於テハ銃劍ヲ振ヒ威力ヲ以テ雌雄ヲ決スルノ外ナシ

●河川ノ戦闘

其一 總論

河川ハ戦術上ニ影響ヲ及ホスコト大ナルモノニシテ即チ側面ノ依托

或ハ正面ノ障害トシテ大ニ防禦上ニ利ヲ與フルモノナリ然レトモ河川ハ水流ノ廣狹、深淺、流水ノ速力、兩岸ノ形狀、河岸ノ形狀ニヨリテ其價値ヲ異ニス、流水淺キトキハ大障碍トナラス故ニ障碍力ヲ益サンニハ氾濫ヲ作ルヲ要ス然レトモ此ノ事タルヤ困難ナル作業ニシテ野戰ニアリテハ應用スルコト難シ若シ鐵道ノ堤防ノ如キモノ幸ニ水流ニ直角ナル位置ニアルトキハ之レヲ利用シテ作ルニ過キス然ルトキハ其近傍全體ノ地形極メテ水平ナルニアラサレハ大ナル功ヲ呈スル能ハス抑モ橋梁ニ由ラサレハ通過シ得ヘカラサル如キ水流ニ於ケル戰闘ハ攻者橋梁ヲ架シ以テ對岸ニ達センコトヲ勉ムルト守者其ノ架橋作業ヲ妨害セントシ或ハ攻者尙ホ未タ適當ノ兵力ヲ以テ此岸ヲ占領スル能ハサルニ先タチ全力ヲ以テ是レヲ攻撃スルトニアリ架橋作業ハ敵火ノ下ニアリテハ殆ント之レヲ行フコト能ハス故ニ攻

者ハ宜シク敵ヲ欺騙シ其不意ニ出テ、是レヲ行フカ或ハ遠距離ノ迂回ヲナサ、ルヘカラス故ニ水流ノ防ハ常ニ時間ノ猶豫ヲ得ルモノニシテ能ク持續戰ノ目的ニ適當スヘシ

其二 河川ノ防禦

水流ハ延長ナル障碍物ニシテ防禦者ヲ廣長ノ區域ニ依テ能ク掩護ス然レトモ之レニ據テ防禦スルニモ亦非常ニ困難ナル點種々アリ何トナレハ攻者ハ水流ヲ容易ニ渡リ得サルト同時ニ防禦者モ亦之レヲ超ヘテ前進スル能ハス之レカ爲メ攻撃者ハ水流ヨリ前方ノ地區ニ在ツテハ自由ノ運動ヲ爲シ能フヘク則チ攻者ハ河岸ニ沿フテ若干ノ哨兵ヲ配置シテ其運動ヲ蔭蔽シ其目的ヲ秘シ能フヘク之レニ反シ防者ハ容易ニ數ノ渡過點ヲ知ルコト能ハス又假令攻者カ強行手段ヲ以テ

或ル一點ヨリ渡河シ來ルモ防者ハ河ヲ超ヘテ之レヲ妨クル能ハス且ツ防者ハ愈敵ノ渡河點ヲ知ルモ此渡河點タルヤ防者ノ位置ヨリ遠ク上流或ハ下流ニシテ爰ニ至ルノ距離遠大ナレハ遂ニ敵ノ渡河ヲ妨クル能ハサルコト屢アリ然リト雖トモ攻者ハ渡河ニ有利ナル且ツ防者ノ警戒少ナキ點ヲ撰ンテ渡河シ來ルハ殆ント疑ヲ容レサル所ナリ故ニ水流ノ方向並ニ其近傍ノ地形ヲ精細ニ研究シ以テ考察ヲナセハ概テ敵ノ撰ンテ渡河點トスヘキ場所ハ知り得ヘキナリ然ラハ守者ハ是等ノ點ヲ監視シ愈敵ノ渡過點ヲ看破シタル後迅速ニ之レニ向テ前進シ得ル如ク軍隊ヲ配置スルヲ要ス

凡ソ河川ヲ防禦スルニハ前陳ノ如ク困難ナル者ナレハ之レヲ防禦スルニ當ツテハ微少ノ事ニ至ル迄深ク注意シ置カサルヘカラス

一 平時ヨリ通過ニ使用セル橋梁淺瀬等ニシテ若シ防者之レヲ用

- 二 ヌル必要ナキ時ハ之レヲ破壊スヘシ而シテ尙ホ爰ニ哨兵ヲ配布シ嚴ニ監視スルヲ要ス蓋シ此等ノ點ハ敵方ヨリ通スル便利ナル道路アルヲ以テ敵ハ再ヒ修理シテ渡河ヲ企ツレハナリ
 - 三 舟筏等架橋ニ應用シ得ル材料ハ之ヲ破毀スルカ或ハ我岸ノ方ニ運搬シ敵ノ使用ニ供セサラシム
 - 四 敵カ諸材料ノ運搬ニ使用スヘキ鐵道其他諸材料ヲ破壊ス
 - 五 水流ノ全長ニハ絶エス警戒ヲ加フルヲ必要トス故ニ敵ノ優勢ナル部隊カ河川ニ近接セサルニ先タチ前方ニ騎兵ヲ派出シテ遠ク搜索セシメ敵若シ接近シ來ラハ騎兵ハ兩翼ヲ遠ク搜索スヘキナリ
 - 六 前哨ハ注意周到ニシテ便ナル通信法ヲ設クルヲ要ス
- 凡ソ攻者カ渡過セントスル以前ニハ綿密ニ其渡河點ヲ偵察ス

七
 七 者ナルヲ以テ此敵ノ偵察ノ動作ニ由テ彼ノ目的ヲ看破シ得ルコトアリ而シテ是等ノ敵ノ偵察者カ河川ニ接近シ來ルモ之レヲ攻撃驅逐スルヨリハ寧ロ其目的ヲ察知スルコト必要ナルカ故ニ極メテ彼カ近接スルマテハ之ヲ射撃セサルヲ可トス是レ彼ヲシテ中途ニ於テ其動作ヲ止メ我ニ目的ヲ察知セシムル丈ケノ材料ヲ現ハサスシテ去ラシムルコトナキカ爲メナリ

八
 八 河川中極メテ必要ナル場所ニシテ敵ノ偵察動作ハ果シテ眞ナルカ將タ偽ナルカヲ看破スルニハ熟練ノ將校ヲ爰ニ派遣スルヲ要ス

九
 九 夜間ニ在ツテハ斥候ヲ小舟ニ載セ上流下流ヲ上下シテ以テ警戒スルヲ要ス此方法ハ暗夜ニ在リテモ能ク敵ノ動作ヲ知り得ルモノナリ

十
 十 敵カ蔭蔽シテ架橋準備ヲナスニ便ナル點即チ敵方ニ支流アリテ此支流中ニテ準備セ得ル等ノ場所ハ堅固ニ監視注意スルヲ要ス而シテ一度架橋準備ノ徵候ヲ見タレハ直チニ步兵一二中隊ニ若干ノ騎兵ヲ附シテ派遣スヘシ又必要ニ際シテハ若干ノ砲兵ヲ之レニ加フ此隊ハ隘路ノ後方ニ於ケル如ク陣地ヲ占メテ敵ノ架橋作業ヲ妨害ス其他橋梁破壊ニ必要ナル準備ヲナシ置クヘシ

十
 十 河川全般ノ防禦ニ任スル主力ハ敵ノ渡過ヲ計ルノ患アル點ニ迅速ニ前進シ得ラルヘキ點ニ於テ集團シテ位置シ決シテ最初ヨリ河川ニ沿フテ一連不斷ニ兵力ヲ展開スヘカラス而シテ敵カ愈々渡河スル時ニ當リ之レニ向ツテ前進シ以テ其渡河ヲ妨害スルカ或ハ既ニ渡河スル者ヲ驅逐ス所謂敵ノ半渡ヲ撃ツナリ

決シテ其主力ハ輕忽ニ動クヘキモノニアラス若シ敵ノ陽動ニ牽制セラレテ之レニ向ツテ運動スル如キコトアラハ實ニ一大失計タルヘシ即チ後ニ至リ眞實ノ渡河點ヲ知ルモ全ク之レニ應スル能ハサルニ至ルヘシ

水流ノ防禦法ハ大略以上ノ如クナレトモ此防禦ハ元來困難ナルモノナル故適當ニ之レヲ防禦セント欲セハ己レ先ツ攻者ノ位置ニ立チテ如何ニ之レヲ攻撃スルヤヲ考ヘ然ル後此防禦法ヲ考フルハ極メテ緊要ナリトス

其三 河川ノ攻撃法

河川ハ屢々作戰中遭遇スルモノニシテ之レヲ渡ルニハ屢々危險ニ出會スルモノトス故ニ之レヲ攻撃スルニ當リテハ極メテ微細ノ事ニ至ルマ

テ注意シ自己ノ利益ナル件ハ悉ク之ヲ應用スルヲ要ス而シテ其渡河點ハ何レノ地點ニ撰フモ可ナル如シト雖トモ其地域ハ戰畧上ノ目的ヨリ制限セラレ自ラ限界ノ生スルモノナリ此限界内ニ於テ何レノ點ヨリ渡ルヘキカハ戰術上ノ目的ヨリ決セラル、モノナリ

平時交通シアル橋梁等ニシテ其位置戰術上ノ要旨ニ合セハ渡過點トシテ尤モ良好ナルモノナリ夫レ總テノ道路ハ橋梁ニ向ツテ輻輳スルモノナルヲ以テ軍隊ノ運動便利ヲ得又橋梁ノ前方ニ至ルモ諸方向ニ道路ハ擴張シ渡河後ノ運動モ容易ナリ假令在來ノ橋梁ハ既ニ敵ニ由ツテ破壊サレアル時ト雖トモ戰術上ノ要求ニシテ充足セハ其附近ニ於テ架橋スルヲ可トス然ルトキハ架橋材料等ノ運搬上尠カラサル便利アリ之レニ反シ橋梁ノ位置ニシテ若シ戰術上ノ要求ヲ充足セサラシカ他ノ場所ニ於テ渡河點ヲ求メサルヘカラス

凡ソ架橋點ヲ撰ムニハ比隣ノ地河川ノ形狀狀態ヲ顧慮セサルヘカラス

- 一 比隣地ハ材料運搬ニ適スル良好ノ道路ヲ有シ架橋點ノ附近ハ軍隊ノ運動自由ヲ妨ケサル爲メ沼澤地等諸障礙ノ存在セサルヲ要シ且ツ軍隊ノ運動ヲ遮蔽スルヲ要ス
- 二 河岸ノ形狀地質ハ斜坡ヲ作ルニ大作業ヲ要セサル爲メ高カラス且ツ岩石地ナラサルヲ要ス
- 三 架橋セントスル地區ノ近傍ニ支流アルトキハ其交會點ノ下流ニ撰ムヲ可トス然ルトキハ敵ニ陰蔽シテ架橋ノ準備ヲ爲シ此材料ヲ流下シテ直チニ架橋スルヲ得ヘシ若シ其支流敵方ニアレハ交會點ノ上流ニ撰ムヲ可トス蓋シ防者ノ破壊物體ヲ流下スルニ由テ架橋ヲ破壊セラレサランカ爲メナリ

四 流水ノ狀態ハ廣サ、深サ、水速、河床ノ地質等ニ由テ架橋ノ技術上ニ關係ヲ及ホスコト大ナリ故ニ是等ハ工兵將校ヲシテ偵察セシムルヲ要ス

五 水流ノ形狀ニ於テハ大ニ考究スヘキコトアリ即チ其水流ノ方向我方ニ灣曲シタル者ハ屢之ヲ渡河點ニ採用スルコトアル者ニシテ此點ハ次ノ利ヲ有ス

- イ、渡過セントスル前方ノ土地ヲ包圍シ此ニ火力ヲ輻輳シ以テ渡河ヲ援護スルニ便ナリ
- ロ、我方ニ灣曲セル水流ノ我岸ハ通常彼岸ヨリ高ク前方ノ土地ヲ制下シ得ル
- 右ノ利益アレトモ又之レニ伴フテ左ノ害アリ
- イ、渡河後軍隊ノ運動スル地域狹小ニシテ展開ニ不便ナリ

ロ、我方ノ岸高ク斜坂急ナルヲ以テ斜坂ノ構築困難ナリ
 ハ、前岸ノ土地ハ概テ湿地ニシテ運動容易ナラス
 ニ、水流ノ屈曲部ハ流水直角ニ衝突セサル故橋梁ノ維持困難ナリ

- 六 架橋材料ハ近傍ヨリ徵集シ得易キヲ要ス
 - 七 我岸ニ適當ノ砲兵陣地ヲ有シ彼岸ニ向ツテ助勢シ得ルヲ要ス
 - 八 彼岸ニハ適當ノ掩護陣地アルヲ要ス
 - 九 前方ノ土地ハ直接ニ敵眼ニ暴露セサル程度ニ(過度ニ蔭蔽セハ我射撃ヲ妨害ス)蔭蔽シ渡河動作ヲ遮蔽スルヲ要ス
 - 十 彼岸ノ地形ハ渡過後ノ攻撃動作便利ナルヲ要ス
- 凡ソ敵ノ近傍ニ於テ渡河スルニ二法アリ
- 甲 敵カ對岸ヲ占領スルトキ即チ強行通過

乙 敵カ目前通過點ヲ守備シアラサルモ早晚敵カ現出シ以テ我軍隊カ悉ク渡リ終ラサル以前ニ敵ノ妨害ヲ受クル恐レアルモノ

甲ノ場合即チ敵前ニ於ケル強行通過ハ極メテ危険ナル者ナリ之ヲ爲サントセハ奇計ヲ用ヒテ敵ヲ欺騙セサレハ其實行甚タ難シ

夫レ渡河ハ危険ナルモノニシテ渡河中ニ發スル種々ノ出來事ニ際會スルモ之レニ應シ得ルノ諸準備ヲナシ敢テ遺漏ナカラシムヘシ乃チ敵前渡河ヲ行ハントセハ先ツ敵ヲ通過點ヨリ驅逐シ我架橋掩護兵ヲ舟筏等ニ由テ前岸ニ渡ラシメ此兵ハ隘路前方ニ於ケル如ク陣地ヲ占領シ以テ架橋作業ヲ掩護セサル可カラス而シテ假令架橋完成シタル後ト雖モ我軍ノ全部悉ク渡河シ終ルハ大ナル時間ヲ費スヲ以テ掩護隊ハ輕々シク前進スルコトナク須ラク持久戰ヲナシ本隊ノ渡河開進ヲ終リタル後前進スヘキナリ蓋シ是等ハ其時ノ形勢ニ由ツテ一概ニ

言フ能ハサレトモ必竟我渡河ノ半ハヲ逆襲セラレサル如ク動作スルヲ以テ緊要トス乃チ敵ハ我渡過ヲ知ルヤ之レニ向ツテ直チニ襲歩ヲ以テ來襲スル者ナルカ故ニ此場合ニ於テハ假令橋梁完成シアルモ本隊ノ攻撃準備ハ未タ整頓セサルヲ以テ我カ爲メニハ大ニ不利ナル場合ニシテ須ラク持重ヲ要スルナリ此外又敵ヨリ浮游体ヲ流下シテ架橋ヲ破毀セラル、患アリ

凡ソ敵前ノ渡河ハ以上ノ如ク困難ナルヲ以テ之レカ實施ニ當ツテハ宜シク敵カ我渡河ヲ察知シテ我ニ向ヒ來襲セントスルモ之レヲ爲シ能ハサラシムル如ク奇計ヲ用ユルヲ要ス之レカ爲メニハ渡過スヘキ確實ナル理由ノ存スル點ニ於テ僞リノ架橋準備ヲ爲シ敵ノ兵力及ヒ注意ヲ其點ニ引キ而シテ後警戒不充分ナル點ニ於テ眞ノ渡河法ヲ行フヘシ

又敵ハ彼岸ニ於テモ充分ニ搜索シ且ツ種々ノ通信法ヲ定メ何時ニテモ我渡河ニ應スルノ準備ヲナシアルヘキヲ以テ主力ハ架橋ノ終ルト同時ニ其點ニ達スル如ク運動スルヲ要ス而シテ此時期ニ至ルマテハ反ツテ陽渡點ニ主力ヲ集メ置ク等ハ亦ターツノ計策ナリ
乙ノ場合即チ敵カ現在前岸ヲ警戒セサルモ我渡河中ニ於テ敵ノ進來ニ遇フノ恐レアル場合ニ於ケル渡河法ハ前記ノ如ク困難ナラサルモ亦戒慎ヲ加ヘテ渡河スルヲ要ス此時ニ當リテハ隘路前方防禦ニ於ケル如ク渡河點ノ前方ニ陣地ヲ占メ何時ニテモ敵ノ侵來ニ應シ得ルノ處置ヲ施シ以テ我軍隊カ全ク渡過シタル後前進ヲ起スヘキナリ此等ノ渡過法ハ成ルヘク多クノ橋梁ニ由ツテ速ニ渡河ヲ終ルヲ可トスルヲ以テ成シ得レハ數多ノ軍橋ヲ架設スヘシ然レトモ材料ニハ限リアルヲ以テ大兵團ヲ運動セシムルニ當リテハ師團ニ一個ヲ通常トス

此渡河法ニ述フル如ク攻者ハ偽計ヲ以テ渡過ヲ計ルカ故ニ防者ハ宜シク此偽計ニ陥ラサル如ク速ニ彼ノ企圖ヲ看破スルヲ必要トス而シテ防禦ノ方法ハ適時ニ逆襲ニ轉スル一法アルノミナリ必竟スルニ水流防禦ノ要ハ遊動防禦ナラサルヘカラサルコトヲ知ルヘシ

●高地戰

其一 高地ノ性質効用

高地ハ其形狀ノ差ニヨリテ高地ノ價值ヲ著シク左右ス歐洲大陸ニ於ケル高地ハ其形狀概シテ急激ノ變換無ク頂面ハ概ネ平坦ニシテ大部隊ノ運動ヲ免ルヘシ普通高地戰トシテ唱導スル所ノ戰鬪性能ヲ發揚スルニ足ルモノナレトモ我日本ノ高地ハ全ク是ニ反シ大ニ其趣キヲ

異ニス

夫レ本邦ノ高地ハ脊梁大山脈ノ支脈ニシテ此支脈ハ島國山脈ノ常トシテ到ル處險峻傾斜急劇ナリ又假令ヒ稀レニ傾斜緩徐ナル高地アルモ我邦ノ田畝ハ成ルヘク水平地トナサン爲メ斜面中ニ階段ヲ設ケ所謂段々畝ヲ成形ス故ニ斜面ハ不正ナル夥多ノ死角ヲ造ルノミナラス非常ニ運動ヲ阻害シ又高地基脚ヲ削除シテ平地田畝面ヲ廣カラシムルヲ計ルヲ以テ登攀甚タ難ク又斜面ニ田畝ヲ作ラサルモノハ概テ蔭蔽スルコト常ナリ頂面ハ甚タ狭ク恰モ馬脊ノ如ク其深厚ヲ有スルコト甚タ稀ナリ故ニ凸線上ニ於テ幅廣キ斜面ヲ前方ニシテ防禦スルニ當リ側面攻撃ヲ受クルトキハ之レニ對シテ動作スルヲ得ス故ニ我カ日本ノ高地ニ於テ陣地ヲ占領スルトキハ攻者ヲシテ大ニ登攀ヲ困難ナラシムルヲ得ルトモ一タヒ敗ヲ取ルトキハ慘酷ナル状態ニ於テ後

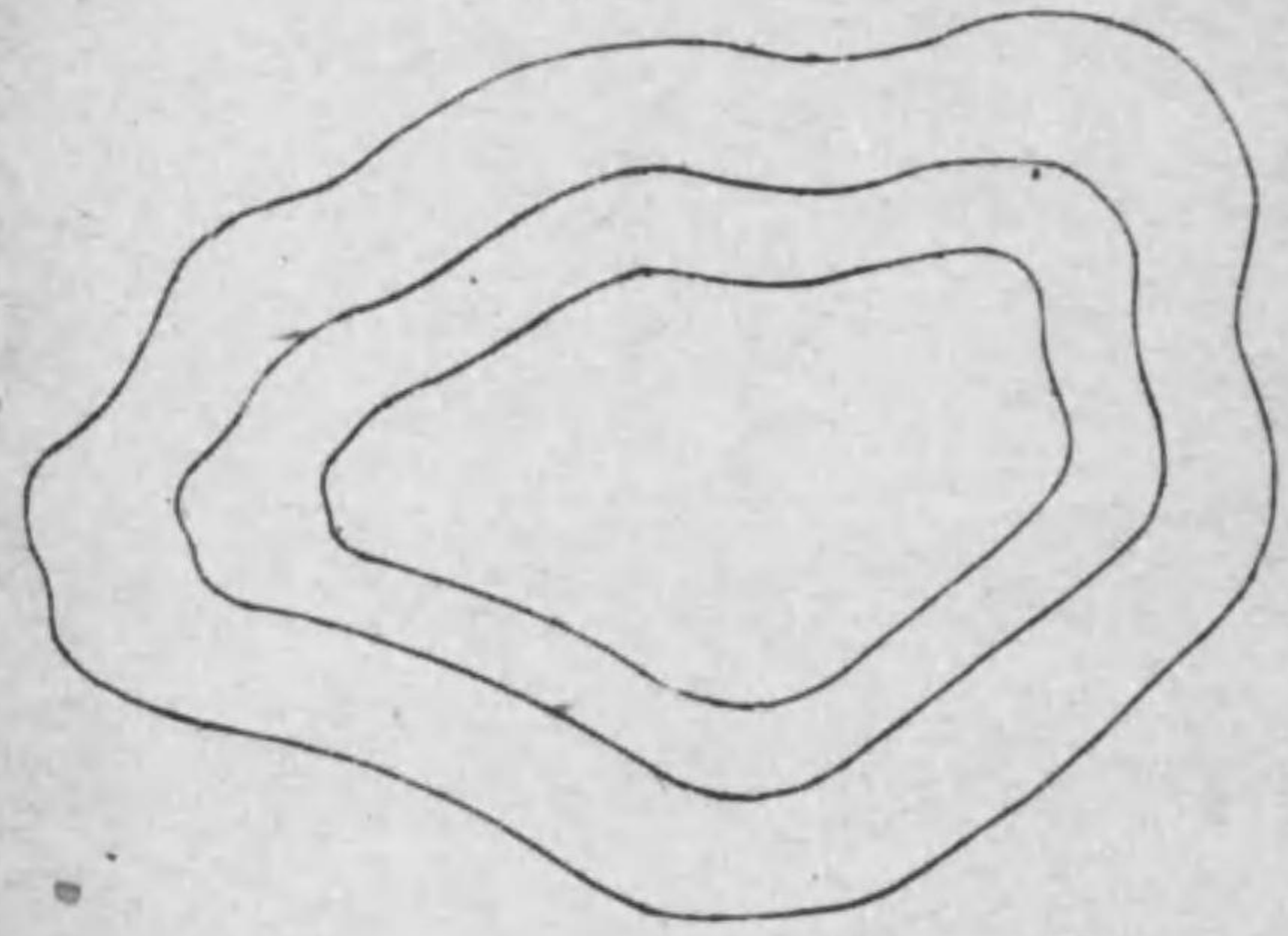
方ノ谷中ニ陥擠セララルヘシ高地一般ノ利トシテ認ムル所ノ者ハ左ノ

如シ

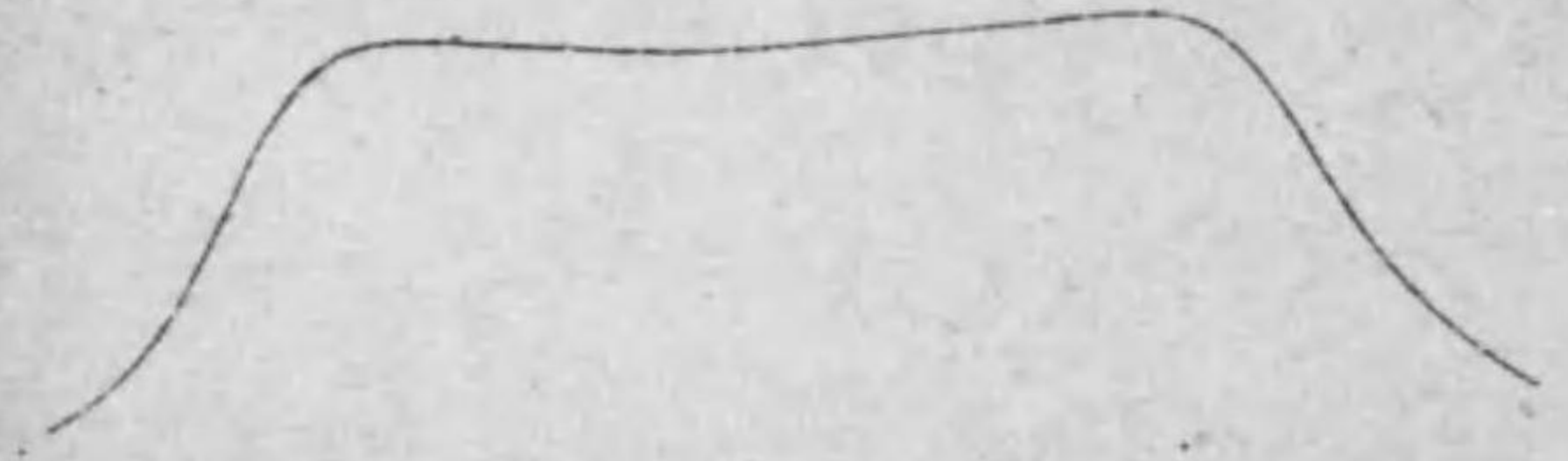
- 一 制高
- 二 展望
- 三 砲兵ノ射撃
- 四 配備ノ掩護
- 五 攻者登攀ノ困難

歐洲大陸ノ高地一般ノ形状

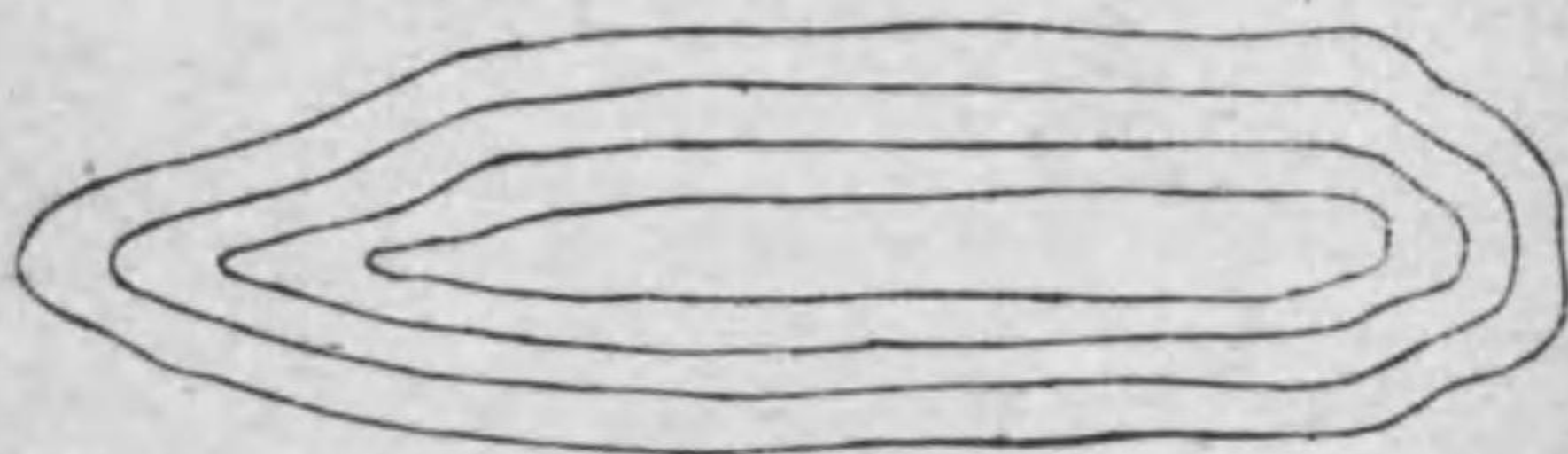
平面圖



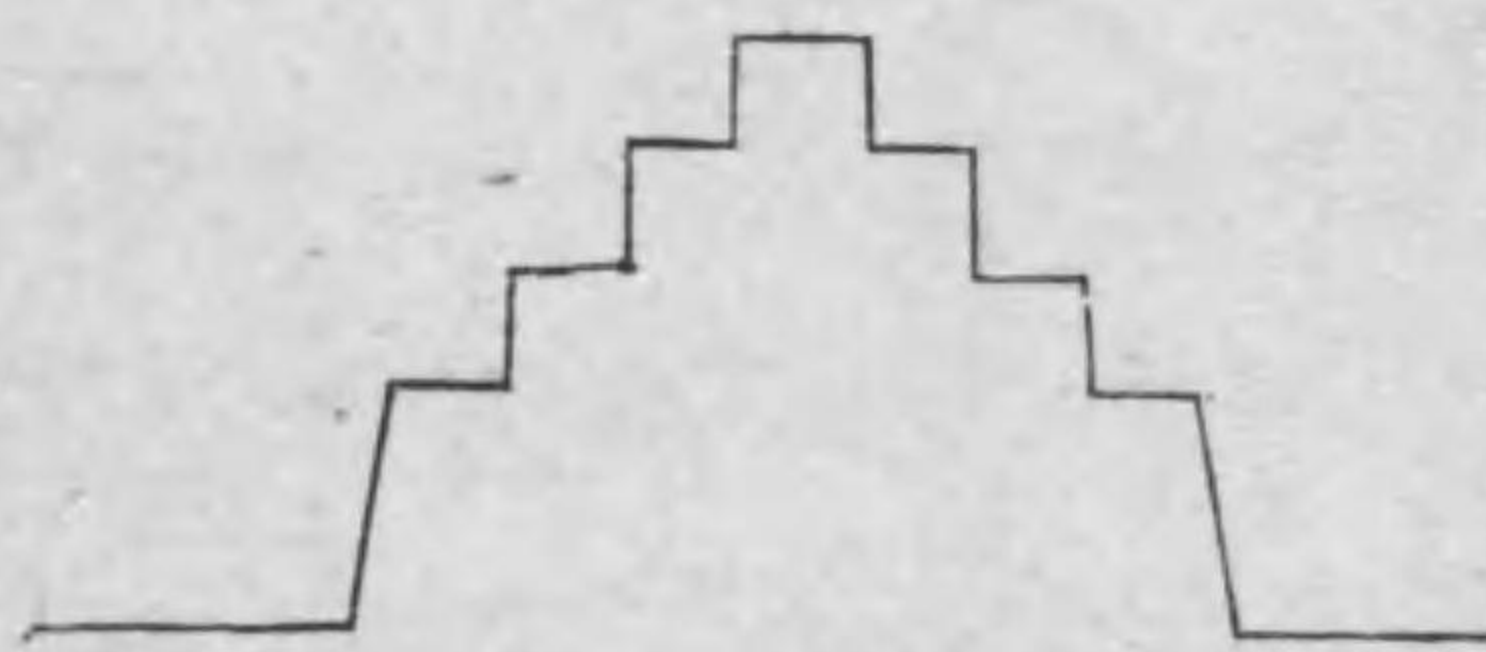
断面圖



平面圖



断面圖



其二 高地ノ防禦

高地ノ防禦ハ通常其高地縁端ヲ占領ス然レトモ若シ高地ノ頂面深高
 開濶ニシテ其縁端ハ反ツテ蔭蔽錯雜兵ノ配備ニ不便ナルトキハ所謂
 後退ノ陣地ヲ占ムル爲メ其縁端ヲ棄テ、高地頂面上前方ニ射界ヲ控
 ヘテ陣地ヲ占領シ敵カ高地上ニ現レ來ルヲ待チ迎へ撃ツテ之レヲ再
 ヒ高地下壓擠スルノ戦法ニ出ツルコトアリ

高地ノ斜面上ニアル掩蔽物ハ高地ヨリ敵眼ヲ遮蔽シテ援助シ得ルト
 キノミ是ヲ占領スルモノナリトス蓋シ是ヲ占領スルトキハ砲兵ノ掩
 護ヲ確實ナラシメ得ルノ利アリ若シ是ニ反シ斜面上ニアル掩蔽物ニ
 到ル交通不便ナルトキハ爰ニアル守兵ノ退却及ヒ爰ニ趣ク増援兵ノ
 運動共ニ困難ニシテ殆ント爰ニアル守兵ハ孤立ノ狀ニ外ナラス故ニ

所謂前進哨ナルモノヲ形造リ防禦上不利益ナルモノトス
 砲兵ノ爲メニ善良ナル陣地ハ高地前線ノ後方ニシテ其掩護ヲ得且ツ
 是ヲ超ヘテ能ク敵ノ近接シ得ヘキ方向及ヒ敵ノ砲兵ノ陣地ト想定シ
 得ル地點ヲ射撃シ得ル所是レナリ此ノ如キ陣地ニアル砲兵ハ多クノ
 場合ニ於テ高地脚ヲ普ネク瞰制掃射スルコト能ハス故ニ高地脚ヲ充
 分ニ射撃セシメン爲メニハ砲兵ヲ前線マテ出スヲ要スルコトアリ然
 ルトキハ歩兵ト同線上ナルノ不利ヲ生スルナリ
 高地ノ形狀重層射撃ヲ許ルストキハ大ニ火力ヲ盛熾ナラシムルヲ得
 ヘシ然レトモ適當ニ是ヲ實施シ得ルハ甚々稀ナリ是レ之レヲ實施ス
 ルニ當リテハ下層ノ火戦ニアル部隊ハ其退路ヲ掩蔽シアルコト肝要
 ナルヲ以テナリ故ニ通常此重層射撃ヲ行フハ側面若クハ凸角等ニ於
 テ地區狹少ナル爲メ數多ノ火器ヲ配列セントスルモ其幅員ニ餘地ナ

キ等ノ場合ニ於テス

高地戦ニ於テ最モ弱點ヲ成形スルハ高地ノ突角及ヒ高地上ヨリ火力
 ヲ及ホシ能ハサル死角トス故ニ是等ノ點ニハ殊ニ側防法若クハ其他
 ノ防禦法ヲ施シ堅固ニ掩護スルヲ要ス

其三 高地ノ攻撃

高地攻撃ハ通常三期ニ分タル、モノトス
 第一期ハ高地線端ノ侵襲ニ至ルマテノ戦闘ニシテ此期ニ於テハ概ネ
 左ノ原則ニ從フ

- 一 有効ノ準備射撃
- 二 第一線ヲ強大ニシ且ツ縦層ノ區分ヲナスコト
- 三 斜面ヲ攀登スルニ方リ時々死角若シクハ掩蔽物ヲ利用シ兵力

ヲ愛惜スルコト

- 四 強大ナル密集隊ヲ隨へ線端ニ突入スルコト
 - 五 騎兵ハ側面ノ警戒及ヒ要スレハ襲撃ヲナス
- 第二期ハ高地撃端ノ占領ニテ概ネ左ノ原則ニ從フ

- 一 守者ノ企ツル回復攻撃ニ抵抗スル爲メ新銳ノ部隊ヲ以テ速カニ線端ヲ占領スルコト
- 二 接戦亂闘ハ此線端占領ノ時期ニ起ルモノナリ即チ勝利ハ志氣ノ優勢ヲ占ムルニ由テ其大半ヲ達スルモノトス
- 三 線端ヲ占領セハ速カニ確固タル據點ヲ作り第三期ノ戦闘ニ移ル

第三期ハ後地ノ後線ニ至ルマテ頂面ノ侵畧及ヒ追撃ニシテ概ネ左ノ原則ニ從フ

- 一 砲兵ハ勉メテ速力ニ高地ニ進ムヘシ
- 二 諸兵ハ銳意突進速カニ高地ノ後線ニ達スルコトヲ勉ムルコト
- 三 敵ヲ高地ノ後線ヨリ驅逐セハ火力ヲ以テ先ツ敵ヲ追撃シ騎兵ハ襲撃ヲ試ミ然ル後新銳ノ兵ヲ進メ連綿敵ヲ追撃セシムヘシ
- 四 敵ノ敗走ニ尾シ輕忽ニ高地ヲ下ルハ過誤ナリ

● 低地(溪谷)ヲ隔ツル戦闘

低地戦ハ一ツノ高地戦ト見做スヲ得蓋シ守者ハ高地端ヲ占領シ攻者ハ對岸ヨリ低地ヲ超ヘテ之ヲ攻ムルヲ要スレハナリ但シ其高地戦ト異ル所ハ左ノ如シ

一 高地ニアリテハ守者ノミ獨リ高地ニ陣地ヲ占ム然レトモ低地ノ戰鬪ニアリテハ攻者モ亦前岸高地ヲ占ムルヲ得ル故ニ射擊ヲ以テ戰鬪ヲ準備スル便ヲ得且ツ戰鬪間低地ヲ通過スル我兵隊ノ頭上ヲ越エテ射擊スルコトヲ得

二 低地ノ戰鬪ニ於テハ守者モ又利スル所アリ即チ攻者ハ防禦陣地前方ノ斜面ヲ登ルニ先ダチ自己ノ占メタル高地ノ斜面ヲ下ラサル可カラスシテ即チ守者ノ爲メニ好目標ヲ呈スル是ナリ要スルニ低地戰ニアリテハ兩敵中他ノ緣端ヨリ高キ緣端ヲ占領スル者ニアリ是レ制高ノ利ヲ占ムレハナリ

● 山戰

山戰ハ大兵ノ運動ニ適セス然レトモ山地就中山谷道路ノ通貫スルニ於テハ寡弱ナル枝隊ニ適當ナル防禦陣地其數少ナシトセス此陣地ノ正面ハ大低堅固ニシテ其側面ハ攻者或ハ攻撃スルヲ得ルモ爲メニ多クノ時間ヲ要ス其之ヲ迂回スルニ當リテハ殊ニ然リ然レトモ攻者一度此迂回ノ目的ヲ達スルニ當リテハ守者ハ其退路ヲ切斷セラレ其會テ有シタル地ノ利ハ轉シテ攻者ノ有ニ歸スルモノナリ故ニ山戰ニアリテハ戰鬪ヨリモ寧ロ運動ヲ以テ敵陣ヲ陷拔スルヲ要ス但シ攻者ニアリテモ斯ク運動スルトキハ又其退路ヲ失フノ危險ハ平地ニ於ケルノ比ニアラスシテ他ヲ迂回セント欲スルモノハ又他ニ迂回セラルノ實況ハ殊ニ山戰ニ於テ多ク見ル所ナリ又守者ハ敵狀ヲ得ルノ困難ト隊路ヲ切斷セラル、ノ危險トノ故ヲ以テ自然其兵力ヲ分離スルニ到ル爰ヲ以テ山地ノ戰ハ一地區若クハ一地點ニ於テ戰鬪ノ勝敗ヲ決ス

ル能ハス必ス各所ニ於テ各部隊獨立シテ戦闘ヲナスコト多カルヘシ又他ノ一方ヨリ考ルモ此ノ論ノ實確ナルヲ證スルニ足ル如何トナレハ山地ニ於テハ大兵ヲ一點ニ集結スル能ハサル代リニ陸藏シテ背後若クハ側面ニ出ツルコト容易ナルカ故ニ攻者ハ諸方向ヨリ敵ノ側面若クハ背後ヲ脅威スルヲ計リ前述ノ如ク多クハ迂回ノ戦法トナルヘケレハナリ

之ニヨリテ之ヲ見レハ山戦ハ其戦法ニ様トナルヘシ

一 各地區ノ交通便利ニシテ豫備隊ヲ一點ヨリ隨意ノ他點ニ運轉シ得ル場合所謂中央陣

二 右ニ反シ交通不便ニシテ豫備隊ヲ彼此ニ運轉シ能ハサル場合所謂分列陣

第一ノ場合ニアリテハ敵ノ進入スヘキ諸道路ニ勉メテ寡少ノ兵ヲ備

ヘ而シテ成ルヘク多クノ豫備隊ヲ貯存シテ敵ノ主力ヲ用ユルハ果シテ孰レノ道ナルカヲ偵知シタル後豫備隊ヲ以テ其方面ノ戦闘ニ預ラシムルヲ要ス

此ノ戦法ハ歐洲大陸ノ山地ニ於テハ成シ得ヘキモ我邦ノ山地ハ概テ險峻ニシテ運動困難ナル故此ノ戦法ヲナス能ハス故ニ我邦ノ山地ニ於テハ第二ノ場合ヲ以テ適當トスルモノナリ即チ此ノ場合ニ於テハ防者ハ豫備隊ヲ一點ニ集結スルコトナク各要點ニ兵力ヲ分配シテ各所ヲ占メ攻者ヲシテ多クノ兵力ヲ使用スル能ハサラシムル如ク陣地ヲ占領スルナリ爰ニ於テカ戦闘ハ各所各別ノ點ニ於テ起生スヘキナリ

即チ此第二ノ場合ノ戦闘ニ於テハ各處ノ部隊ハ各々其ノ方面ニ於テ各別ニ獨立力ヲ有スルヲ必要トス故ニ兵力ハ總豫備ノ如キ設ケナク

最初ヨリ之レヲ各所ニ分配シ各局所ノ兵力ヲ若干タリトモ衆多ナラシムルコトヲ勉メ各所ノ戰鬪ニ於テ戰勝ノ數多キモノカ全體ニ於テ勝トナルモノナリ而シテ斯ノ如ク各所ニ兵力ヲ分離スルモ山戰ニ於テハ他ノ普通陣地ニ於ケル如キ弊害ナシ如何トナレハ山地ノ交通不便ナルカ爲メ各所ハ互ニ獨立セルヲ以テ一所破ル、モ其影響他ニ及ヒ爲メニ全線悉ク敗ニ陥ル如キコトナシ必スヤ敵兵ハ各所各別ニ一々之ヲ擊退セサレハ全線ノ勝利ヲ得ルニ至ラサレハナリ

山地ノ戰鬪ニ於テ騎兵ハ唯タ道路上ノ搜索ニ任スルノミニシテ其用甚タ少ナク側方ノ地ハ歩兵ニアラサレハ運動ヲ許ルサス故ニ山地ニ於ケル搜索ハ歩兵大ニ盡力セサルヲ得ス決シテ騎兵ニ一任スルヲ得ス

砲兵ハ平野ニ於ケル如ク一地ニ集團シテ用ユルヲ得ス一門或ハ二門

ヲ山類ニ備へ敵ノ進路ヲ縱射スル如クスルニ過キサレ場合多シ

● 伏兵

伏兵ノ目的ハ種々アレトモ其主ナルモノハ左ノ如シ

- 一 敵ノ追躡ヲ妨害スル一時ノ手段ニ供スルコト
- 二 行軍スル兵隊又ハ輜重ヲ急襲スルコト
- 三 敵ノ斥候ヲ捕へ或ハ傳令使其他重任ヲ負フ人ヲ捕フルコト

伏兵ニ用ユル兵種ハ目的ト地形トニヨリテ差異アレトモ要スルニ歩兵ハ蔭蔽斷絶ノ地ニ用ヒ騎兵ハ開轄セル地ニ用ユ

地形之ヲ許セハ歩騎二兵ヲ共ニ連合シテ用ユレハ最モ利アリ

砲兵ヲ用ユルハ例外トス

伏兵ヲ設置スルニ最モ適當ナル地形ハ丘阜、凹地、隧道、若クハ成長セル耕作物等アリテ潜匿ニ便ナル地ナルヲ可トス
 敵ノ由ツテ來タルヘキ道路外ニ設置スル所ノ伏兵ハ歩兵ニアリテハ敵ノ縦隊ニ對シ有効射距離以外ニアルヘカラス騎兵ニアリテハ適當ノ襲撃距離ノ存スルヲ要ス

伏兵ハ極メテ靜肅沈着戰鬪準備ノ至嚴ナルヲ要ス我警戒ノ爲メノ歩哨及ヒ斥候ノ如キハ敵兵早ク我ヲ發見スルノ媒助トナルコト多シ故ニ成ルヘク此等ノ警戒兵ヲ出スコトナク伏兵長自カラ看察シ好機ニ投シ不意ニ開戦スルヲ要ス

急襲ノ法ハ種々アリ今其一二ヲ舉レハ左ノ如シ

- 一 敵兵近接スルヲ待ツテ全隊合シテ急襲ス
- 二 敵ノ來ルヲ待ツテ伏兵ハ數部ニ分レ敵兵ノ先頭側面及ヒ後尾

等ニ向ツテ急襲ス但シ此場合ニハ指揮ノ統一ナルニ注意シ各部ハ互ニ同時開戦ヲナシ決シテ其一部ノミカ機ニ先ツ開戦ヲナシ以テ全體ノ奏功ヲ水泡ニ歸スルコトナキヲ要ス
 三 他ノ部隊ヲシテ敵ト交戦セシメ陽退シテ敵ヲ伏兵ノ所在ニ誘致セシメ以テ急襲ス

● 奇襲

奇襲トハ敵兵ノ行進スルト駐止スルトノ別ナク我ヨリ進ンテ敵ヲ急襲スルナリ故ニ奇襲ト云ヒ急襲ト云ヒ或ハ掩撃ト云フモ其意味皆相同シ

奇襲ノ目的ハ止陣セル兵隊或ハ宿營地等ヲ襲撃シ敵兵ヲ騷擾セシム

ルニアリ伏兵ト異ナル點ハ彼ハ止マツテ陣ヲ待チ以テ敵ヲ我急襲ニ
 陥ラシムルニアレトモ是レハ我ヨリ進ムテ敵ヲ急襲スルモノナリ
 奇襲ニ用ユヘキ兵力ハ亦タ伏兵ニ同シ但シ奇襲ニアリテハ時トシテ
 砲兵ノ若干ヲ付スルコトアリ例ヘハ敵陣ヲ奇襲スル時ノ如シ
 奇襲ノ奏効期スヘキハ敵兵警戒ヲ怠ルノトキニ乘スルニアリ其他奇
 襲ニ良好ノ時期ハ黎明ニアリ是レ奇襲ハ極メテ秘密ヲ要スルヲ以テ
 夜中ニ於テ其準備ヲ整ヘ拂曉ヨリ之レヲ行フコト緊要ナレハナリ又
 大寒、大暑、大雨、大風ノトキハ最モ其動作ニ利アルモノトス夜間ノ奇襲
 ハ我兵混亂シ易キヲ以テ甚タ危殆ナリトス然レトモ戰鬪未タ決局ニ
 至ラスシテ中止スルトキ等ニ於テ夜間奇襲ヲ行フハ能ク其目的ヲ達
 スルコトアリ

奇襲ヲ行フニハ敵ヲシテ我カ行進ヲ悟ラシメサルニ注意シ多クハ夜

行軍ヲナスモノトス

奇襲ノ實施ハ概ネ前伏兵ニ於テ述ヘタル方法ニ從フ若シ期ニ先立ツ
 テ敵ニ發見サル、時ハ決シテ効ナキモノトス故ニ速ニ退却スルヲ可
 トス

●別働隊

別働隊ハ地形ニ應シ歩兵若クハ騎兵ヲ用ヒ或ハ此二兵種ヲ併用シ時
 トシテハ若干ノ砲兵ヲ附ス

別働隊ノ任務ハ多クハ敵ノ側面又ハ背後ニ動作シテ彼ノ連絡ヲ絶チ
 戰鬪材料ヲ破壊シ又ハ是ヲ奪ヒ敵兵ヲ襲ヒ且ツ敵狀ヲ求ムル等トス
 別働隊タル者ハ困苦缺乏ニ堪エ戰鬪ニ熟達シ敏捷勇敢ナルヲ要ス即

チ其隊長ハ能ク軍事ニ通達シ奇策ニ富ミ且ツ膽力ヲ有セサルヘカラ
 ス是レ隊長ハ概テ訓令ヲ受クルノミニシテ其他ハ皆獨斷專行スルコ
 ト多ケレハナリ又各兵卒ハ軍紀ニ習熟シタル精練兵ナラサルヘカラ
 ス
 別働隊ハ殊ニ身體ノ快疾ヲ要スルヲ以テ必要ノ糧食及彈藥ノミヲ携
 帶セシメ成ルヘク輕裝ナラシムヘシ
 別働隊ノ任務ニ服スル要訣ハ隱顯出沒敵ヲシテ我カ働作ヲ端倪スル
 ヲ得サラシムルニアリ之カ爲メ或ハ虛誕忘說ヲ流布シ或ハ顯然一地
 ヲ去リテ一地ニ出テ或ハ夜行軍ヲ以テ直チニ一地ヲ去ル等毫モ其踪
 跡目的ヲ暴露スルコトナキ機動ヲナサ、ルヘカラス而シテ其戦法ハ
 概テ奇襲的ナルヲ要ス

● 徵發隊

徵發隊ノ兵員ハ所要ト危殆ノ度ニ從ツテ一ナラサルモ常ニ必ス將校
 ノ指揮ニ屬スルヲ要ス
 徵發隊カ徵發地ニ至レハ其地區外ニ於テ一部ノ兵ヲ以テ敵ノ來襲ヲ
 警戒セシメ其他ハ徵發ニ從事ス
 徵發ノ際特ニ斥候ヲ派遣スルハ却テ敵ノ注意ヲ喚起スルノ恐アリ
 徵發ノ際土民ノ逃走ヲ禁シ以テ敵ニ通牒スルヲ豫防ス
 徵發物ヲ搭載セル車馬ハ敵ニ反對スル出口ニ集ム而シテ歸路ハ輸送
 隊護衛ノ方法ニヨリテ徵發物ヲ護衛ス
 徵發ニ於テ殊ニ注意スヘキハ奪掠ニ流レ軍規ヲ破ラサルニアリ
 徵發中不時ノ事變ニ應シ各兵各別ニ退却スルトキ等ノ爲メ豫メ集合

點ヲ指定シ置クヲ要ス

徵發ヲナスニ部隊ヲ住民地ノ全部ニ散布スルコトナク宜シク徵發司令ノ監視及達スヘキ附近ノ家屋ヲ同時ニ搜索シ住民地ノ一部ヨリ漸次他部ニ及フヘシ

徵發ハ地方廳ニ命スルヲ最良トスレトモ地方廳ノ官吏現存セサルカ或ハ其人民其地ヨリ逃遁シアルトキ等ニ於テ止ムヲ得ス兵員自カラ徵發ニ従事スヘキモノトス

● 掩護、破壊及ヒ護衛

其一 背後連絡線ノ掩護

我軍ノ背後ニ於テ土民蜂起シ又ハ敵ノ別働隊徘徊スルトキニ於テハ

歩兵及騎兵ノ連合一支隊ヲシテ連絡線(鐵道、道路、橋梁)及ヒ電信線ノ全部ヲ完全ニ掩護セシメ得ルハ極メテ困難ナリ之レカ爲メ最良ナル方便トシテ採用スヘキモノ左ノ如シ

- 一 村民一同ヲ嚴罰ニ處スヘキ旨ヲ以テ脅喝シ又地方ノ名望家ヲ質トシ以テ各地方ノ住民ヲシテ監視掩護ノ責ニ任セシム
- 二 土民ノ反抗スル地方ニ於テ鐵道線中危殆ナル部ヲ運行スルトキハ緊要ナル列車ニハ該地方ノ名望家ヲ質トシ乗載セシム
- 三 兵站守備兵又ハ特別ノ掩護兵ヲ以テ特ニ緊要點ヲ守備シ且ツ常ニ斥候ヲ出タシ絶エス監視セシム
- 四 以上ノ方法ヲ以テスルモ尙ホ掩護十分ナラサルトキハ特ニ有力ナル掩護兵ヲ差遣シ以テ反抗スル土民ヲ征服シ若シクハ敵兵ヲ遠ク擊退セシム

其二 連絡線ノ破壊

鐵道若クハ電信線ヲ破壊シ其用ヲ全ク廢スルニ至ラシムルハ軍司令官又ハ獨立師團長ノ權内ニアリテ下級指揮官カ紊リニ施行スヘキモノニアラス

必要ノ時ニ應シ一時鐵道及電信ノ交通ヲ阻絶スル如キ小破壊ハ下級指揮官自カラ其責ニ任シ之ヲ決行スルヲ得ヘシト雖トモ然ルトキハ其實施ヲ速ニ高等司令官ニ報告スヘキモノトス

破壊作業ノ實施ヲ掩護スルニハ敵ノ近接シ得ヘキ諸方向特ニ道路上ニ一小部隊ヲ差遣シ敵兵ノ來襲スルトキハ之ヲ拒止セシムヘシ又此部隊ハ遠ク斥候ヲ派遣シテ搜索セシメ又特ニ遠隔ノ地ニ於テ小破壊ヲナサシメン爲メ遠ク斥候ヲ出タスコトアリ

破壊作業終ハリ退却スルトキハ成ルヘク前路ト異ナル道路ヲ取ルヘシ軍隊ニ於テ鐵道或ハ電信線ヲ截斷セシトキハ其破壊ノ地點ト方法トヲ速カニ長官ニ報告シ若シ其ノ鐵道及電信線我ニ用ヒタルモノナレハ其破壊ノ命令及ヒ施行法ヲ近傍ノ停車場若クハ電信局ニ通報スヘシ

其三 戰場工事ノ掩護

掩護兵ヲ出スノ距離ハ敵ノ攻撃ニ當リ工場ヲシテ戦闘ノ區域外ニアラシメ且ツ成ルヘク敵砲ノ害ヲ蒙ラサルヲ以テ度トス

工事ノ掩護ニ任スル部隊ハ敵ノ遠近ニ從ヒ或ハ陣地ヲ占メ或ハ前哨ノ警戒方法ニ從フ而シテ兵力ノ編成ハ或ハ小數ノ監視部隊ヲ以テスルコトアリ或ハ若干ノ戰鬥力ヲ有スル諸兵連合ノ枝隊ヲ以テスルコ

トアリ是等ハ其時ノ情況ニ從ツテ決定ス

其四 輜重ノ護衛

輜重ノ輸送ハ或ハ道路ヨリシ或ハ船舶ヲ用ヒ或ハ鐵道ヲ以テス然リ而シテ車輛若クハ駄馬ヲ以テ陸路ヲ輸送スル輜重ノ護衛ハ甚タ困難ナル一任務ナリ是レ其護衛ニ任スル兵員ハ通常寡少ナルニモ係ハラズ諸方ニ分配セサルヘカラス且ツ其種ノ輜重ハ風紀ノ維持ニ難ク加之運動自在ナラサレハナリ

護衛隊ノ任務ハ輕重ヲ安全ニ某地點ニ到達セシムルニアリテ戰鬪ハ萬止ムヲ得サルトキノミニ於テ之ヲナスモノナリ

護衛隊ニ任スヘキ兵種ハ歩兵或ハ騎兵又ハ此二兵種ヲ併用ス砲兵ヲ附スルハ特別ノ場合例ヘハ敵前ニ於テ一地ヲ占領シテ輕重ノ通過ヲ

一定時間掩護スル時等ノ如シ

護衛ノ方法ハ情況ニ從ヒ千種万別決シテ一様ナラス今其一般普通ノ場合ヲ摘記スレハ概テ左ノ如シ

- 一 風紀手段トシテハ輜重ヲ數部ニ分チ各部ノ監視ハ下士又ハ上等兵一名兵卒數名ニ任シ各車(馬)ヲシテ密接繼續シ決シテ一定ノ列序ヲ紛亂セシムルコトナカラシムヘシ
- 二 所謂戰術手段トシテハ護衛兵ヲ二部ニ分チ其一部ハ直接ニ輜重ノ前後ニ配置シ一部ハ敵襲ノ恐アル方向ニ對シ前衛後衛若クハ側衛ノ要領ニ從フテ掩護ニ任シ成ルヘク遠ク騎兵ヲ出シテ搜索セシムルヲ要ス
- 三 鐵道ニ由テ輸送スル輜重ニアリテハ最前最後ノ車路ニ護衛兵ヲ乘ラシム

四 水路ニ據ル輜重ニアリテハ警戒部隊ハ輸送船ノ前後左右ニアリテ或ハ陸行シ或ハ水行ス護送兵ハ別シテ輸送船ニ乘リ其主力ハ別船ニ乗ルカ或ハ陸行ス其陸行ニアリテハ空船數艘ヲ準備シ以テ機ニ應シ其兵ヲ一岸ヨリ他岸ニ移轉スルノ用ニ供スルコトアリ

敵襲ニ際シ防禦ノ手段トシテ探ルヘキ方法ハ概テ左ノ如シ

- 一 道路ニ據ル輜重敵襲ニ當テハ援護隊カ援護ニ任シアル間速カニ危殆ノ地ヲ脱出スルコトヲ務ムヘシ
- 二 輜重若シ諸方向ヨリ敵襲ヲ受ケ遂ニ逃レ難キヲ察知シ而シテ其輜重車輛ヨリ成ルトキハ最後ノ防禦手段トシテ車陣ヲ作ル其車輛ヲ作ル其車輛ハ之レヲ密接シテ轅木ヲ内方ニ轉向シ駕馬ハ之レヲ解脱シテ馭者之レヲ車陣内ニ保持スヘシ凡ソ此陣

ヲ作ルニハ多時ヲ要スルトモ騎兵ノ襲撃ニ對シテハ概ネ此法ニ依ラサルヲ得ス輜重若シ駄馬ヨリ成ル時ハ適當ノ地形ヲ求メ之レヲ遮蔽スルノ一法アルノミ

三 鐵道ニ據ル輜重敵ニ襲ハルトキハ護衛兵ノ一部ハ列車中ヨリ敵ヲ狙撃シ其他ノ兵ハ下車シ列車ノ近傍ニ於テ陣地ヲ占ムヘシ

四 水路ニ據ル輜重ハ之ヲ防禦スルニ各船中ニ在ル所ノ護衛兵ハ其陸上ノ兵ト協力シ若シ其絶エテ輜重ヲ救フノ道ナキトキハ船舶ハ之レヲ沈没シ護衛兵ハ小艇ニ乘シテ逃走スヘシ

其五 輜重ノ襲撃

凡ソ輜重ヲ襲フノ時機ハ時ノ情況ニ依リ種々ナレトモ今普通ノ大略

ハ概テ左ノ如シ

- 一 輜重道路ノ粗悪ナル爲メ行進ヲ止メ若クハ遅緩スルトキ
 - 二 橋梁或ハ森林内ヲ通過スルトキ
 - 三 險峻ナル斜面ヲ登ルトキ
 - 四 大休止ヲナシ其馬匹ノ一部ヲ飲馬場ニ送りタルトキ
 - 五 炎熱或ハ濃霧ノトキ
- 輜重ノ掠奪及攻撃手段ハ概テ左ノ如シ
- 一 輜重ノ進路ヲ探知シ伏兵ヲ設クルコト
 - 二 敵ノ意表ニ出テ諸方向ヨリ奇襲スルコト
 - 三 護衛兵優勢ニシテ襲撃ノ目的ヲ達シ難キトキハ單ニ敵ヲ驚擾セシムル目的ヲ以テ遠距離ヨリ其輓馬若クハ駄馬ヲ狙撃シ之ヲ脅威ス

- 四 鐵道ニ據ル輜重ヲ襲ハンニハ砲撃ヲ以テスルカ或ハ其列車ヲシテ軌鐵ヲ脱セシムルノ處置ヲナス
- 五 水路ニ據ル輜重ヲ襲ハンニハ水路ヲ瞰制スヘキ陣地ヲ占領シ或ハ河川ノ彎曲部ニヨリ或ハ河流ヲ壅塞ス

其六 捕虜ノ輸送護衛

護衛兵ハ捕虜ノ面前ニ於テ其銃ニ裝填シ且ツ其ノ逃遁ヲ企ツルトキハ直チニ銃殺スヘキコトヲ告知スヘシ

捕虜ノ爲ニハ成ルヘク露營ヲ避ケ一個若クハ數個ノ大厦寺院納屋學校等ニ錮鎖シテ宿次セシメ且ツ哨兵ヲ備ヘテ周圍ヲ警戒スヘシ

捕虜我ニ抵抗スルノ舉動アリ且ツ森林等ノ通過ニ際シ容易ニ逃遁スヘキ恐アルトキハ之ヲシテ急歩スル能ハサラシムルノ處置ヲナス

敵襲ニ當リテハ捕虜カ敵ニ加勢セサル爲メ捕虜ヲシテ伏臥セシメ若シ命ニ從ハサレハ直チニ之ヲ銃殺スヘキヲ以テ脅嚇シ要スレハ之レヲ實行ス

第四篇 野外帥兵術

野外帥兵ニ屬スルコトハ下ノ卷應用戰術ヲ述フルノトキニ於テ敵狀、任務、地形等其當時ノ情況ニ應ジテ適切ナル諸種ノ方法ヲ述ヘントス殊ニ行軍駐軍等ニ關スル件ハ野外要務令ニ示シアルヲ以テ其重複ニ涉ルコトハ之ヲ省キ此ノ編ニ於テハ唯々其ノ大要ニ留メ置カントス

● 序論

給養ヲ豐饒ニシ宿舍ヲ善良ニシ衛生ニ注意シ以テ軍隊ノ氣力ヲ保養スルト至要ノ期ニ臨ンテ烈シク軍隊ヲ使用スルトハ相待ツテ權衡ヲ得サルヘカラス之レ帥兵術中最高尙ノ一術ナリ部下ノ幸福ニ注意ス

ルハ隊長ノ職掌中最貴重ニシテ尤モ緊要ナル本事ナリ
 敵ハ充分ニ軍隊ノ氣力ヲ保養シ戰術上ノ優勢彼ニアルトキハ我軍假
 令急速ノ運動ニ由ツテ戰略上ノ要利ヲ占ムルト雖トモ又何ソ益スル
 コトヲ得ンヤ
 非常ノ時期ナルコトヲ洞視シ必勝ヲ期シテ非常ノ要求ヲ軍隊ニナス
 ハ穎智ニアラサレハ決シテ斷行スル能ハス曖昧ノ處置ハ敗ヲ取ルノ
 基ナリ

●宿營

其一 舍營

舍營トハ人家ニ宿泊スルヲ謂フ

舍營ノ利トスル所概ネ左ノ如シ

- 一 人馬ハ雨露ヲ凌キテ安眠スルヲ得
 - 二 體力ノ費耗ヲ回復スルコト易シ
 - 三 炊爨便利且ツ掩蔽シテ之ヲ爲シ得其火光ニ依リ敵兵ニ我所在ヲ認メラル、恐ナシ
 - 四 被服及材料ノ保存其宜シキヲ得
 - 五 薪水其他需用ノ物品其ノ傍ニアルヲ以テ雜役ノ勞少ナシ
 - 六 將校ハ命令報告ノ編纂地圖ノ閱見ニ最モ便利ナリ
- 舍營ノ害トスル所概ネ左ノ如シ

- 一 軍隊ハ住民地ノ所在ニ依リ其ノ位置ヲ制限セラレ且ツ集團家屋ノ状態ヨリ其隊ヲ分割セサルヲ得ス
- 二 其家屋相隔ツルノ道或ハ遠クシテ勤務ノ施行難ク命令報告ノ

傳達遲シ

- 三 諸隊其舍營ニ就クニ概ネ其行進路ヨリ遠隔セサル可カラサルヲ以テ疲勞ヲ増ス
 - 四 各兵ト人民トノ觸接ハ軍紀ヲ亂シ且間諜ニ便ス
 - 五 各隊散在スルヲ以テ集合ニ大時間ヲ要ス
 - 六 監視容易ナラス
 - 七 兵隊ノ宿營地面廣キヲ以テ警戒ニ多數ノ兵ヲ要ス
- 以上ノ如ク此宿營法ハ給養上ニ於テハ其利至大ナル者ナリ故ニ作戰上ノ顧慮之レヲ許ス限リ兵隊ハ舍營ヲ以テ正格トシ露營ヲ以テ脱格トス實ニ軍ノ生存上最良ノ露營ト雖トモ尙最不良ノ舍營ニ及ハス其劣ルコト數等ナリ
- 舍營ハ戰備緩急ノ度及ヒ舍營地ノ廣狹ニ從ツテ區別スレハ左ノ如シ

警急舍營

ハ大ナル舍營地敵ニ接近シニ在ツテ必要ナルトキ其内ノ一部隊カ嚴肅ナル戰備ヲ保持シテ宿營スルモノヲ云フ

此警急舍營ヲナス部隊ハ勉メテ建制部隊毎ニ一家屋ニ集團シテ舍營シ服裝ヲ整ヘ背囊ヲ身邊ニ置テ眠臥シ凡テ窓戸ヲ開キ各家屋ニ少クモ兵卒一名點燈シテ警戒ヲナス

行軍舍營

ハ行軍中日々ノ宿次ニ於テ爲ス所ノ者ニシテ多クハ行軍路上ニアル村落ニ宿營シ路外側方ノ村落ニ宿營セサルモノトス是レ翌日出發ノ便ヲ顧慮スレハナリ

駐留舍營

ハ一地ニ久駐スル時ニ用ユルモノニシテ此場合ニハ概テ廣ク附近ノ民家ヲ利用シ廣濶ナル舍營ヲナサシムルモノトス是レ專ハラ給養上ノ便ヲ顧慮スレハナリ

此宿營ヲナスヘキ時期ハ通常左ノ如シ

- 一 戰役ノ始ニ於テ兵ヲ集中スル時
- 二 攻城若クハ圍城ヲナス時
- 三 疲勞若クハ疾病ノ爲メ窘窮甚シキ兵隊ヲ蘇息セシムル時
- 四 休戰或ハ講和ノ成リシ後其條約ヲ實踐スルニ至ル迄一地ヲ守衛スル時

廣舎營

ハ作戰上ノ顧慮少ク專ハラ給養上ノ便ヲ計ラントスルトキ廣闊ナル舎營ヲナサシムルモノヲ云フ

狹舎營

ハ作戰上ノ顧慮或ハ民家疎薄ナル等ノ爲メ狹キ面積ニ密集シテ狹縮ナル舎營ヲナスモノヲ云フ

其二 露營

露營トハ露天ニ宿泊スルヲ謂フ

露營ノ利スル所概テ左ノ如シ

- 一 露營ハ概テ行軍路ノ附近ニ於テスル故就營ノ爲メ軍隊著シキ開進ヲ要セス從ツテ疲勞ヲ減ス
 - 二 兵隊集團シアル故左ノ利ヲ生ス
 - イ、諸勤務並ニ命令報告ノ傳達ニ便ナリ
 - ロ、警戒ニ多クノ兵ヲ要セス
 - ハ、集合迅速ナリ
 - ニ、戦闘準備嚴ナリ
- 露營ノ害トスル所概テ左ノ如シ
- 一 軍隊ハ大氣ニ曝露シ衛生ニ害アリ
 - 二 武器被服ハ損シ易シ
 - 三 糧秣ハ雨露ノ爲メニ腐敗シ易シ

- 四 人馬ハ安眠スルコト能ハス
- 五 炊爨ハ舍營ノ如ク便ナラス
- 六 燈火ニヨリ敵ニ吾位置ヲ悟ラル
- 以上ノ利害ニ因テ見レハ露營ハ作戰上ノ顧慮殊ニ戰鬪ニ移ルニ至便ニシテ安心ナル方法ナル故指揮官トナリテハ軍隊ヲシテ露營セシメント欲スルコト人情ノ争フヘカラサル情態ナリ故ニ指揮官タルモノハ小心翼々實ニ露營ノ已ムヘカラサルヤ否ヤヲ考判シ能ク熟慮シ已ムヲ得サル時期ニアラサル外ハ成ルヘク舍營セシムルヲ可トス
- 故ニ露營ヲ用ユル場合ハ概テ左ノ如キ場合ニ限ルモノトス
- 一 前哨ニ任スル部隊
 - 二 決戦ノ前後ニ於テ大兵團ヲ集合スルトキ
 - 三 戰鬪日没ノ爲メ中止セラレ兵隊ハ現陣地ニ現在ノ儘停止スル

ヲ要スルトキ

四 寒村僻地ニ在ル時

其三 村落露營

村落露營ハ舍營ト露營トノ混シタルモノニシテ其利害モ亦舍營ト露營トノモノヲ折衷ス

此宿營法ハ屢用ユルニ便ナルモノニシテ則チ目前ニ戰鬪ヲ期セサルモ己ニ敵ノ附近ニアルカ爲メ狭キ地ニ多クノ兵ヲ集駐スルヲ要スルモ部隊大ニシテ其人馬ヲ掩蔽スルノ家屋ナク而カモ其軍隊ヲ悉ク舍營セシメントセハ其諸兵ヲ所々ニ分離シ爲メニ團結ヲ失フノ恐アリ此場合ニ於テ村落露營ヲ用ユレハ戰鬪準備ニ於テハ殆ント露營ニ等シク又給養ノ便ニ關シテハ舍營ノ利ヲ享有シ得ルモノトス然レトモ

夜間ニ際シ村落内ニ密集ノ舍營ヲナシ軍隊ノ混亂兵卒ヲシテ恣ニ人
民ノ物品ヲ亂用スルノ弊害水ノ配當ノ困難其他都テ大兵ノ輻輳ヨリ
生スル困難ヲ豫防スルコトハ殊ニ深ク注意セサルヘカラス

其四 幕營及ヒ廠營

幕營 運動戰ニ在ツテハ幕營ヲ布クニハ材料運搬ノ爲メ夥シキ車
輻若クハ馱馬ヲ要ス故ニ野戰ニ在ツテハ概ネ舍營或ハ露營或ハ村落
露營ヲナスモノニシテ幕營スルハ冬季及時候極惡ノ時ニ限ルモノト
ス

然レトモ兵隊久シク一地ニ駐留スル時即チ駐留舍營ニ在ツテハ人家
稀疎ニシテ悉ク舍營ヲナスコト能ハスシテ露營ヲナスノ餘義ナキカ
或ハ假令多少ノ人家アルモ大單位ノ諸隊ヲ集結シ置クノ必要アル等

ノ時ニ於テハ衛生上ノ顧慮ヨリ特ニ廠營或ハ幕營ヲ以テ露營ニ代フ
ルコトアリ

城塞戰及ヒ陣地戰ニ在ツテハ尤モ幕營ヲ専用ス殊ニ城塞戰ニ於テハ
豫メ幕具ヲ準備シ得ル故戰場ノ後方ニ廣ク分散布置セル豫備隊ノ宿
營ニ供ス

幕營ハ風雨ヲ防クノ効力ハ不充分ナレトモ廠營ニ比スレハ轉移容易
ナル利アリ

廠營 ハ藪樹木材等ヲ以テ臨時ニ急造スル營舎ニシテ運動戰ニ於
テハ之レヲ用フルコトナシ長キ野營冬營及ヒ城塞前ニ於テ之レヲ用
フルモノトス元來廠營ハ宏大ノ地區ヲ領シ從ツテ軍隊ノ集團ヲ害ス
ル故各部隊ヲシテ恣ニ廠營ヲ建設セシムル時ハ次序忽チ紊亂スルニ
至ルヘシ

此外幕營及ヒ廠營ニ於テハ左ノ件ヲ注意スヘシ

- 一 茅舎ニ在ツテハ火ノ要慎專一ナリ故ニ點燈ハ周圍能ク閉塞シタルモノ(ランプ)ヲ用ヒ就床後ハ消燈スヘシ
- 二 堤桶ハ盡ク水ヲ充テ定マリタル場所ニ排列シ置クヘシ
- 三 廠營或ハ天幕内ヲ常ニ掃除シ清潔ナラシメ敷藁ハ時々日光ニ乾燥セシムヘシ
- 四 營地モ亦常ニ掃除シ且ツ土地ヲ搗固スヘシ
- 五 汚穢水ハ營地ノ後方ニ放棄スヘシ大小便ハ周圍外ニ爲スヲ禁ス周圍ハ日々土民或ハ炊竈ヨリ取りタル灰ヲ薄ク撒布スヘク時宜ニ因リ防臭藥ヲ撒布スヘシ
- 六 夜間或ハ雨天ニハ天幕ノ布ヲ少シク緩メ翌朝乾キテ後復ヒ緊張スヘシ

其五 宿營地區ノ廣袤並ニ撰定

舍營地ノ廣袤ハ戰術上ノ願慮ト給養上ノ願慮トニ由テ定メサルヘカラス

作戰上ノ願慮ニ關シテハ第一敵ノ遠近及ヒ其襲來ノ成否ニ關ス次キニ敵兵襲ヒ來ルトキ速カニ兵ヲ集合シ得ルヲ要ス敵我カ舍營ヲ襲ヒ得ルトキハ其現出ノ時ヨリ最前ノ舍營ニ達スルニ前哨ノ抵抗スル時間ヲ胸算シテ費ス所ノ時間ヲ計リ之レヲ基準トナス其時間ハ即チ我兵ノ集令ニ費シ得ヘキ最大時限ナリ之レニ基キ舍營區ノ最大限ヲ確定スヘシ

然レトモ方今ハ遠ク騎兵ヲ出シテ搜索スルカ故ニ大部隊ヨリナル敵ノ襲撃ヲ不意ニ受クルコトハ稀ニシテ假令急襲ヲ受クルモ一小部隊

ニ過キサルヘシ

故ニ尋常ノ形勢ニ由テ之レヲ研究セハ作戰中敵ニ遠キ間ハ兩軍共ニ獨立シタル騎兵ヲ一日行程内外ニ出スコト常ナリ即チ此騎兵カ互ニ衝突シタルトキニ於テ兩軍ノ主力ハ相距ルニ日行程ニアル譯ナリ然ルニ兩軍ノ騎兵互ニ敵ヲ搜索シテ之レヲ本軍ニ報告スルニ殆ント一日間餘ヲ費スモノトスレハ本軍カ騎兵ノ報告ヲ得テヨリ互ニ衝突ニ至ルマテハ一日ノ猶豫アルヘシ故ニ師團カ廣舎營ニアルトキ敵ノ攻撃ヲ受クルニ先ダチ集合セントセハ一日間以内ニ集合セサルヘカラス爰ニ於テ師團宿營地擴張ノ度ハ一日行程ヲ超ユヘカラサルコトヲ知ルヘシ

給養上ノ顧慮ニ關シテ宿營地ノ廣サヲ決定スルハ土地ノ貧富村落ノ多少ニ由テ差異アレトモ舎營地ノ廣袤三里方形若クハ三里中徑ノ圓

形ヲ中等トス

即チ宿營地ノ廣袤ハ作戰上ノ顧慮ニ由ツテ最大限ヲ決定シ給養上ノ顧慮ニ由テ最小限ヲ決定セラレ、モノトス

今一師團ニ就キ通常取ルヘキ面積ハ橫幅一里半縱深三里トナスヘシ即チ里方積四個半トス如斯スレハ人民稠密ナラサル地方ニテモ可ナリ廣キ宿舎ヲ給スルヲ得

以上ハ普通一般ノ標準ヲ示シタル者ナレハ敵ノ遠近ニ由テ之レヲ斟酌スルハ固ヨリ論ヲ待タス即チ敵ニ遠キトキハ給養ノ便ヲ考慮シ成ルヘク廣舎營ナラシメ敵ニ近キトキハ一ニ戰術上ノ要ヲ考慮シテ狹キ地ニ密集ス

行軍舎營ニアリテハ縱隊中ノ各部投宿ト翌朝上途トノ便ヲ計リ概ネ行軍序列ニ準シ道路ニ沿フテ縱長ナル宿營ヲナスヲ可トス

宿營地ノ形狀ハ戰術上ノ利害ヨリ論スルトキハ其縱長ナルハ展開ニ不便ナルヲ以テ成ルヘク横ニ開キタル形狀ヲ可トス然レトモ横開ノ度至大ナルトキハ宿營ニ就ク爲メ無益ノ行進ヲナスノ不便ヲ生シ並ニ敵兵ハ容易ニ前面ニアル我カ兵力ヲ探知シ且ツ我カ前哨ノ廣袤過大ニシテ其警戒線ハ至ル處薄弱トナリ敵ハ之レニ乘シ直チニ之レヲ突破シ來ルノ恐アリ故ニ横開ハ縱長ノ兩者ヲ折中シテ方形或ハ圓形ナルヲ可トス

(A) 宿營地撰定ニ關シテハ左ノ要旨ニ從フ

- 一 舍營地ニ在ツテハ左ノ如シ
- 一 富饒ニシテ人馬ノ宿營ニ便ナルコト
- 一 厩ハ市府ニ少ク村落ニ多キモノトス
- 二 砲廠、馬繫場、飲馬場、集会所、及ヒ材料置場ノ適當ナルモノアル

コト特ニ此等ノ場所ニ至ル交通ノ便ナルコト

- 三 兵員宿舍ニ要スル壘數ハ尋常ノ舍營ニ在ツテハ一人ニ付キ壘ニ枚トス

- 四 人馬ニ要スル清水ノ量最少限ハ左ノ如シ

- 一人一日ノ量 四リートル(二升五合強)
- 一馬一日ノ量 十五リートル(八升二合強)

注意 本邦ニ於テハ到ル所井水多キヲ以テ飲用水ニ支障アルコトナシト雖トモ他邦ニ於テハ井水乏シク飲用水ハ非常ニ大切ナルコトアリ

(B) 露營ニ在ツテハ左ノ如シ

(イ) 戰術上ノ要旨ニ關スルモノ

- 一 敵ノ急襲ニ對シ安全ナルコト即チ我前哨線ニ頼テ能ク掩護セラレ又周邊ノ地ハ外衛兵ヲ以テ監視スルニ便ニシテ且ツ敵ノ通視ヲ遮リ殊ニ我露營火ヲ蔽フニ足ルヲ要ス又戰鬪ヲ

豫期スルトキニ在テハ機ニ遅ル、コトナク掩蔽シテ陣地ニ進出シ得ルヲ要ス

二 敵ニ近キ時ニ在ツテハ正面及ヒ側面ハ土地ノ障碍物及ヒ防禦ニ適スル地都ニ由テ安全ナルヲ要ス

三 更ニ行進ヲ起スノ目的ヲ有スルトキハ道路ヲ距ルコト遠カラサルヲ要ス

四 露營ノ形状ハ成ルヘク戦鬪展開ニ便ニシテ又其幅員ハ人馬ノ多寡ニ應スルコト

(ロ)

衛生及給養上ノ要旨ニ關スルモノ

一 露營地ハ乾燥ニシテ濕潤ナラサルヲ要ス即チ(水分ノ排泄善キ沙地)或ハ高燥ニシテ穀物ノ在ル耕地(同時ニ糞糞ヲ供給ス)等ヲ可トス

荒野ハ特ニ乾燥ノ氣候ニシテ濕氣ヲ帶フルコト極メテ僅少ナル時ニ於テハ之レヲ採用シ得ルト雖トモ草地ハ乾燥ノ氣候ニ在ツテモ之レヲ避クヘク沼澤ニ沿フタル土地モ亦同ク之レヲ避クヘシ

二 雨水ノ排泄(緩傾斜地、沙地)宜シカルヘシ

三 風雨及ヒ日光ニ對シテ遮蔽(土地ノ低部)アルヲ要シ村落、森林ノ縁端ヲ良トス歩兵ハ時宜ニ因リ高樹鬆疎ノ森林ニ露營ス交通頻繁ノ大道ニ接近ス可カラス蓋シ此ノ如キ地ハ塵埃ニ腦サレ且ツ休憩ヲ妨害セラル可ケレハナリ

四 露營需用品即チ乾燥シタル薪藁及ヒ水(時トシテハ糧食)ハ之レヲ露營地ノ近傍ニ於テ得ルヲ要ス

五 飲馬場ハ露營地ヨリ二吉羅ヲ超過セサルヲ可トス

七 日々ノ飲料水ハ前舍營ノ項ニ於ケルト同シ

師團ノ如キ大部隊ハ成ルヘク形勢ノ許ス限リ之レヲ數部ニ區分シテ
露營セシムルヲ利益トス蓋シ露營地ヲ選フニ當リ其兵員ノ多キニ從
フテ地形ニ適應セシムルコト難ク且ツ不意ノ敵襲ヲ受クルニ方リ其
隊ヲ整頓スルノ困難殊ニ暗夜ハ兵員ノ衆多ナルニ隨ヒ益々甚シキヲ加
フルモノナレハナリ
露、營、ノ、隊、形、ヲ、定、ム、ル、ハ、左、ノ、要、旨、ニ、從、フ

一 成ルヘク狭少ノ地面ニ多數ノ兵隊ヲ順序正シク配置シ得ルヲ
要ス

二 武器ハ其部隊ノ近傍ニ在ルヲ要ス

三 速ニ行軍或ハ戦闘ノ隊形ニ移リ得ルヲ要ス

四 各區隊間ノ交通ハ自在ナルヲ要ス

各部隊露營間隔ノ最小限左ノ如シ

步兵聯隊中ノ各大隊間ニハ 十米

步兵聯隊間

砲兵中隊間 二十米

各兵種ノ部隊間

已ムヲ得サルトキハ露營ヲ二列ニ敷置スルコトアリ然ルトキハ團圍
ニ顧慮シ十分ノ距離ヲ存シ或ハ之レヲ側方ニ設置スヘシ
三列以上ノ露營配置ハ務メテ之レヲ避クヘシ

露營地幅標準表

種	類	正	面	縱	長
一	人	一	米	二	米

馬 一匹	一米	三米
二匹轆車輛	八米	十二米
四匹轆車輛	八米	十六米
六匹轆車輛	八米	二十米
歩兵一大隊	二百米	百九十五米
騎兵一中隊	三十米	二百米
騎兵一聯隊	百三十米	二百五十米
野砲一中隊	百五十米	百七十五米
山砲一中隊	百五十米	百七十五米
工兵一中隊	五十米	百九十五米

各部隊ノ地幅中ニハ圓圍ニ至ルマテヲ計算ス故ニ之レヲ
狭縮セハ半減スルヲ得

其六 宿營ノ配當設備

- 兵隊ヲ舍營地ニ配當スルニハ左ノ要旨ニ從フモノトス
- 一 建制部隊ヲ分割セサルコト
 - 二 各單位ノ行軍序列ヲ解キテ就官スルトキ又其宿營區ヲ發シ行軍序列ヲ取ルニ當リ無益ノ行進ヲナシ又ハ途中ニ於テ交叉スルナキヲ要ス
 - 三 歩兵ハ敵ニ近カキ方ニ宿營ス
砲兵ハ敵ニ反スル方ニ置キ且ツ獨立シテ宿營セシメサルヲ要ス
 - 四 騎兵ハ獨立シテ搜索ニ任スルトキハ特別ナレトモ歩兵ト共ニ宿營スルトキハ猶ホ砲兵ノ如ク敵ノ反對側ニ置キ安全ナラシ

ムヘシ

- 五 行李ハ其ノ所屬隊ト共ニ宿營ス
 - 六 乘馬隊ハ厩ノ多カラシメ成ルヘク村落ヲ可トス
 - 七 戰術上ノ顧慮ナキトキハ普ク宿營地全體ノ厩ヲ利用スル爲メ諸兵種ヲ混宿セシムルコトアリ
 - 八 各部隊ノ境界ハ成ルヘク地區ノ境界ニ依テ定ムヘシ
 - 九 各司令部ノ位置ハ交通首路ニ在ツテ認識シ易ク且ツ報告命令ノ傳達ニ迂路ヲ取ルコトナキヲ要ス
- 警急集合所ハ歩工兵隊ノ爲メニハ通常舍營地ノ前面若シクハ其側方ニ定メ騎兵砲兵ノ爲メニハ後方ニ定ムルヲ便トス但シ砲兵ニ砲廠(通常後方ニアリ)ノ所在ヲ以テ之レニ充ツルヲ要ス蓋シ此クノ如クセハ騎兵砲兵ハ戰備ヲ整フルコト最モ速ナル步兵ノ掩護ヲ受クルヲ得ヘ

シ

警急集合場ヲ撰定スルニハ特ニ其集合場ニ至ル時各小部隊ノ彼此互ニ妨碍スルコトナク且ツ概テ其隊ノ占領スヘキ豫定位置若クハ警急大集合所ニ速ニ到リ得ルコトニ注意スヘシ之レカ爲メ各隊ニ其取ルヘキ道路ヲ示シ置クコト肝要ナリ

警急大集合所ハ時宜ニヨリ大部隊ヲ團結スル爲メ設クルモノニシテ聯隊或ハ旅團等警報アル時命令ヲ俟タズ速ニ集合スヘキ所トス

設營隊ハ兵隊ヲシテ撞突躊躇スルコトナク迅速ニ宿營ニ就カシムル爲メ宿營ノ準備設備ヲナスモノナリ

設營隊ハ敵狀之レヲ許ストキハ成ルヘク速ニ之レヲ先發派遣シ地方吏ト協議シ諸準備ヲナサシムルヲ可トス

設營隊ノ編制ハ部隊ノ大小ニ從ツテ一ナラス然レトモ各隊各部ヨリ

必ラス其隊其部ヲ代表スル有階者ヲ出シ之レニ所有ノ兵員ヲ附スヘシ

舍營司令官ハ各兵種ニ舍營ヲ配當ス若シ此配當ニ豫メ周到ナル準備ヲ成ス能ハサルトキハ舍營司令官ハ先ツ將校一名成ルヘク舍營日直將校ヲ遣ハシ其準備ヲ爲サシムヘシ然ルトキハ各隊ノ設營隊ヲ此ノ將校ニ從ハシムルヲ可トス

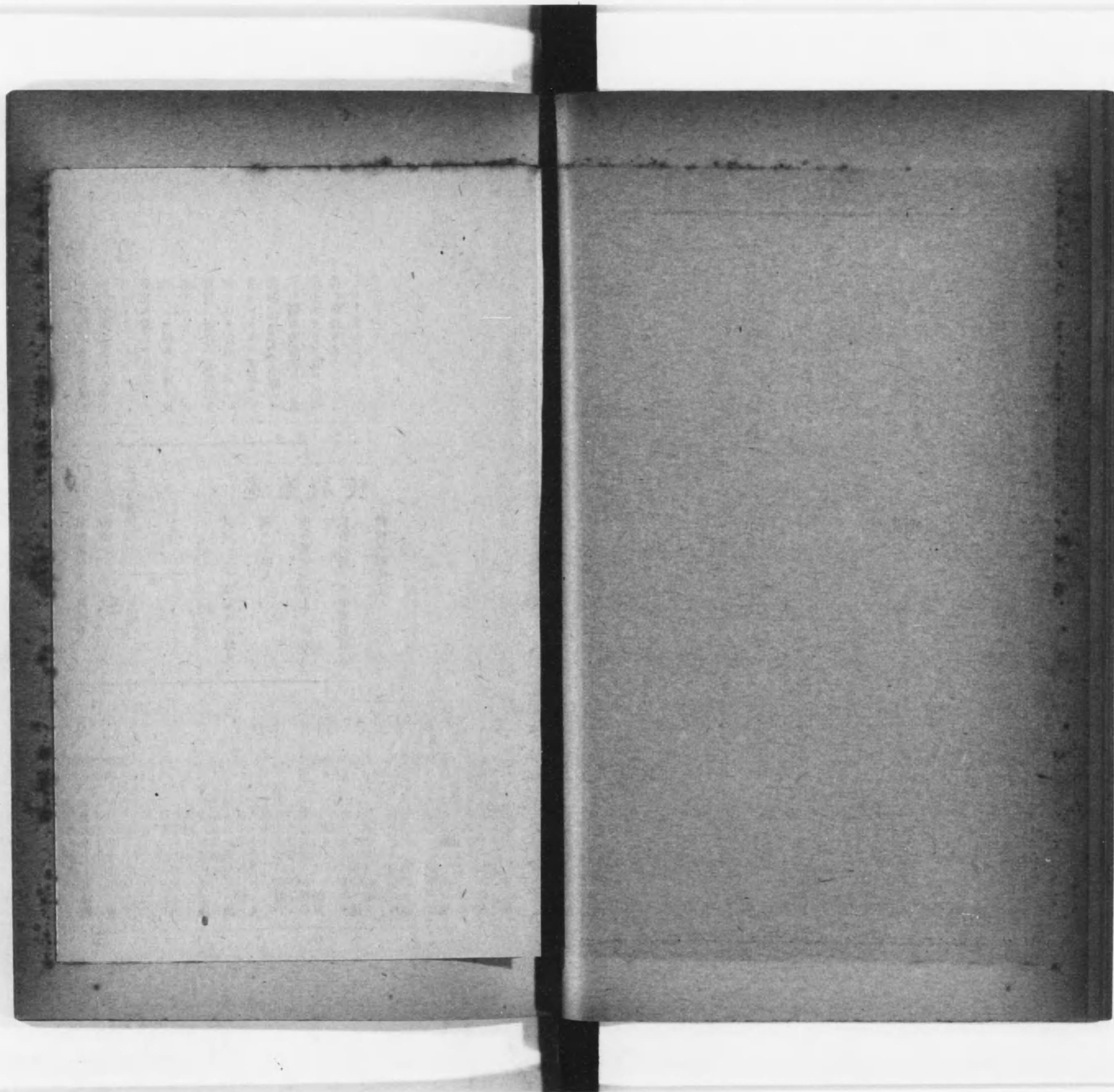
露營ノ準備ハ舍營ニ比スレハ最モ單簡ナリ露營司令官若クハ其屬員ハ先ツ其地ニ急行シテ露營地ヲ撰定シ之レヲ區分シテ各部隊ニ配當シ肝要ナル警戒方法ヲ確定ス但シ警戒地ハ特別ニ之レヲ撰定スルヲ要ス

飲馬場井泉薪藁等ノ搜索分配ヲナシ各隊ノ混合亂用ヲ豫防ス成シ得ル限リ兵卒ヲ速ニ休憩ニ就カシムル諸般ノ準備ヲナス

部下軍隊盡ク露營スル時ニ於テモ高等司令部ハ成ルヘク村内ニ於テ家屋ノ中ニ置クヘシ是レ諸般ノ事務ニ便ナラシムル爲メナリ

其七 宿營内ノ勤務並ニ諸般ノ注意

舍營内ニ於ケル勤務ノ種類系統ヲ示ス左表ノ如シ



官令司營舍

高級指揮官ヨリ特ニ任命ナキトキハ各會營地ニ於テ高級古參ノ將校ハ常ニ會營司令官タルモノトス
 將官及ヒ職隊長ハ次級者ヲ以テ會營司令官トナスノ權アリ蓋シ作戰上ノ配慮ニ囑ナケレハナリ
 會營司令官ハ各兵種ノ會營ヲ分配シ其他内外警戒勤務ノ方法及ヒ職備ノ度ヲ規定ス
 會營司令官ハ常ニ各部隊ノ爲メ一ツノ緊急集合所ヲ定ム
 最モ狹隘ノ會營ニ在ツテハ特別ノ方法ヲ設ケ稱應ヲ保持スルコトヲ勉ム
 警報ニ當ツテ各部隊ノ爲スヘキ動作ヲ豫メ規定ス
 警報ノ聲音ハ會營司令官之レヲ命ス
 要スルトキハ歩兵ノ一部隊(中隊又ハ小隊)ヲシテ緊急會營若クハ露營ヲナサシメ以テ外衛兵ノ接援トス

校將察巡

時宜ニヨリ指定スル部隊ヨリ出ス
 内外警戒勤務上ノ巡視監督ヲ爲シテ會營日直將校ヲ輔佐ス

校將直日營舍

各會營地ニ一名(通常大尉、大部隊ニ在ツテハ佐官)
 會營内外ノ警戒勤務ニ就テハ會營司令官ノ指示ヲ受ケ之レヲ實行セシム
 風紀衛兵及ヒ外衛兵ヲ統轄ス

各部隊長

隊衛兵ハ各部隊ヨリ出ス

兵衛外

一、外衛兵ノ任務ハ左ノ如シ
 二、前哨及ヒ比隣ノ會營地ニ至ル者ヲ制止シ又ハ出入ヲ許シテハ會營地内ニ入ルヲ禁止ス
 三、警報ニ應ジテハ隊内ニ入ルヲ制止ス
 四、警報ニ應ジテハ隊内ニ入ルヲ制止ス
 五、警報ニ應ジテハ隊内ニ入ルヲ制止ス
 六、警報ニ應ジテハ隊内ニ入ルヲ制止ス
 七、警報ニ應ジテハ隊内ニ入ルヲ制止ス
 八、警報ニ應ジテハ隊内ニ入ルヲ制止ス
 九、警報ニ應ジテハ隊内ニ入ルヲ制止ス
 十、警報ニ應ジテハ隊内ニ入ルヲ制止ス

兵衛紀風

各兵種混同シテ一地ニ會營スル時ト雖一ツノ風紀衛兵ヲ置キ其人員ハ歩兵ヲ以テ主トシ之レニ他兵種ヨリ各人員ヲ加フ
 行軍會營ニ在リテハ風紀衛兵ノ人員ヲ成ルヘク寡少ナラシム
 警報ニ應ジテハ隊内ニ入ルヲ制止ス
 隊内ニ入ルヲ制止ス
 隊内ニ入ルヲ制止ス
 隊内ニ入ルヲ制止ス
 隊内ニ入ルヲ制止ス
 隊内ニ入ルヲ制止ス
 隊内ニ入ルヲ制止ス
 隊内ニ入ルヲ制止ス
 隊内ニ入ルヲ制止ス
 隊内ニ入ルヲ制止ス

士下校將直日隊部

歩、騎、砲、工兵大隊ハ各將校一名(中少尉)
 獨立中隊若クハ其一部隊ハ各下士一名
 日直將校下士ハ任命ヲ受ケレハ直チニ會營日直將校ニ届告シ會營内ノ警戒勤務ニ就キ必要ノ命令ヲ受ケ其會營内ノ警備及ヒ風紀ニ注意シ其隊長及ヒ會營司令官ノ命令ヲ實施ス

露營司令官

各露营地ニ於テ高級古參ノ將校ハ露營司令官タルヲ通則トシ特ニ之ヲ次級者ニ命スルカ如キハ稀有ノ場合タリ露營司令官ハ露營外部警戒法又所要ニ從ヒ露營ニ閉塞法(濠ヲ掘リ、橋梁ヲ毀テ、無用ノ通路ヲ閉塞スル等)ヲ規定シ各隊ニ露营地ヲ配當シ及ヒ露營特別ノ規定(飲水及ヒ飲馬場ノ場所或ハ時間ニ從ヒ各隊ニ配當スル等)ヲ設ク成ルヘク早ク兵卒ヲ休憩セシメ及ヒ之レニ風雨ノ障礙ヲ與フル補助方法(掩蔽及ヒ炊事ニ用フル木材、糞、薪等ノ調達)ヲ行フニ規律ヲ誤ラス且ツ迅速ナルヘキコトニ就キ其責ニ任ス

露營司令官ハ最モ認識シ易キ地ニ宿營シ(高等司令部ノ近傍ニ舍營フルヲ良トス)諸衛兵及ヒ傳令使等ノ其位置ヲ知ルニ便ナラシムルヲ可トス

巡察將校

舍營ノ者ニ準ス

舍營日直將校

舍營ノ者ニ準ス

各部隊長

外衛兵

外衛兵ノ任務左ノ如シ

- 一、周邊ノ地ヲ監視シ不意ノ敵襲ニ當リテハ第一ノ抗拒ヲナス
- 二、舍營ノ者ニ準ス
- 三、露營ノ外圍ヲ閉鎖ス
- 四、舍營ノ者ニ準ス

此他總テ舍營ノ者ニ準ス但シ露營ニアリテハ其警備ノ度概シテ舍營ノ者ニ比シ嚴ナルヲ要スルモノトス

風紀衛兵

舍營ノ者ニ準ス

部隊日直將校下士

舍營ノ者ニ準ス但シ露營ニ在ツテハ風紀衛兵及ヒ外衛兵ハ部隊日直ノ統轄ニ屬スルヲ異リトス

一 舍營地ノ兵員寡少ニシテ殊ニ一部隊ノミ宿營スル時ハ別ニ舍營ノ勤務員ヲ置カス軍隊平常ノ内務ト兼ネ行ハシム

舍營地ニアル兵卒ハ武器及ビ裝具ヲ整ヘ置キ常ニ注意シテ縱令暗黒ト雖トモ速ニ武裝ヲナシ出發シ得ル如クスルハ實ニ舍營ニ於ケル最大必要ノ注意トス

敵兵急ニ舍營内ニ侵襲シ其屬スル部隊ニ集合スル能ハサル者ハ各其處ニ於テ現在ノ人員相協力シテ防禦スヘキモノトス狼狽騷擾スルハ不覺ヲ取ルノ基ナリ
露、營、内、ニ、於、ケ、ル、勤、務、ノ、種、類、系、統、ヲ、示、ス、左、表、ノ、如、シ、

露營中兵卒ハ其業務ニ從事スル間ハ上官ニ對シ敬禮ヲ行フコトナシ
故ニ上官ヨリ言語ヲ交ヘラル、カ或ハ呼ハル、時ハ唯タ直立若クハ
靜止シ之レニ答フヘシ
露營ニアル兵卒ノ裝具ハ晝間ハ每列ニ順序ヲ立テ、中隊ノ集合所ニ
置キ夜間ハ身邊ニ置クモノトス
露營ヨリ出發ノ時刻ハ前以テ命令アルモノトス此場合ニ在テハ出發
時刻十五分前ニ於テ盡ク火ヲ消シ衛兵ハ各其隊ニ復歸ス而シテ軍隊
ハ出發ノ準備ヲ爲ス但シ敵ニ對シ須要ナル警戒ノ勤務ニ服スルモノ
ハ此限ニアラス

其八 警報

警報ノ時ハ非常號音ヲ吹奏ス此號音ハ高級故參ノ將校又ハ舍營司令

長官ヨリ命スルモノナレトモ突然敵襲ニ會シ逡巡セハ大ナル危害ニ
陥ルトキハ各衛兵ハ身ヲ以テ責ニ任シ速ニ非常號音ヲ吹奏セシムル
ノ義務ヲ有ス

又警報ニ號音ヲ用ヒス一地區毎ニ靜蕭ニシテ且ツ速カニ整備スルヲ
要スルコトアルヲ以テ晝夜ヲ論セス兵隊ハ常ニ武器及ヒ裝具ヲ整頓
シアルヘシ

警報アルトキ各隊ハ武装ヲ整完シ速ニ其警急集合場ニ集合シ若クハ
速ニ豫メ指示セラレタル地點ヲ守備シ衛兵ハ舍營司令官ヨリ受ケタ
ル命令ニ從テ動作ス
露營ニアリテハ各兵聚集シアルユヘ警報ニ應スルコト容易ナリ
混亂ヲ防ク爲メ命令アルニアラサレハ歩兵ハ又銃ヲ解キ騎卒及ヒ馭
者ハ騎乗スヘカラス

凡ソ警報ニ際シ集合ノ靜謐神速ナルハ第一ノ要旨ニシテ周章狼狽ハ
最モ忌嫌スル所ダリ

●前哨

其一 一般ノ總說

駐軍スル兵隊ハ安全ニ休止スル爲メ敵方ニ一枝隊ヲ派遣シ以テ其安
寧ヲ保ツニ任ス此枝隊ヲ稱シテ前哨ト謂フ
前哨ノ任務左ノ如シ

- 一 休止スル軍隊ヲ安全ナラシム
- 二 敵ノ狀況ヲ搜索ス
- 三 敵ニ對シ我軍ノ狀況ヲ蔭蔽秘匿ス

凡ソ戰時ニ於テ前哨ノ如ク定現及ヒ基本ヲ確守シ能ハサルモノ他ニ比類ヲ見ス至要ノ程度ハ各時ノ戰況ニ應スヘク豫メ一定不變ノ法則ヲ立ツルヲ得ス唯タ當時ノ狀況ニ依リ適當ノ區署ヲナス外ナシ故此篇ニ述フル所ノ者ハ唯タ多クノ場合ニ於テ準據スヘキ標準ニ過キス

前哨ノ兵力ハ大部隊ニ在ツテハ其前衛ノ二分一乃至四分一ヲ以テシ小部隊ニ在ツテハ全隊兵力ノ四分一ニ至ルヲ最大限トス凡ソ警戒ニ任スル兵力ハ常ニ當時ノ形勢カ之レヲ許ス最少限ヲ以テスルコト常ニ動カスヘカラサル原則トス

抑モ搜索ハ主トシテ騎兵ニ任シ警戒ハ若干ノ獨立抵抗力ヲ要スルヲ以テ多クハ之レヲ歩兵ニ任ス故ニ前哨ハ此二兵ノ連合スルヲ通則トス是レ則チ混成前哨ナリ

諸兵種連合ノ部隊ニアツテハ前哨ニ附加スルニ工兵ヲ以テスルヲ可トスルコトアリト雖トモ砲兵ニ至ツテハ野戰ニ於テハ概ネ附加スルコトナシ之レヲ附加スルハ要點殊ニ隘路ヲ固守スルカ如キ例外ノ場合ニ於テスルノミ此場合ニ於テモ砲兵ハ豫メ其射撃ヲ規定シタルトキニアラサレハ夜間ニハ用ヒ難シ故ニ縱令之レヲ前哨ニ附スルモ夜間ハ通常前衛本隊ニ退カシムルモノトス

前哨ニ於テ步騎兩兵ヲ連合セズ單ニ歩兵ノミ或ハ騎兵ノミヲ以テスルトキハ之レヲ獨立歩兵ノ前哨或ハ獨立騎兵ノ前哨ト云フ

其二 前哨ノ區分

混成前哨ハ大別シテ前哨本隊、前哨中隊及ヒ前哨騎兵ノ三部ト爲ス而シテ又此各部ヨリ監視警戒ノ爲メ出ス所ノ小哨、獨立下士哨、下士哨、步

哨、斥候、巡察等ノ別アリ

前哨本隊

ハ通常首要ナル道路ノ近傍ニシテ抗戦ニ適スル要點ノ後方(敵ノ急襲ニ遇フモ機ニ後ル、コトナク此要點ヲ占領シ得ルヲ以テ度トナス)ニアリテ或ハ露營シ或ハ村落露營ス

前哨本隊ハ前哨中隊ノ後拒トナリ所要ナレハ之レヲ收容シ本隊ニ先ンシ抗戦ニ任スルモノトス

前哨中隊

ハ小哨或ハ獨立下士哨ヲ派遣シテ監視線ヲ成形セシメ而シテ之レヲ交代シ或ハ之レヲ扶援シ或ハ之レヲ收容ス前哨中隊ハ敵兵ノ來襲ニ當リテハ通常抗拒線トナリ兼テ又前哨騎兵ノ後拒タリ

前哨中隊ノ番號ハ其固有ノ番號ヲ以テス例ヘハ第三中隊カ前哨中隊トナルトキハ前哨第三中隊ト云フカ如シ

前哨中隊ノ爲メニ適當ナル地ハ常ニ首要ナル道路ノ近傍ニ在ルヘキナリ然ラサンハ監守スヘキ地ノ中央ニシテ防禦ニ便ナル蔭蔽物アリテ成ルヘク敵ヲシテ我衆寡ヲ商量スルヲ得セシメス且ツ交通路ノ近傍ニ在ルヘキナリ而シテ又進退不便ニシテ退却困難ナル地等ニ位置スヘカラス

前哨中隊警戒ノ爲メニ取ルヘキ方法ハ該中隊長ノ職權内ニ在リ又敵襲ニ際シ中隊ノ常ニ必ラス戦備ヲ缺カサルコトニ就テハ身ヲ以テ其責ニ任スヘク且ツ其受クル所ノ命令ニ依リテ其位置ヲ固守スヘキカ或ハ扶援セラル、カ等ヲ審ニスヘシ其之レヲ固守スヘキニ當リテハ其身其隊ヲ以テ全軍ノ犠牲ニ供スヘキナリ

前哨騎兵

ハ騎兵部隊ノ任スル所ニシテ晝間ニ在ツテハ最前線ニ在リテ警戒ヲ擔任シ夜間ハ後方ニ退却セシムルヲ通常トスレトモ

所要ノ場合ニ於テハ一部ヲ最前線ニ殘シ敵ト接觸セシメ又時宜ニヨリ遠ク前方ニ在ル地點ヲ占領セシムルコトアリ
前哨騎兵ハ背後ノ歩兵隊ト斷エス連絡ヲ保持スヘキナリ其兵力ハ警戒ヲ命セラレタル正面ノ廣狹ト警戒ヲ要スル程度トニ從ヒ其任務ニ適合セサルヘカラス

凡ソ騎兵ハ其運動輕捷ナルヲ以テ前哨一定ノ配置及ヒ形狀ヲ固執スルヲ要セス故ニ前哨騎兵ノ部署法ハ其形ノ形勢及ヒ地形ニ從ヒ一ナラス即チ通視シ得ヘキ土地ニ於テハ其兵力ヲ合シテ一個ノ控兵トナシ相反スル土地ニ於テハ數個ノ控兵ニ區分ス而シテ控兵ハ之レヨリ一個若クハ數個ノ小哨或ハ獨立下士哨ヲ出シ或ハ之レヲ併用ス

●控兵ノ位置ハ現時ノ景況ニ從ツテ定マルモノトス若シ遠ク前方ヘ出ツルヲ要セサルトキハ前哨中隊ノ一ニ接シテ位置スルナリ

其三 前哨各部ヨリ出ス警戒兵

前項ニ述フル所ノ前哨本隊、前哨中隊、前哨騎兵ハ前哨ノミ大部分ニシテ此各部ヨリ更ニ次ニ説ク所ノ警戒並ニ監視兵ヲ出シ始メテ前哨ノ警戒完全ナルモノトス

小哨 ハ最前線ニ在ツテ切要ナル道路及ヒ要點ノ警備ニ任ス

小哨ニ適當ナル位置ハ概ネ左ノ性能ヲ要ス

- 一 敵ニ對シテ蔭蔽ノ地
- 二 敵ニ通スル道路ノ近傍
- 三 歩哨線ノ中央後又ハ抗戰ニ適切ナルカ若クハ緊要ナル地點ノ後方
- 四 騎兵小哨ニ在ツテハ閉塞セル場所ニ位置スルハ尤モ忌ムヘキ

所トス

小哨ニハ成ルヘク建制ノ小隊或ハ半小隊ヲ用ヒ其長ハ將校ヲ以テス
小哨ハ一個若クハ數個ノ下士哨或ハ步哨(騎哨)ヲ配置シ或ハ此兩哨ヲ
併用ス

獨立下士哨

ハ小哨ノ小ナルモノニシテ其任務及ヒ動作モ亦小
哨ト同一ノ原則ニ從フモノニシテ即チ小哨ノ連絡及ヒ側面ノ警戒ヲ
補ヒ時トシテハ又小哨ニ代ヘ用ユル者ニシテ複哨交代兵ノ外尙ホ斥
候ニ充ツヘキモノ若干名ヨリ成ル時トシテハ遠ク步哨線前ニ出テ騎
兵ヲ支援シ或ハ橋梁、村緣等ノ如キ特ニ必要ナル點ヲ守備シ或ハ夜間
敵ノ運動ヲ監視スルニ任スルコトアリ此ノ如キ場合ニハ其兵員稍多
キヲ要ス

下士哨

ハ小哨ヨリ出スモノニシテ步哨ノ大ナル者ニ過キス而

シテ之レヲ用ユル場所ハ概チ左ノ如シ

- 一 步哨線上ニ於テ殊ニ緊要ナルカ又ハ危殆ナル地點
- 二 暴露セル側面
- 三 小哨ヨリ遠隔セル地(步哨ヲ置クトキハ其交代ニ多時ヲ要スル
カ如キ)
- 四 道路上ニ設クル查哨

下士哨ハ步兵ニ在ツテハ通常兵卒六名ヲ以テシ其長ハ下士或ハ上等
兵トス又騎兵ニ在ツテハ下士一人兵卒三人以上ヨリ成ルモノトス

查哨

ハ前哨線ヲ出入通過スル者ヲ監査スル者ニシテ我軍ノ所屬
タルコト疑ナキ者ニ限リ其通行ヲ許シ否ラサル者ハ護衛兵ヲ附シ之
レヲ所屬哨所ニ送致ス敵ノ軍使(前哨線内ニ入ル、トキハ其眼ヲ縛ス)
及ヒ降參人ヲ處置スルモ亦之レニ同シ但シ決シテ之レト談話スヘカ

ラス

時トシテハ獨立下士哨ヲ以テ查哨ヲ兼ネシムルコトアリ

歩(騎)哨　ハ專ハラ監視ニ任スルモノニシテ第一線ノ歩哨ハ概ネ

複哨トシ又騎哨ハ二人乃至三人ヲ以テス第一線内ノ歩(騎)哨ハ通常單

哨ヲ以テ足レリトス

歩哨ノ位置ハ左ノ條件ヲ顧慮シ決定スヘキモノトス

道路　主トシテ敵方ニ通スル道路特ニ橋梁其他ノ隘路ヲ監視スル

ヲ要ス

哨地　歩哨ノ位置ハ敵ノ通視ヲ妨ケ我ヨリハ能ク敵方ヲ展望シ得

ルヲ要ス

側方連絡　歩哨相互ノ連絡容易ナルヘキコト而シテ地形之レヲ許

サ、ルトキハ其間隔ハ特ニ斥候ヲ以テ監視ス

後方連絡　後方所屬哨所ト交通便ニシテ且ツ晝間ハ展嶺記號等ヲ

以テ容易ニ連絡シ得ルヲ可トス

歩(騎)哨ノ守則ハ分ツテ一般守則及ヒ特別守則トス一般守則ハ何レノ

地何レノ時ヲ問ハス歩(騎)哨ノ常ニ守ルヘキ規則ヲ云ヒ特別守則ハ其

時ト地トニ由テ變化スル特別ノ規則ナリ(此守則ハ野外要務令參照)

展望哨

ハ前哨内ニ於テ晝間通視ニ便ナル地點(山頂、寺塔等)ニ布

置スルモノトス其特ニ緊要ナルモノニ在ツテハ前哨中隊又ハ前哨本

隊ヨリ一名ノ將校ヲ出シテ之ニ任ス

展望哨ハ敵前殊ニ要塞前ニ於テ久シク前哨ヲ配備スルトキ殊ニ緊要

ナルモノトス

銃前哨　ハ前哨本隊、前哨中隊、小哨等ニアル部隊ノ爲メニ直接監

視ヲ爲ス者ニシテ前方部隊或ハ歩哨線ヲ相瞻望シテ連絡ヲ保持スル

ヲ要ス通常單哨ヲ以テスレトモ部隊カ掩蔽下ニアルトキハ複哨ヲ以テス此銃前哨ハ敬禮ノ爲メ執レ、銃ヲ呼ハス

斥候

凡ソ哨兵ハ視域外ノ敵兵ヲ發見スルコト能ハス故ニ斥候ヲシテ遠ク且ツ廣キ地面ヲ搜索セシム斥候若シ僅少ノ時間ニシテ能ク遠大ノ地ヲ跋涉セント欲セハ馬ノ速力ニ依頼セサルヘカラス騎兵ハ乃チ斥候ニ適當ノ兵種ナリ故ニ夜間ト雖トモ敵ト遠隔スルトキハ亦騎兵斥候ヲ派遣スルヲ原則トス然レトモ通視シ難キ地及ヒ敵ト近接シアルトキニ於テハ歩兵斥候ヲ撰用ス凡ソ斥候ヲ派遣スルノ度數愈多キトキハ搜索愈密ニシテ警戒愈嚴ナリト雖トモ之レニ任スル兵卒ノ疲勞ハ愈大ナルコトヲ顧慮スヘシ其斥候路ハ各小哨ノ規定スヘキモノニシテ晝間一條又ハ二條夜間ハ二條又ハ三條ナルヲ通法トス而シテ同斥候路ニハ常ニ同一ノ兵ヲ用ユルヲ可トス又晝夜共ニ巡候

スヘキ各斥候路ニハ三個ノ斥候ヲ充ツルヲ要ス此ノ一ノ斥候常ニ路上ニアルカ如クニシテ且ツ適度ノ交代ヲナサシメンカ爲メナリ但シ晝間斥候或ハ夜間斥候ノ各路ノ爲メニハ二個ノ斥候ヲ充ツレハ可ナリ

孰レノ場合ニ於テモ斥候ハ戰鬥ヲ避クヘキモノナルユヘ其兵員ハ決シテ其衆ヲ要セス反ツテ潛行ニ便ナル寡兵ヲ要ス故ニ通常三名ヲ以テ編シ其一ノ名ヲ長トス

凡ソ斥候ノ通路並ニ歸還ノ時刻ハ任命者之ヲ概定スルノミニシテ決シテ之レヲ確定スヘキモノニアラス

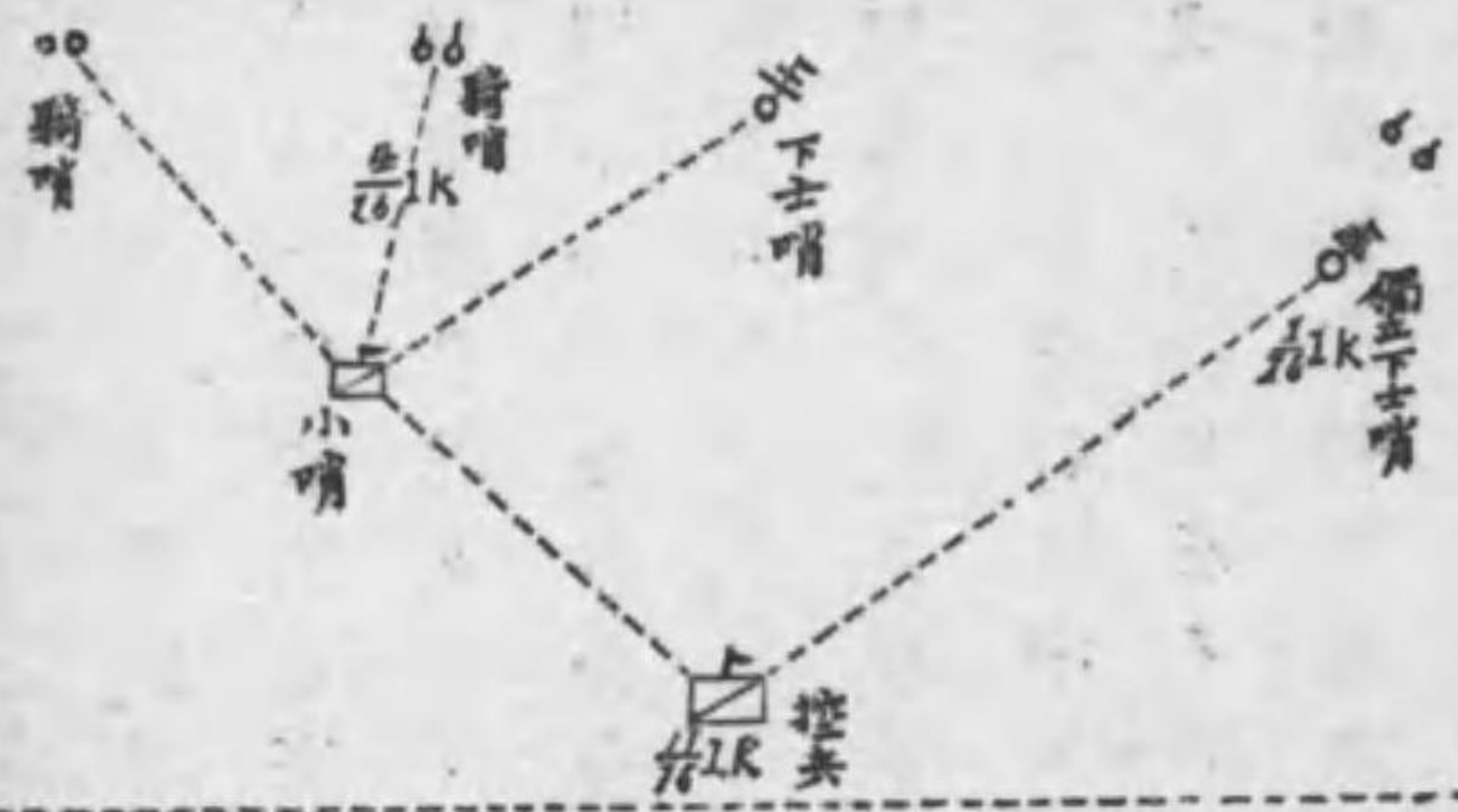
斥候ノ任務ハ成ルヘク多岐ニ渉ルヘカラス此レ斥候ヲシテ徒ラニ違惑セス且ツ其任務ヲ完全ナラシメンカ爲メナリ

巡察

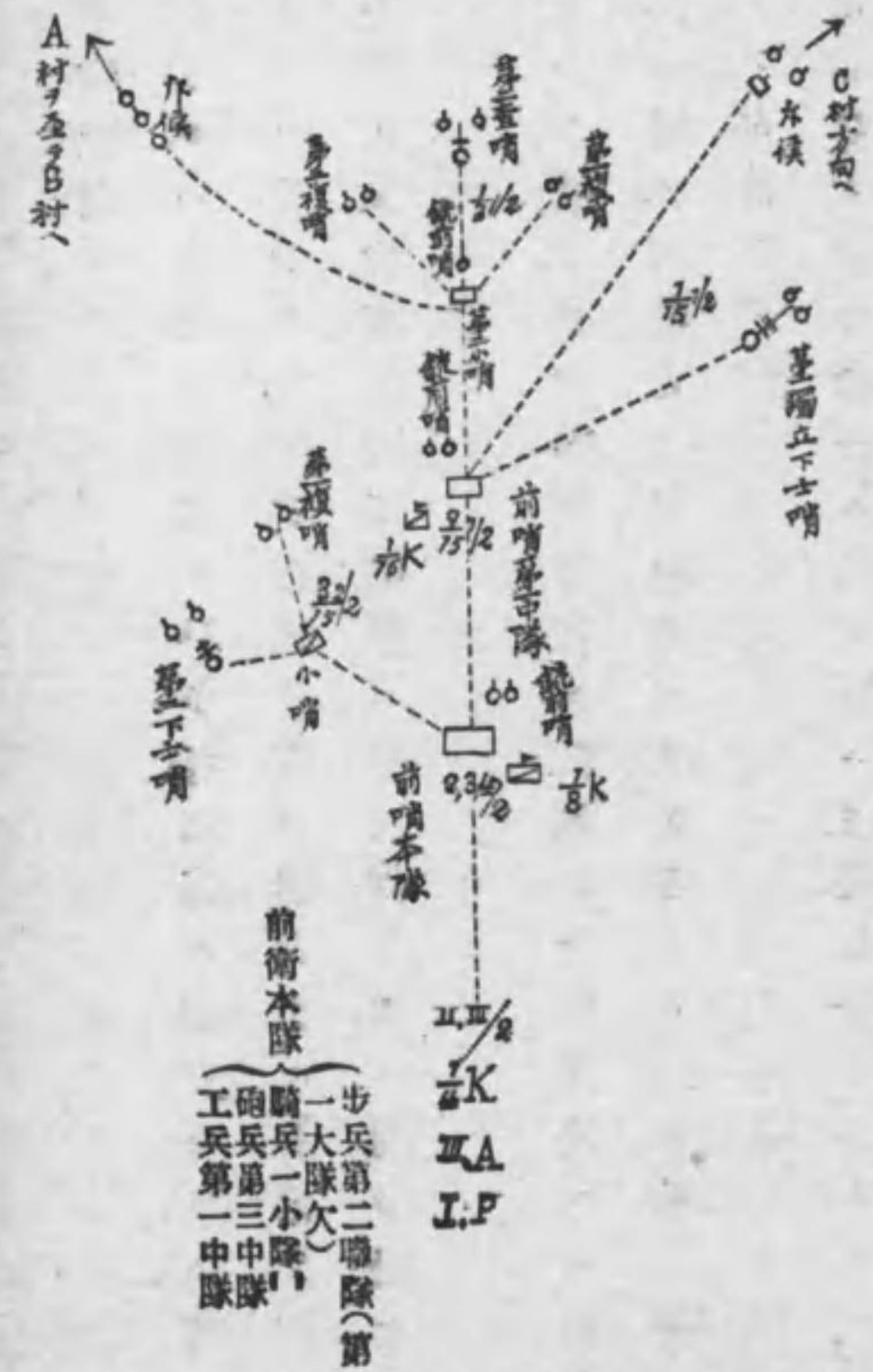
巡察ハ所要ニ應シ前哨諸部隊ヨリ出スモノナレトモ小哨ヨ

リ之ヲ出スコト最モ多シ何レノ場合ニ於テモ其任務ハ時々歩哨線内
 ヲ巡視シ歩哨ヲ備ヘサル土地ヲ巡候シ兼テ比隣哨所ト連絡ヲ通スル
 ニアリ其兵員ハ其長ト共ニ二名ヨリ成ルヲ常トス其巡視ハ歩哨交代
 ノ時間外ニ於テスルヲ良トス是レ交代ノ時ハ自然歩哨ヲ監視シ得ル
 ヲ以テナリ巡察ハ時ノ需要ニ應シテ將校或ハ下士ヲ以テ其長トナシ
 監視巡檢ヲ要スルノ度ニ應シ回数ノ多少ヲ定ム
 騎兵小哨ヨリ派出スル斥候ハ敵ト接觸スル時ニ在ツテハ通常敵ノ前
 哨マテ前進スルモノトス而シテ是レヨリ更ニ進ンテ搜索スルコトハ
 上長ノ規定スル所ナリ然レトモ特異ノ徴候ヲ認ムルニ方リテハ小哨
 長獨斷ヲ以テ之ヲ命スルヲ得ヘシ

前哨騎兵トシテ騎兵
第一中隊配布一般例



歩兵前哨トシテ第二聯
隊第一大隊配布一般例



其四 前哨配布

前哨ノ警戒正面廣キトキハ前哨ヲ數區ニ分チ各區毎ニ獨立セル前哨司令官ヲ設クルヲ良トス蓋シ一人ノ前哨司令官カ廣大ナル全線ヲ指揮セントセハ命令報告ノ傳達不便指揮困難ニシテ緩急事ニ應シ難ケレハナリ

縦隊司令官カ宿營セント欲シテ前哨司令官ニ駐軍ノ命令ヲ用フルハ成ルヘク行軍中ニ與ヘ晚クモ駐止ト同時ニ用フル者トス是レ速ニ警戒ノ區署ヲ定メシメンカ爲ナリ

前哨司令官ハ縦隊司令官ノ宿營命令ニ由テ更ニ前哨命令ヲ下スモノトス此此前哨命令ニ由テ前哨部隊ヲ決シ前哨司令官任命セラレ、モノトス前哨司令官カ此ニ於テ前哨命令ヲ下シ前哨始メテ配布セラレ、

ナリ

小部隊ニシテ前哨ノ全部カ直チニ前哨トナルトキハ前哨司令官ハ即チ前哨司令官ニシテ前哨命令ト前哨命令ハ合一スルモノナリ

以上ノ如ク順次完全ナル命令ヲ下シ警戒ニ就カシムルトキハ大ニ時間ヲ徒費スルモノナリ故ニ迅速ヲ主トセンカ爲メ始メヨリ諸般ノ事項ヲ含ム所ノ完全ナル命令ニ代ヘ先ツ取り敢ヘス縦隊司令官ハ前哨司令官ニ前哨司令官ハ前哨司令官ニ目下緊急ノ事項ニシテ警戒ニ關スルコトノミヲ命令シ各其警戒ノ部署ニ就キアル間ニ完全ナル命令ヲ製シ更ニ一般ニ係ル命令ヲ下スヲ可トス

前哨各線間ノ距離間隔及ヒ前哨ノ本隊ヲ距ルノ距離ハ敵ノ遠近土地ノ形狀庇掩スヘキ兵隊ノ大小ト次ニ示ス原則トヲ參照シテ之ヲ定ムルモノトス

- 一 應援其機ニ後ルヘカラス
 - 二 退却ニ當ツテ危害ナカルヘシ
 - 三 本隊ヲシテ砲彈ヲ避ケシムヘシ
 - 四 在後兵ヲシテ戰備ヲ整ルノ猶豫アラシムヘシ
- 今尋常ノ形勢ニ於ケル前哨各部ノ距離及ヒ警戒面ノ標準ヲ示ス左ノ如シ

前哨本隊ト後方團隊	混成旅團ニ在ツテハ千乃至千二百米 師團ニ在ツテハ三千乃至四千米
各部	約六百米乃至八百米
小哨ト前哨中隊	約三百乃至六百米
騎兵小哨ト控兵	約步兵ノ二倍
距離	約三百乃至四百
離	約五百乃至千米
騎哨ト騎兵小哨	

- | | |
|-------|------------------------|
| 步兵小哨 | 約五百乃至六百米 |
| 騎兵小哨 | 約千乃至千二百米 |
| 警戒面 | 約千二百乃至千五百米 |
| 前哨中隊 | |
| 步兵一大隊 | 大約三千米(前哨中隊二個ヲ配布スルモノトス) |
- 左ニ一般普通ノ場合ニ於ケル前哨配布ノ順序ヲ畧説ス
- 一 縦隊司令官ハ大凡ソ地圖ニ山ヲ考定シ以テ前衛司令官ニ警戒ニ關スル命令ヲ與フ
 - 二 前衛司令官ハ此命令ニ基キ同シク地圖ニ由テ大概ヲ考定シ警戒ニ關シ左ノ事ヲ命令ス
 - 前哨部隊ノ任命、大體ノ警戒線、前哨司令官ノ任務ヲ實施スルニ要スル特別ノ諭旨
 - 三 前哨司令官ハ前衛命令ニ基キ大體ノ地形ヲ偵察シ左ノ區署

ヲナス

前哨騎兵ニ命スル事項

警戒線ノ大要及ヒ此騎兵ノ嚴ニ警戒スヘキ道路、晚ニ至リ前哨本部ニ退クヘキ騎兵ニ就テノ規定又夜間ニ於ケル騎兵ノ任務

前哨中隊ニ命スル事項

警戒スヘキ地ノ區域及ヒ其位置ノ概畧傳令騎兵ノ分配及ヒ歩兵部隊ニ配布スヘキ騎兵部隊、要スレハ査哨ヲ置クヘキ道路、敵襲ニ當リ取ルヘキ處置

前哨本部ニ關スル事項

宿營地、宿營法要スレハ前哨本隊ヨリ直チニ出ス警戒兵ノ指定、戰隊緩急ノ度及ヒ道路閉塞等ノ如キ特別處置

諸命令ヲ與ヘ終レハ速ニ炊爨シテ糧食分配ヲナスコトニ付キ万般ノ注意ヲナス

諸報告ノ輻輳並ニ前哨全體ノ監視便ナル地點ニ在ツテ各部ヨリ到着スル報告ヲ受ケ又要スレハ命令ヲ與フ

四

前哨配布終レハ速ニ報告ヲ前衛司令官ニ呈ス

前哨中隊長ハ前哨命令ニ基キ大體地形ノ偵察ヲナシ左ノ區署ヲナス

●小哨獨立下士哨等警戒兵ヲ任命シ其警戒線及ヒ位置ヲ指令シ隣哨及ヒ前哨中隊ノ位置、前方ニ他隊ノ有無若シ之レアルトキハ其位置ヲ示ス

●要スレハ査哨ヲ置クヘキ道路ヲ示ス

●前哨中隊ノ位置ヲ撰定ス

●銃前哨ヲ配布ス

●中隊ノ兵ヲ區分シ斥候巡察雜役等ヲ定ム

●中隊戰備ノ度ヲ規定ス

●前哨騎兵及ヒ比隣前哨中隊ト連絡ヲ取ル

●敵襲ノ場合ヲ顧慮シ更ニ地形ヲ暗熟スル爲メ偵察ヲナス
(小哨赴援ノ道、抵抗線、退路等)要スレハ部下ノ幹部ヲ助手ト
シテ偵察セシム

五

●前哨配布終レハ略圖ヲ添ヘ前哨司令官ニ報告ス

小哨長ハ前哨中隊長ノ命ニヨリ左ノ區署ヲナス

- 一 警戒法ヲ設ケテ小哨概定ノ位置ニ至ル
- 二 斥候ヲ以テ步哨配布ヲ掩護ス

三 步哨線ノ偵察

四 步哨ノ配布小哨位置決定

步哨ノ配布ハ小哨長自ラ順次右翼或ハ左翼ヨリ步哨ニ要
スル兵員ヲ引率シテ配布スルカ(此法ハ敵ニ見ラル、ノ害
アリ故ニ豫メ地形ヲ偵察シ能ハサルトキニ用ユ)又下士或
ハ上等兵ヲシテ各步哨ヲ引率シテ概定ノ位置ニ至ラシメ

小哨長一翼ヨリ順次巡回シテ特別守則ヲ授ケ且ツ步哨ノ
位置ヲ修正決定シ第一番ノ步哨ヲ除ク他ノ二番三番等ノ
步哨ハ引率者ヲシテ小哨ニ連レ歸ラシム

五 銃前哨ノ配布

六 斥候巡察、雜役等諸勤務ヲ配シ又銃

此又銃ハ同時ニ勤務ニ就ク者ヲ一組トシテ又銃ス是レ甲
乙丙ノ銃ヲ解クトキ他ノ者ヲシテ爲メニ無益ニ銃ヲ解カ
サルヲ得サルカ如キ徒勞且ツ混雜ナカラシムル爲メナリ

七 前哨中隊長ニ配布ヲ報告シ比隣哨所ト連絡ヲ執ル

備考

前哨騎兵ハ概ネ前哨中隊ニ準ス
獨立下士哨ハ概ネ小哨ニ準ス

前哨ノ抵抗線ハ通常前哨中隊所在地ノ附近ヲ貫通スルヲ良トス地形
ニ由リテハ之レヲ小哨線附近ニ撰定スルコトアルモ之レヲ步哨線ニ

撰定スル如キハ全ク例外ニシテ特ニ步哨線ノ地形適良ナル等ノトキニ限ルモノトス抑モ前哨警備ノ原則ヨリ論スルトキハ前哨ハ二種ノ線ヲ要ス曰ク監視線、曰ク抵抗線、是レナリ蓋シ抵抗ヲナサント欲セハ若干ノ準備ヲ要ス此準備ヲナス爲メニハ速ニ情報ヲ得サルヘカラス是レ監視線ヲ必要トスル所以ナリ故ニ監視線ハ抵抗線ノ前方ニシテ敵狀ヲ認識シテヨリ後抵抗線マテ敵ノ近接スルニ若干時間ヲ要スル丈ケノ距離ニアラサルヘカラス是レ步哨線ヲ以テ監視線トシ前哨中隊ノ線ヲ以テ抵抗線トナス所以ナリ而シテ小哨ハ監視線ノ支援ニ留マリ抵抗線タルニハ兵力不十分ナル者ナリ然ラハ論者ハ云ハン小哨ノ兵力ヲ増シテ以テ抵抗線ト爲サハ可ナラント是レ亦能ハサル所ナリ凡ソ前哨ハ戦闘ノ目的ヲ有スルニ非ラス唯タ警戒ニアリ故ニ成ルヘク寡少ノ兵員ヲ以テ警戒ヲ完全ヲラシメ無益ニ多數ノ兵隊ヲ疲勞セシ

メサルヲ勉メサルヘカラス抑、前哨各部隊ハ前線ニ近ツクニ從ヒ愈々警戒ノ嚴ヲ要シ其疲勞ハ大ナルモノナレハ小哨ハ單ニ步哨ヲ交代シ或ハ斥候ノ派遣等ノ爲メニスル兵員ヲ供給スルヲ以テ足レリトス無益ニ多數ノ兵ヲ用ユルハ決シテ抵抗ハ充分ナル能ハサルヘシ蓋シ最前線タル步哨線ニ近クシテ抵抗ノ準備ヲナシ能ハサルヘケレハナリ故ニ步哨線ヲ以テ監視シ小哨ヲ以テ之レヲ支援シ前哨中隊ヲ以テ抵抗線トスル時ハ假令敵カ不意ニ步哨線ニ迫ルモ步哨線ヨリ前哨中隊ニ至ル距離ヲ敵カ行進スル間ニ前哨中隊之ニ應スル準備ヲナシ得ヘク前哨本隊ハ即チ後方ニ於テ豫備ノ姿勢ヲ保チ時機ニ應シテ之ヲ赴援シ或ハ收容ス

前哨各部ト防禦線ノ關係ハ以上ノ如シ然レトモ固ヨリ前哨ハ本隊ノ宿營地ヲ基準トシテ配布スル者ナレハ希望通りニ前哨各部ト防禦線

ノ關係ヲ充足スル能ハサルコトアリ故ニ時トシテハ前哨本隊ノ線ヲ以テ防禦線トスルコトアレトモ是レ前哨本隊ハ其線上ニ展開セサルヲ得スシテ展開上ニモ不便(展開ハ前進シテ爲スヲ可トスレハナリ)且ツ前哨中隊ハ退却シテ防禦線上ニ就カサルヘカラス是レ志氣上好マシカラス蓋シ小哨或ハ歩哨ノ如キ監視隊ノ退却ハ左程困難モナク容易ナレトモ戦闘單位タル資格ヲ備フル兵力ノ退却ニ至ツテ同一視シ能ハサレハナリ

戦闘前哨ノ如キハ前陳ノ監視線ト抵抗線ト全ク合一シ全隊戦闘準備ノ姿勢ニアリテ兵隊ノ休養ハ全ク度外視シタル場合ナリ

其五 前哨ノ戦闘動作

前哨ノ戦闘法ハ作戰ノ目的及ヒ地形ニ應シテ異ナルモノナレトモ要

スルニ前哨ノ要旨トスル所ハ歩兵騎兵ノ別ナク其戦功ニ非ラスシテ本隊ニ戦闘準備ノ餘裕ヲ得セシムルニアリ故ニ前哨ハ我ヨリ戦闘ヲ希望スヘカラス然リト雖トモ敵襲ニ際シテハ全力ヲ盡シテ猛烈抗戦シ又各級ノ將校ハ其身ヲ犠牲トナシ本軍援護ノ責任ヲ完了スルコトヲ須臾モ忘ルヘカラス

前哨騎兵ハ遠ク前方ヲ搜索ス故ニ敵ノ歩兵ノ急襲ハ深ク之レヲ慮ルニ足ラサルモ敵騎ノ襲撃ハ豫メ之レヲ期セサルヘカラス其之レヲ防クハ我亦襲撃ヲ以テスヘカラス時ハ宜シク道路ヲ梗塞スヘシ其梗塞ノ結構假令單簡ナルモ所要ニ應シテ之レヲ前後ニ梯置シ騎銃ヲ以テ之レヲ防禦セハ敵騎假令優勢ナルモ我良ク永ク之レヲ拒止スルヲ得ヘシ但シ其梗塞ハ我通過ニハ妨ケナキ如クスヘシ

歩兵小哨ハ一ツノ監視部隊タルニ過キスシテ固ヨリ抵抗力ヲ有スル

モノニ非ラス然レトモ敵ノ斥候若シクハ寡少ノ部隊ニシテ小哨ノ兵力ヲ以テ之レヲ擊退シ得ルトキ之レカ擊退ヲ勉ムルハ當然トス是レ後方部隊ヲシテ無益ノ戰備ヲナサシメサル爲メナリ

前哨中隊ハ前哨中多クノ場合ニ於テ抵抗部隊タルモノニシテ警報アルトキハ直チニ戰備ヲ整ヘ小哨ヲ救援シ敵ヲ防禦シ前哨本隊ノ救援ヲ待ツヘキモノトス

前哨本隊ハ速カニ前哨中隊ヲ救援シ或ハ豫定ノ陣地ヲ占領シテ前哨中隊ヲ收容シ全力ヲ以テ爰ニ抗戰ヲ勉ム而シテ本軍ノ戰備整フタル後自ラ進ンテ戰ニ與ルカ或ハ退テ本隊ニ合スヘキカハ時ノ形勢ニ從フモノトス若シ別命ナケレハ常ニ其抵抗ヲ持久ス

夜間敵襲ヲ受クルトキハ夜戰ノ原則トシテ射擊ヲ以テ彼レニ當ランヨリハ寧ロ機ニ投シテ銃劍突擊ヲ行フヲ利アリトス

其六 前哨ノ交代及ヒ收集

滯留ノ時ニアツテハ前哨ノ交代ハ本隊司令官又ハ前衛司令官ヨリ定メタル時刻ニ於テス

更ラニ前進セントスルニ當リテ前哨ヲ集收スルニ二法アリ

- 一 本軍行軍隊形ヲ取ルモ前哨ハ依然其地ニ在ツテ警戒ヲ持續シ行軍縱隊ノ先頭カ前哨線ヨリ進出スルニ至リテ始メテ集收ス
- 二 前哨遠ク前方ニ派遣スル斥候ノ掩護ニ由テ適官ノ時機ニ集收ス

第一法ハ尤モ敵ニ接近シアルトキカ或ハ我軍ノ運動ヲ勉メテ永ク敵ニ隱匿スルヲ要スルトキニ之レヲ用フ然ルトキハ前哨ハ行軍縱隊ノ本隊ニ合セサルヲ得スシテ軍隊區分ニ變化ヲ起スカ故ニ相續テ屢

行フハ望マサル所ナリ故ニ時機ニ妨ケナキ時ハ第二法ヲ用ヒ前哨ヲシテ前衛中ニ復歸セシムルヲ良トス
前哨撤去ノ時間ハ通常本隊司令官ヨリ示サルモノトス

其七 各種ノ場合ニ於ケル前哨

敵ニ最モ遠キ時ノ前哨 此場合ニ於テハ尤モ單簡ニシテ足レリ多クハ舍營地附近ノ土民ニ對スル顧慮ノ外他ニ敵狀ニ關シ警備ヲ左右スヘキ顧慮ハナキモノトス故ニ外營兵ノ稍大ナルモノヲ以テ足レリトスルヲ普通トス

行軍前哨 運動戰ニ在ツテハ軍隊宿營地ニ着スルコト概ネ遅ク且ツ多クハ疲勞シ又翌日上途ノ便ヲ顧慮スヘキヲ以テ正シク前哨ヲ配備スルコト能ハス且ツ當時前哨ノ任タル主トシテ夜間ノ警戒ニア

リ然ルニ夜間ニ於テ軍隊ノ運動ハ實際道路ノ便ニ從ハサルヘカラサルヲ以テ特ニ敵地ニ通スル道路ヲ守備スル時ハ能ク本軍ノ安ヲ保ツニ足ルヘシ蓋シ道路外ヨリ來ル敵兵アルモ夜間ニ於テハ多兵ヲ以テスル能ハス若干ノ少部隊ニ過キサレハナリ即チ此種前哨ニ於テハ一連ノ哨脈ヲ布置スルヨリハ寧ろ牽制ヲ割カサル如ク各首要道路附近ニアル部隊ヲ以テ其方面ヲ警戒セシムルヲ可トス

敵ニ稍近キ前哨 此場合ニ於テハ前哨ハ稍正規ニ從ヒ嚴密ナラシメ道路間ノ地區ト雖トモ樞要ノ點ハ小哨若クハ獨立下士哨ヲ以テ警備ス

前哨抵抗線ハ作戰ノ目的及ヒ當時ノ情況ニ從ヒ要スレハ(敵ノ本攻ヲ受クルノ恐レアルトキ等)本隊防禦線ト一致セシメ或ハ翌日前哨カ後衛タルヘキトキノ如キハ其後衛陣地ヲ以テス

若シ前進ノ目的ヲ有シ前方ニ隘路アルトキノ如キハ時宜ニ因リ隘路前ニ前衛若クハ前哨ヲ出スコトアリ是レ本隊ノ隘路通過ヲ容易ナラシメン爲メナリ

戦闘前哨

此種前哨ハ敵ニ尤モ接近シ戦闘ノ期已ニ迫ルカ或ハ戦闘ハ唯タ日ノ暮ル、カ爲メニ中止シ明朝更ニ戦ヲ連続セントスルトキ等ニ於テ用ユルモノナリ故ニ各隊ハ何時ニテモ戦闘シ得ル如ク準備ヲ整へ純粹ナル戦術上ノ戦闘隊形ニ展開シテ露營シ唯タ若干歩前ニ歩哨ヲ出シテ掩護スルノミニテ戦闘線モ警戒線モ區別ナク所謂銃ヲ腕ニシテ戦線ニ假眠ヲ貪ルニ過キヌ即チ此前哨ヲ稱シテ一名戦闘準備隊形ト云フ所以ナリ

城塞前ノ前哨

此前哨ノ野戰前哨ト異ルハ攻守ニ別ナク連接圍繞セル哨兵線ヲ布キ又攻撃或ハ防禦ノ正面ニ向ツテハ前哨諸部隊左

右前後ニ相密接シ且ツ掩護ノ爲メニ十分其地ニ工事ヲ施シ強硬ナル抗戰及ヒ自在ナル連絡ヲ要スルニアリ蓋シ城塞前ノ前哨ニ於テハ全ク敵ノ交通ヲ遮斷スルヲ要シ且ツ我攻城作業ヲ妨害セン爲メ屢敵カ行フ所ノ出撃ニ抵抗スルヲ要スレハナリ

- 攻者ハ前哨ニ於ケル要旨左ノ如シ
- 一 攻圍線ヲ扇區ニ分チ各扇區ハ大約其扇區守兵ノ歩兵三分一ヲ以テ前哨トナス
 - 二 攻圍ノ始メ及ヒ攻撃正面ヨリ遠隔セル地區ノ警戒ハ騎兵ノミヲ用ヒテ足ラン之レニ反スル場合及ヒ地區ニ在ツテハ前哨兵中前哨騎兵ヲ置カス唯タ報告ニ要スル騎兵ヲ用フルノミ
 - 三 應援速カナル爲メ前哨ノ深厚ハ野戰ノ深厚ニ比シテ之レヲ減縮ス

- 四 哨兵線ヲ通過スル者ヲ認識スル爲メ夜間ハ暗號ヲ用ユ
 - 五 前哨中隊ハ二十四時間ニシテ交代スルヲ適當トス而シテ全前哨ハ凡ソ二日乃至四日間ニ交代ス
 - 六 其攻撃歩ヲ進ムルニ至リテハ前哨ハ塹壕衛兵、控兵等ニ區分シ而シテ前哨ハ攻撃ノ進歩ニ應シテ前進ス
- 守者ノ前哨ニ於ケル要旨左ノ如シ
- 一 守者ニ在ツテハ本來ノ攻圍ニ至ル前主トシテ敵ノ近邇及ヒ攻城廠設置ノ位置ヲ偵察スル爲メ騎兵ヲ用ヒ此騎兵ハ城外枝隊ヲ以テ其支援トナス而シテ該支隊ハ敵ノ攻圍更ニ歩ヲ進ムルニ至レハ變シテ本來ノ前哨トナル
 - 二 前哨ノ部署及ビ諸般ノ件ハ前陳攻者ニ於ケルト異ルナシ殊ニ守者ニ在ツテハ敵狀ノ搜索尤モ必要ナルモノトス故ニ監視隊

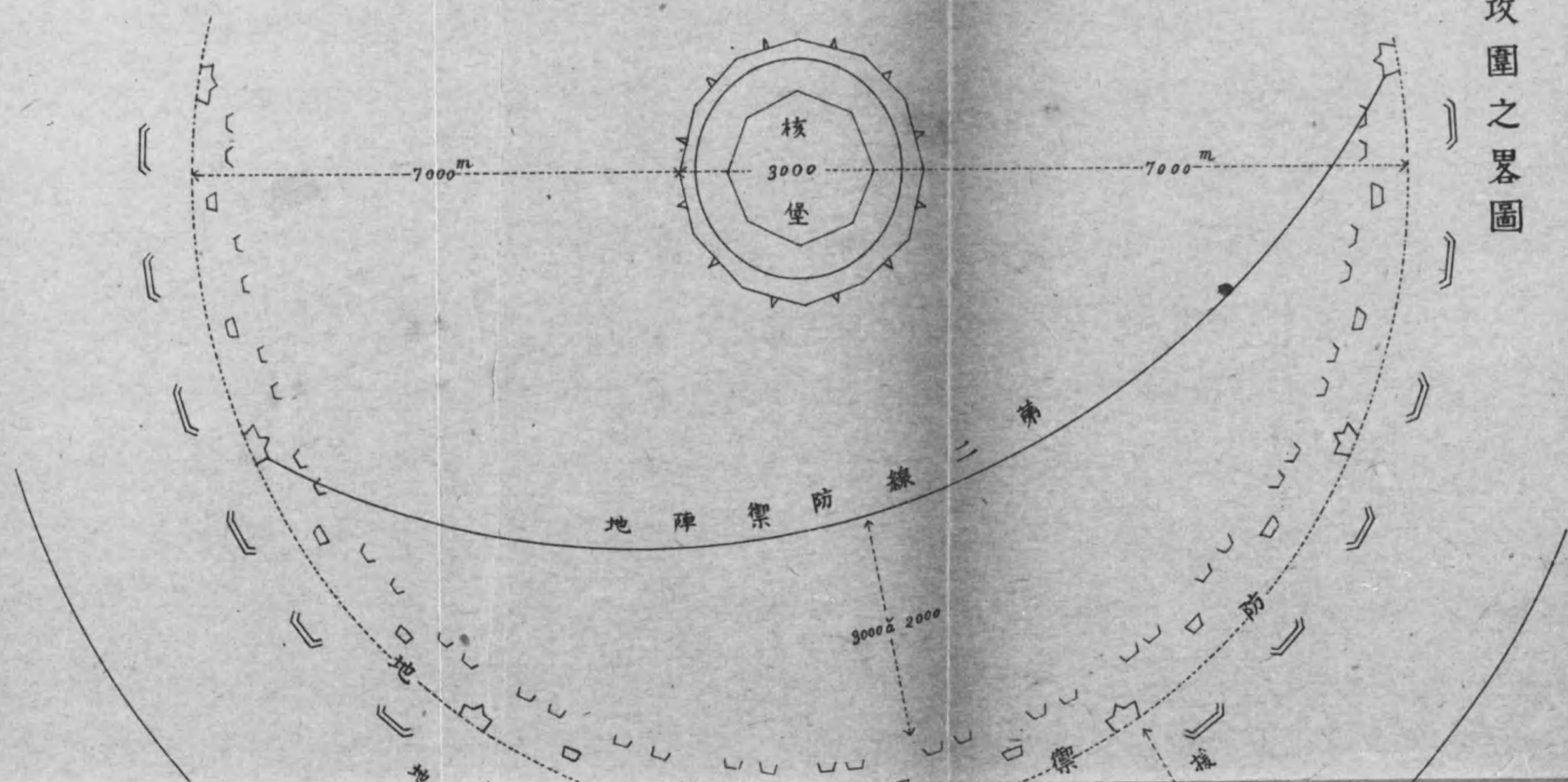
ヲ展望自在ナル地點ニ出シ其他電話、氣球、鳩使等種々ノ補助方法ヲ以テ通信報告ヲ迅速ナラシム

元來要塞前ノ前哨ハ要塞戰法ヲ了解シタル後ニアラサレハ精說シ能ハス然ルニ要塞戰法ハ本書ノ說述スル所ニアラス故ニ今要塞戰ノ大畧ヲ推知シ要塞前ノ前哨大要ノ了解ニ便ナラシムル爲メ參考トシテ要塞攻圍ノ略圖ヲ左ニ附加ス

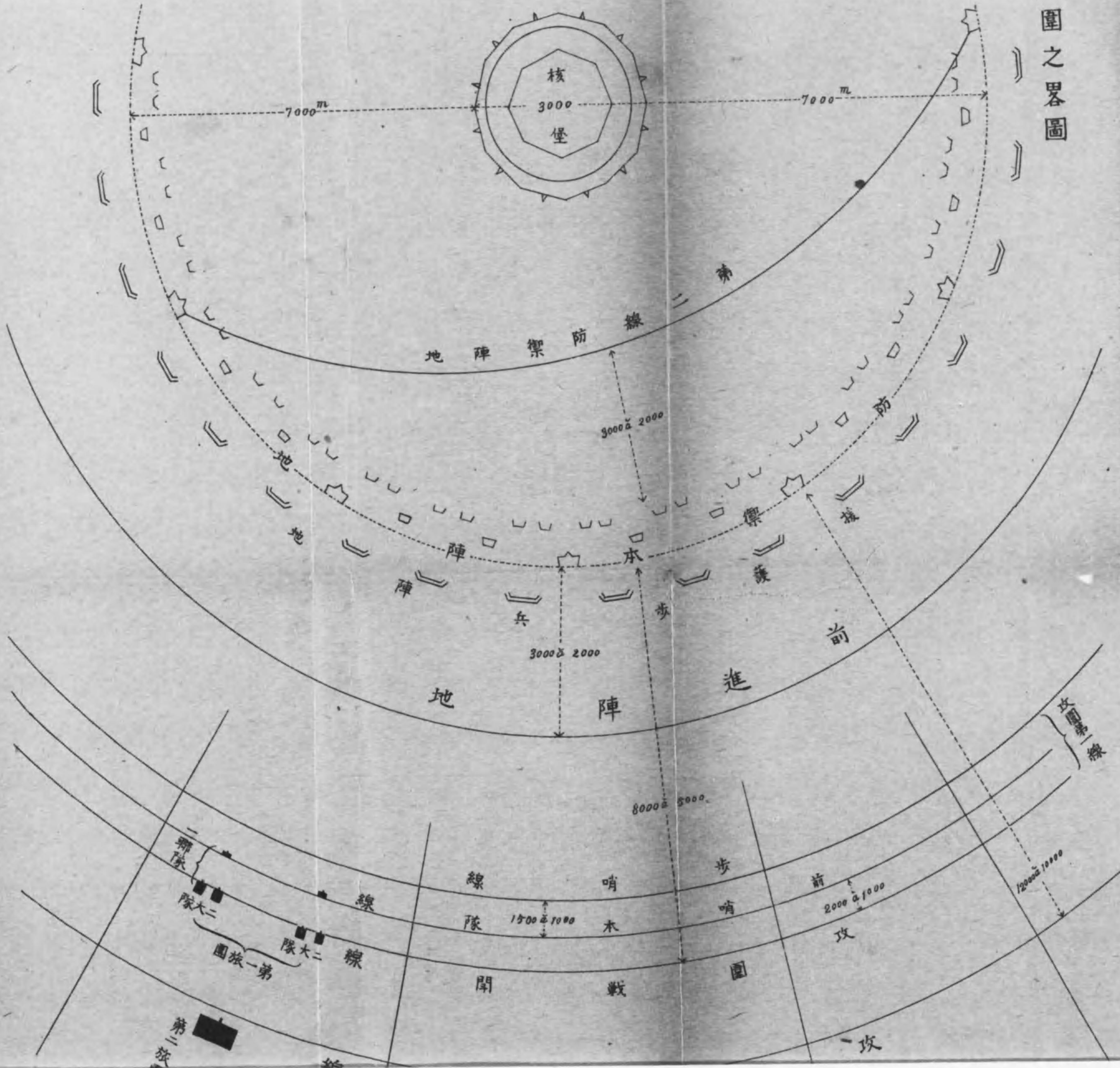


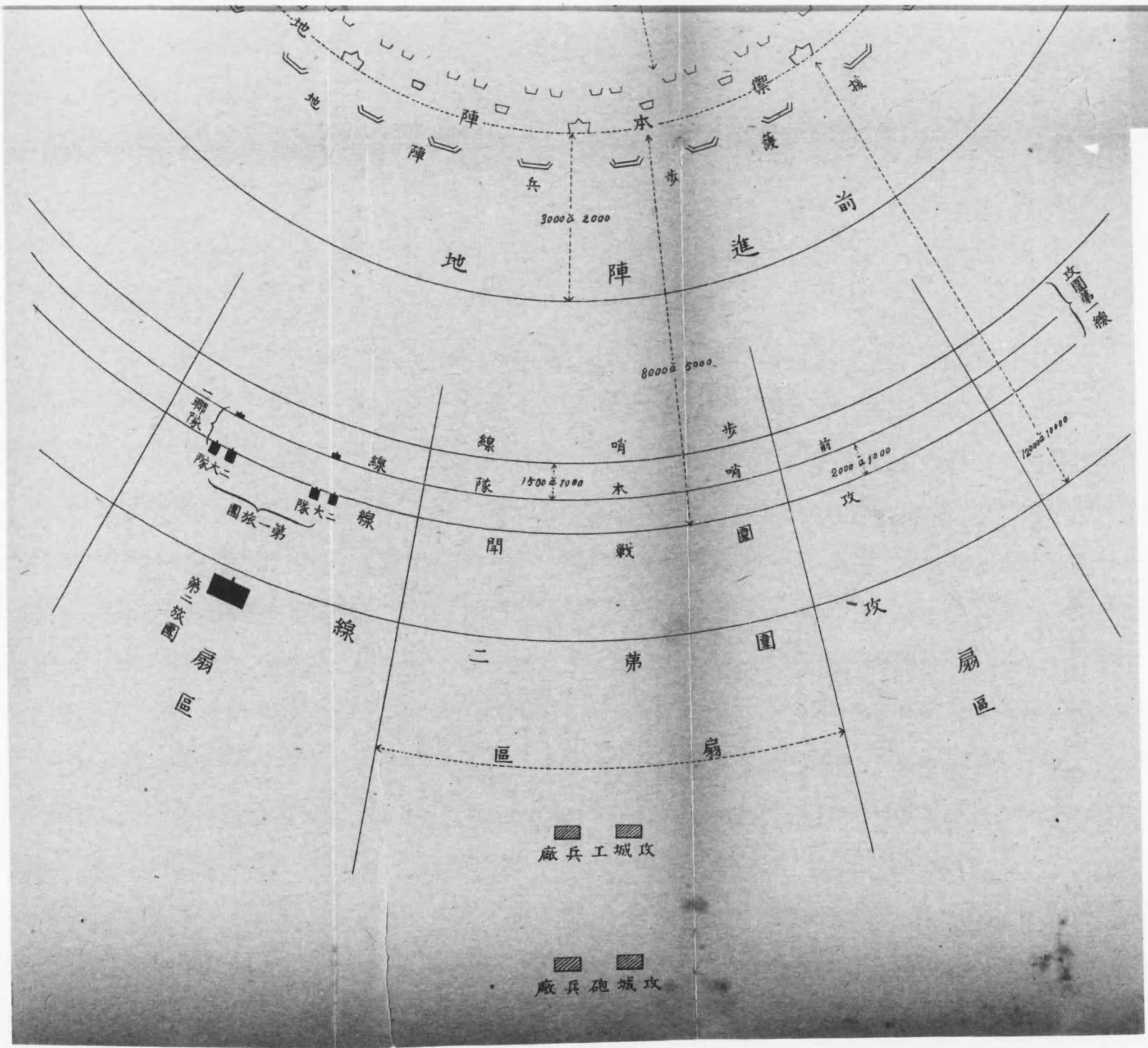
要塞攻圍之畧圖

- 一等分派堡
- 二等分派堡
- 砲臺



攻圍之畧圖





●行軍

其一 總論

行軍トハ軍隊一ノ目的地ニ達セン爲メ戰場外ニ於テ行フ諸運動ノ總稱ナリ抑モ軍ヲ活動セシムルモノハ行軍ニシテ軍隊ノ戦闘ニ屬スル事業ノ大部分ヲナスモノナリ行軍實施ノ確實ナルハ戦闘ノ結果ヲシテ良好ナラシムル原因ナリ

行軍ノ術タルヤ尋常ノ形勢ニ在ツテハ務メテ軍隊ノ力ヲ貯ヘ切要ノ時機ニ臨ンテハ非常ノ効程ヲ顯ハシ得ルニアリ

非常ノ効程ヲ望ムコト易シ然シ爲シ遂ケ得ル如キ効程ヲ望ムコトハ稍難シ況ンヤ正當ノ場合ニ於テ之レヲ望ムハ最モ難シ

行軍ノ要訣トシテ遵守スヘキモノ三アリ

- 一 行軍ヲ疾速ナラシムルコト
- 二 軍隊ノ體力ヲ保存スルコト
- 三 軍隊ノ安全ヲ保持スルコト

其二 戦畧上ノ分進合撃

夫レ今日諸國ノ軍ハ殆ント同等ノ編制、教育及ヒ兵備ナルヲ以テ戦闘ニ當ツテ兵數ノ優勢ヲ貴フコト昔日ニ倍蓰ス而シテ戦場ニ於テ此優勢ヲ得ルニハ成ルヘク衆多ノ現員ヲ一地ニ會合スルニアリ分レテ進ミ、聚ツテ撃ツ、即チ分進合撃ノ原則ハ昔日ヨリモ今日ノ大兵團ノ爲メ尤モ良ク適應ス

方今大兵團ノ行軍分進ニ於テハ多クハ師團ヲ以テ行軍シ務メテ數條

ノ道路ヲ使用ス敵軍遠ケレハ益、我行進正面ヲ廣クシ以テ宿舍ヲ寬ニシ給養ヲ豊ニシ又軍隊ノ行路ノミナラス後方ニ繼續スル數多ノ輜重ノ爲メニ自在ニ道路ヲ撰擇スルヲ主トス敵軍ト近運スルニ隨テ漸ク正面ヲ狹クシ遂ニ相衝突スルノ期ニ至レハ各兵團ノ正面ヲシテ其戦闘正面ト齊シキニ至ラシム

此方法ヲ以テスレハ軍隊ノ運動大ニ自由ナルコトヲ得ヘシ加之野戦ニ於テハ近距離ヲ以テ久シク敵ト對峙スルコト甚々稀ナルユヘ運動益々自由ナルコトヲ得ヘシ然レトモ元來分進合撃ナルコトハ云フハ易ク行フハ難キ一術ニシテ情況ノ變遷ニ應シテ適時適當ノ地ニ分進セラル兵團ヲ集合センニハ速ニ敵軍ノ計畫ヲ偵知判斷シ戦地ノ形狀ニ若意スルコト最肝要ナリ夫レ集合早キニ失スレハ運動自由ナラス給養困難ニ至ルヘク又之レニ反シ集合遅キニ過クレハ各部各別ニ撃破セラ

ル、ノ患アリナボレワン一世ハ會戰前戰場ノ後方ニ集合スルヲ常トセリ又モルトケ將軍カ千八百七十年普佛ノ戰役ニ於テ爲シタル統帥法ハ概ネ分進縱隊ヲ會戰中戰場ニ於テ集合セリ會戰中ニ集合スルハ動モスレハ集合機ニ遅レ各個擊破ヲ受クルノ恐レアレトモ目今ノ戰鬪ハ概ネ局地ヲ利用シ戰鬪ハ柔軟ニシテ急ニ勝敗ヲ決スルニ至ラス一部ノ兵團ヲ以テ優勢ノ敵ニ對スルモ後援ノ兵到着スル迄戰ヲ維持スルコトヲ得ルヲ以テ其度ニ至ルマテハ戰場集合ノ法モ亦危險ヲ見ルコトナシ

其三 行軍効程並ニ區署ノ一般注意

行軍効程ハ常ニ天候、道路、地形、土質、行軍縱隊ノ大小、軍隊ノ志氣等ニ關係ス就中非常ノ行軍効程ヲ確認スルモノハ軍紀ナリ此行軍軍紀ハ一

般軍紀ヨリ溢出スルモノニ外ナラス而シテ過嚴ナルヘカラス各兵種ノ基準歩度ハ概ネ左ノ如シ

歩兵一分時間ニ 速歩八十六米 駝歩百四十五米

騎兵一分時間ニ 常歩九十米 速歩二百十米
駝歩三百米

野砲兵一分時間ニ 常歩八十六米 速歩二百十米
駝歩三百米

山砲兵一分時間ニ 常歩八十六米 速歩百四十五米

歩兵及ヒ砲兵ハ一、吉、米、ヲ行クニ小部隊ニシテ且ツ良好ノ景況ニ在ルトキハ十分時大部隊ナレハ十三分時ヲ要ス騎兵ハ常歩ト速歩トヲ混用シ五十分時ニ七吉米ヲ行進スルヲ得

縱隊ノ行軍速度ハ右ノ基準歩度ニ由テ決定セララル、モノニシテ即チ

諸兵連合ノ戰地行軍ニ於テ休憩時間(通常十分)ヲ込メテ一時間ニ大約四吉米トス

形勢悪シキ時ハ三十吉米(七里半)ノ行軍ニ別ニ二時半ヲ増算スヘシ
常行軍ハ一日ノ行程約五里乃至七里半ニシテ通常第四日ヲ以テ休憩日トス

急行軍ハ一日ノ行程約九里乃至十一里ニシテ休憩日ヲ置カス
強行軍ハ晝夜兼行行程ヲ定ムルコトナシ

歩兵師團ニ在ツテ三十吉米ノ行軍ハ既ニ規外ニ屬ス此距離外ニ舍營ヨリ集合スル距離並ニ行軍ノ終點ヨリ舍營ニ至ルノ距離ヲ加ヘサル可カラス軍隊ノ大部分ハ十時間途上ニ在ルヲ要ス斯ノ如キ行軍數日ニ亘ルトキハ之ヲ急行軍ト稱スヘシ

混成兵團ニ在ツテハ三十吉米ヲ行クコトヲ得且ツ形勢善良ナレハ數

日間連續スルモ妨ケナシ

行軍ヲ規正確實ナラシムル爲メニ遵守願慮スヘキモノハ左ノ如シ

一 各人ハ恣ニ定位ヲ離レサルコト(隊列ヲ離レ或ハ水流井泉ニ駐マル等)

二 適度ノ飲水ハ其時機ヲ誤ラス全隊ニ之レヲ爲サシムルコト是レカ爲メニハ豫メ乘馬將校ヲ派シ其準備ヲナサシムル等ノ處置ヲナス

三 服裝ハ許シ得ル限リ其時機ヲ誤ラス全隊ニ令シ寛裕ナラシムルコト例ヘハ炎暑ノ候ニ於テ卸ヲ脱セシムル如シ

四 縦隊先頭ノ步度齊一ナルコト

五 路幅ノ廣狹ニ應シ一側ヲ空虛ニスルカ中央ヲ空虛ニスルカ便宜ニスルコト

- 六 部隊間ニ適宜ノ距離ヲ保チ遽止急進ヲ防クコト
- 七 出發時刻ハ作戰ノ目的、縱隊ノ大小、軍隊ノ勞否、季候ノ寒暑等ヲ酌量シ無益ニ過早ノ出發ヲナサシメサルコト
- 八 安眠ハ體力ヲ保存回復スルニ必須ノ者タルヲ以テ拂曉以前ニ出發セシムルハ成ルヘク爲サ、ルコト
- 九 人生ノ普通適當ノ睡眠時間ハ七時間乃至八時間トス
- 十 乘馬兵ハ拂曉後成ルヘク一時間ニ出發セシムルヲ可トス
- 十一 一般ニ熱地ヨリ拂曉前ニ出發スルハ日没後生地ニ到着スルニ優ルヲ以テ路程長キトキハ此原則ヲ顧慮スヘシ
- 十二 炎暑ノ候ニ於テ日中ノ炎熱ヲ避ケントスルトキハ拂曉前ニ一日ノ半行程ヲ行進スルコトアルヘシ
- 十三 出發ノ際軍隊ヲ集合スルニ成ルヘク徒勞ヲ避クルノ方法ヲ執

- ラサルヘカラス即チ大ナル部隊ヲ一地ニ集合スルトキハ出發ノ時機ニ至ルマテ各隊ヲ掌握シ得ルト、行軍方向ヲ自由ニ撰擇シ得ルト、現地ニ於テ行軍序列ヲ命シ得ルトノ利益アリ然レトモ其兵ヲシテ行軍序列ニ就カシムル爲メ久シク集合所ニ停止セシムルノ徒勞アルヲ以テ尤モ敵ニ近接セル場合ヲ除ク外ハ各隊各別ニ集合所ヲ定メ行軍ニ就カシムルヲ可トス
- 例ヘハ師團ニアリテハ前衛ヲ一團トシ本隊先頭ノ聯隊及ヒ砲兵ヲ一團トシ殘餘ノ團隊ヲ以テ一團トス
- 十三 舍營又ハ村落露營ヨリ行軍ノ爲メニ兵隊ヲ集合スルニハ徒ラニ彼是ニ往來シ無益ニ時間ヲ消費スルコトヲ避クヘシ故ニ集合所ハ勉メテ前方ニ撰ムヲ良トス
- 十四 他ニ妨ケナケレハ行軍縱隊トナリテ路上ニ集合スルヲ可トス

レトモ大兵團ニ在ツテハ混雜ヲ生シ易キ故小部隊ニノミ適用スルヲ得

十五行李ノ集合ハ軍隊ノ運動ヲ阻碍セサル爲メナルヘク各部隊宿營地ヲ去リタル後ニ於テスヘシ退却後ニ在リテハ行李ハ本隊ノ發程前數時ニ於テ集合出發セシムヘシ

且ツ集合所ハ行軍路線外ヲ可トス

駐軍警戒隊ニ屬スル大行李ハ先ツ該司令官ヨリ指示セラレタル集合所ニ集合シ然ル後本隊司令官ヨリ集合セル位置ニ於テ本隊ノ大行李ニ合スルヲ常トス

十六地圖ニヨリ大集合所ノ位置ヲ判然指示スル能ハサルトキハ豫メ現地ヲ標示スルヲ要ス

十七休止ハ成ルヘク兵隊ノ勞ヲ慰スルニ便ナル爲メ風雨寒暑ヲ顧

慮シ障蔽アル地ヲ撰ヒ殊ニ炎暑ノ候ハ飲水ノ便ヲ計ルヘシ
 十八發程後被服裝具ノ改装ノ爲メ四五分ノ後小休止十分乃至二十分ヲナシ其後ハ路程ノ遠近ト天候ニ應シ一回若クハ數回ノ小休止ヲナス

喫食ノ爲メニ大休止トシテ二十分乃至五十分

十九時機ニ妨ケナケレハ行軍縱隊ノ儘路上又ハ路傍ニ於テシ速カニ休憩ニ移ラシム

二十戰鬪行軍ニ在リテハ村落内殊ニ隘路内ニ休憩スルハ危険ナリ此場合ニ於テハ適宜ノ地ニテ小ナル部隊ヲ以テ集合隊形ヲ取ルヲ良トス行李ハ前進行ニ在ツテハ通過前ニ於テ休止ヲナシ退却行ニ在ツテハ通過後ニ於テ休止スルモノトス

二十一 道路ハ各兵種ノ通過ニ適スルヲ要ス

步兵四列側面縱隊及ヒ野砲兵通過ノ爲メニハ幅員四米突以上

步兵二列及ヒ山砲兵通過ノ爲メニハ幅員二米突五十以上
野砲通過ニ適良ナル最上限ノ傾斜ハ八分ノ一山砲ノ爲メニ
ハ六分ノ一以下トス

諸兵種ノ通過ヲ妨ケサル傾斜ハ五度 $(\frac{9}{100})$ トス

步兵及ヒ騎兵カ辛フシテ稠密隊ヲ以テ昇降シ砲兵カ降ルニ
輪ヲ鈎掣スルヲ要スルハ五度乃至十度 $(\frac{18}{100})$ ノ傾斜トス

歩兵ハ疎散運動ヲ行ヒ得ルモ騎兵ハ戒慎ヲ加ヘ徐々ニ辛フ
シテ運動シ得砲兵ハ全ク昇降スル能ハサルニ至ル傾斜ハ二
十度乃至二十五度 $(\frac{47}{100})$ トス
路質硬固ナルモノ(敷石等ノ如シ)ハ足傷ノ患アリ

沙礫多キ道路ハ行進車輛ノ轉回共ニ容易ナラスシテ且ツ足
傷ノ患アリ

柔軟ナルカ泥濘ナル道路ハ足傷ノ患ナシト雖トモ行進車輛
ノ回轉共ニ容易ナラス

二十二 天候(暴風、暴雨、飛雪、積雪、嚴寒、酷暑)ノ不良ハ行軍ノ大患タリ

二十三 體力强健ナル時ハ行軍力大ナリ體力ノ消長ハ專ハラ被服、
裝具、靴ノ適否、糧食ノ多寡及ヒ精粗並ニ宿營法ノ良否ニ關スル
モノナレトモ又時トシテハ志氣ノ壯以テ體力ノ弱ヲ補フコト
アリ體力ヲ強健ニシ志氣ヲ振起セシムルハ團隊長ノ尤モ注意
スヘキ所トス

二十四 行軍距離ヲ計算スルニ圖上ニテ空中線ヲ以テスレハ必ラ
ス多少ノ誤リヲ見ルヘシ山地ニ於テハ殊ニ然リ實際ノ距離ハ

長大ニシテ登坂降坂共ニ行歩困難ナリ軍隊ノ分離衝突ヲ避ク
ヘカラス先頭ハ速ニ降坂ヲ降ルノ際中央ハ尙ホ登坂ニ在ツテ
驅歩ス算定セシ所ノ距離實際ニテハ二倍、若クハ三倍、ニ至ルコ
トアリ高山ニ於テハ地圖ハ唯タ距離ノ標準ヲ與フルニ過キス
水平距離一吉米半ノ山ヲ登ルニ三時間ヲ要スルコトアリ

二十五 敵ニ遠キ地ニ在ツテ運動スルトキハ數個ノ小縦隊ニ分レ
テ行軍スヘシ是レ行軍ヲ容易ニシ宿次ヲ寛裕ニスルノ利アリ
此時ニ於テモ諸兵ヲ混合シ不意ニ生スル百事ニ應スルニ便ニ
ス

二十六 又敵ニ遠キ行軍ノトキ師團ノ用ユヘキ道路只タ一條ナル
トキ合集行軍ノ不快ヲ避クルニハ小縦隊ニ分レ梯狀ヲ以テ逐
次ニ行軍シ又舍營スルヲ良トス此ノ時各梯團ハ各其大行李ヲ

携行スルヲ例トス

二十七 各梯團ノ宿營ハ前梯團既ニ宿營シタル地ニ再ヒ後梯團カ
宿營スルコトナキ如ク其宿營地ヲ交互交換スヘシ(假令ヘハ左
圖ノ如シ)是レ給養ノ便ヲ顧慮スルカ爲ナリ



△ハ第一梯團宿營地

■ハ第二梯團宿營地

二十八 數縦隊ノ行軍ヲ指揮スルニハ特ニ注意ヲ加ヘ互ニ相交又
セシメヌ又甲縦隊ヲシテ乙縦隊ヲ妨害セシメサルヲ要ス各縦
隊ニ屬スル行李及ヒ輜重ニハ他縦隊ノ行軍路ト接觸セサル道
路ヲ附與スヘシ各縦隊ヲシテ並行路ヲ齊頭ニ行進セシメント

欲スルトキハ唯タ發程ノ時刻ノミヲ定ムルヲ要ス

二十九 數縱隊暫時ノ間同一ノ道路又ハ隘路ヲ通過セサル可ラサルトキハ各縱隊ニ綿密ニ時限ヲ指示スルヲ要ス今二縱隊ヲ以テ之レヲ例スルトキハ前縱隊最後ノ部隊某地點ヲ通過シ終ルヘキ時限ヲ確定スルヲ最良トス此時限ハ即チ後縱隊某地點ヲ通過シ始ムル時限ナリ

三十 兩縱隊ノ行進方向カ互ニ十字形ヲ爲ストキ其一縱隊停止スル時間並ニ會戰ノ經過ニ影響ヲ及ホス程度ハ行軍縱隊ノ長徑大ナルニ隨ツテ愈大ナルモノナリ故ニ至密ニ各縱隊ニ其行路ヲ示スヲ要ス斯ノ如クスルモ猶ホ交叉ヲ避クル能ハサルトキ師團ノ如キ長縱隊ニ在ツテ甲縱隊ノ通過シ終ル迄乙縱隊ヲ停止セシムルハ甚タ好マサル所ナリ故ニ此場合ニハ必ラス特別ノ

處置ヲ爲スヲ要ス即チ停立セル縱隊ハ地形ニ應シ成ルヘク廣キ正面ヲ以テ其先頭部隊ニ開進シ而シテ甲縱隊ノ中間ヲ貫行シ彼側ニ於テ再ヒ行軍縱隊ニ復スヘシ

此他行軍區署上ニ關シ警戒行軍、旅次行軍、夜行軍、急行軍、強行軍、行軍序列、軍隊區分、行軍長徑、開進等ノ件ハ別項ヲ以テ逐次説述スル所アラントス

其四 夜行軍、急行軍、強行軍

夜行軍 夜間軍ヲ行ル之ヲ夜行軍ト云フ

夜行軍ノ弊害一ツニシテ足ラスト雖トモ其主ナルモノハ睡眠ヲ廢スルヲ以テ人馬ノ疲勞極メテ多ク闇裏行軍ノ規律ヲ保チ難ク、歩行困難ニシテ道路ヲ誤リ易ク延伸増加シ、行軍速度遲緩ナルニアリ

故ニ夜行軍ハ戰況已ムヲ得サルニ非ラサレハ之レヲ行ハス但シ炎熱ノ時ニ於テハ避暑ノ爲メ特ニ晝行ニ代フルコトアリ

- 一 急行軍若シハ強行軍ヲ爲ス場合
 - 二 敗績シタル軍隊カ勝者ノ追撃ヲ免レントスルトキ
 - 三 優勢ナル敵ノ攻撃ヲ避ケントスルトキ
 - 四 敵ノ砲兵ノ被害ヲ減センカ爲メ本戰ノ前夜々暗ニ乘シ進ンテ攻撃準備ニ至便ナル地點ヲ占領セント欲スルトキ
 - 五 夜暗ニ乘シ急襲ヲ行ハント欲スルトキ
- 若シ夜行軍ヲナスヲ要スルトキハ古昔ノ兵則ニ云ヘル如ク晝ヨリ夜ニ掛ケテ施行スルヨリハ夜ヨリ晝ニ掛ケテ施行スルヲ良トス
- 月夜ニ於テハ大ニ夜行軍ヲ便ナラシムレトモ暗黒ノ夜ニ於テハ特別

種々ノ處分ヲ爲スヘシ其要概ネ左ノ如シ

- 一 各部隊間ノ行軍距離ヲ廢シ悉ク密接連續セシメ以テ縱隊ノ集結ヲ保持スルコト肝要ナリ
- 二 縱隊ノ各部ニ(前衛、本隊、行李、輜重等)各嚮導ヲ附スルコト
- 三 道路ノ岐分點ニハ標點ヲ置キ道ヲ誤ルコトナカラシム
- 四 各部隊(前衛、本隊等)ノ間ニ交通兵ヲ置キ連絡ヲ確實ナラシムルコト
- 五 道路ノ障礙ヲ除キ或ハ之レヲ繞回シ以テ兵卒疲勞ノ原因タル撞着ノ患ヲ除クコト
- 六 休止間ハ諸兵道路ヲ離ルハヲ禁シ以テ離散ヲ防クコト
- 七 休止ハ屢之レヲ行フヘシト雖トモ極メテ其時間ヲ短縮シ諸兵ノ假眠ヲ豫防スルコト